平 成 23 年 度

国 土 交 通 省 関 係 予 算 概 要

（九州地方整備局関連）

－ 記者発表資料 －

平成23年4月1日

国土交通省 九州地方整備局

九州地方整備局　TEL 092－471－6331（代）

【問い合わせ先】　※休日及び時間外（18:00以降）は、代表電話へご連絡ください。

総　括	企画部	企画課長	嶋崎（内線3151）	（直通092-476-3542）
一括配分関係	総務部	予算調整官	上原（内線2219）	（直通092-476-3507）
河川関係	河川部	河川計画課長	鈴木（内線3611）	（直通092-476-3523）
道路関係	道路部	道路計画第一課長	廣瀬（内線4211）	（直通092-476-3529）
港湾・空港関係	港湾空港部	港湾計画課長	鈴木（内線62320）	（直通092-418-3358）
都市・住宅関係	建政部	都市・住宅整備課長	平塚（内線6161）	（直通092-471-6355）
官庁営繕関係	営繕部	計画課長	小野寺（内線5151）	（直通092-476-3535）

平成２３年度　予算概要　記者発表資料

目　　次

１．平成２３年度予算の概要について
Ⅰ．平成２３年度事業の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
平成２３年度国土交通省関係予算の配分について
（参考：国土交通本省記者発表資料（抜粋））・・・・・・・・・・　２
Ⅱ．平成２３年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
Ⅲ．平成２３年度予算の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
１）総事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
２）直轄事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
３）補助事業等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
４）平成２３年度　九州地方整備局一括配分予算概要・・・・・・　６
Ⅳ．主な新規・完成（供用含む）事業・・・・・・・・・・・・・・・　７
主な完成（供用含む）事業及び新規事業箇所位置図・・・・・　１２

２．各県における主な事業箇所
□福岡県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
□佐賀県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
□長崎県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
□熊本県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
□大分県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
□宮崎県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
□鹿児島県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
□山口県（下関市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

■　参考資料　（代表箇所の個表等）　【 巻末 】

１，平成２３年度予算の概要について

Ⅰ　平成２３年度事業の基本方針

平成23年度、九州地方整備局においては、「国土交通省成長戦略」の実現、真に必要な社会資本の着実な整備、安全・環境など当面する課題に対応する事業に重点を置くこととし、質の高い社会資本整備を効率的・効果的に推進します。

また、費用対効果分析を含めた事業評価を踏まえつつ、真に必要な事業を厳選するとともに、地域経済の動向等を踏まえ、民間投資誘発効果の高い事業、投資効果を早期に発現させる事業、ソフト施策と一体的に実施することにより投資効果が高まる事業等を重点的に実施します。

【河川関係事業】

近年、甚大な被害が発生した河川においては、再度災害防止のための治水対策を、九州の代表的な都市を氾濫域として抱える河川においては、予防的な治水対策を継続します。また、平成２３年１月に噴火活動が活発化し、土石流等の危険が高まっている霧島山（新燃岳）周辺の渓流において、砂防施設の整備等を行います。そのほか、検証対象としたダム事業については、基本的に用地買収、生活再建工事、転流工工事、本体工事の各段階に新たに入らず、地元住民の生活設計等への支障に配慮した上で、必要最小限の事業を実施し、引き続き検証を進めます。

【道路関係事業】

少子高齢化、厳しい財政状況という我が国をとりまく状況の中で、地域の要望に応え、幹線道路ネットワーク整備や渋滞対策など「我が国の成長力・活力の確保」、交通結節点強化や無電柱化の推進など「豊かな暮らし・環境の実現」、交通事故対策や防災・震災対策など「安全・安心の確保」に必要な道路整備を進めます。

【港湾空港関係事業】

急速な経済成長を続けるアジア諸国に近い九州の優位性を活かし、我が国の産業競争力の向上と雇用の確保、観光立国の実現に向けて港湾・空港の整備を進めます。

また、大規模地震や高潮等による自然災害への対応や海洋環境の保全、離島等地域の生活・経済活動の支援など、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

【都市・住宅整備関係事業】

豊かな自然環境や歴史的資産を保全・再生するとともに、中心市街地活性化や建築物の安全性の確保を図る等、地域の創意工夫による安全で賑わいと魅力あるまちづくり・すまいづくりを推進するため、都市公園の整備、住宅・市街地環境の整備・改善、建築物の耐震改修等を支援します。

また、広域的なレクリエーション需要に対応し、優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、国営公園の整備を推進します。

【営繕関係事業】

老朽化した官庁施設が今後増大していくなか、既存官庁施設の有効活用を図りつつ、災害に対する安全・安心の確保等に的確に対応するため、官庁施設の耐震性の確保を推進するとともに、危険箇所及び老朽等の解消を行う整備を実施します。

参考：国土交通本省記者発表資料（抜粋）

平成２３年度国土交通省関係予算の配分について

１．配　分　方　針

平成２３年度国土交通省関係予算については、既存の事業を抜本的に見直し、「国土交通省成長戦略」の実現をはじめ、確固たる戦略の下に大胆に予算を組み替えることにより，新たな時代に対応しながら、我が国を牽引する国土交通行政への大きく転換を図る予算を計上したところである。

これを踏まえ、一般公共事業等予算の配分にあたっては、「国土交通省成長戦略」の実現、真に必要な社会資本の着実な整備、安全・環境など当面する課題に対応する事業に重点を置くこととし、質の高い住宅・社会資本整備を効率的・効果的に推進する。

（１）整備状況や必要性等地域の実情を踏まえ、地方公共団体の要望等に即しつつ、国民の住宅・社会資本整備に対する要請に応えるため、

- 首都圏空港の拡充・強化
- 国土ミッシングリンクの解消と大都市圏の道路インフラ重点投資
- 予防的な治水対策の強化と激甚な災害等による被災地での再度災害防止対策
- 社会資本整備総合交付金
- 建築物等の耐震建替・改修等の促進

などに特に重点をおいて弾力的な配分を行う。

（２）費用対効果分析を含めた事業評価を踏まえつつ、真に必要な事業を厳選するとともに、地域経済の動向等を踏まえ、民間投資誘発効果の高い事業、投資効果を早期に発現させる事業、ソフト施策と一体的に実施することにより投資効果が高まる事業等に重点的に配分を行う。

（３）「東北地方太平洋沖地震」への対応については、柔軟な執行を図るとともに、別途措置を検討する。

（４）なお、本日の閣議において財務大臣から公共事業・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、次のように対応する。

①直轄事業：予算執行段階で原則として５％留保

②補助事業：社会資本整備総合交付金等について原則として５％留保して配分

Ⅱ　平成23年度予算

平成23年度　九州地方整備局管内当初予算総事業費

		うち一括配分
直轄事業	2，377億円[前年度比　0．902]	（　490億円）
補助事業等	4，710億円[前年度比　0．723]	（　22億円）
計	7，086億円[前年度比　0．775]	（　513億円）

注）4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

注）補助事業等には、「社会資本整備総合交付金」の額を含む。ただし、「地域自主戦略交付金（内閣府所管）」は含まない。

当　初　予　算　の　比　較

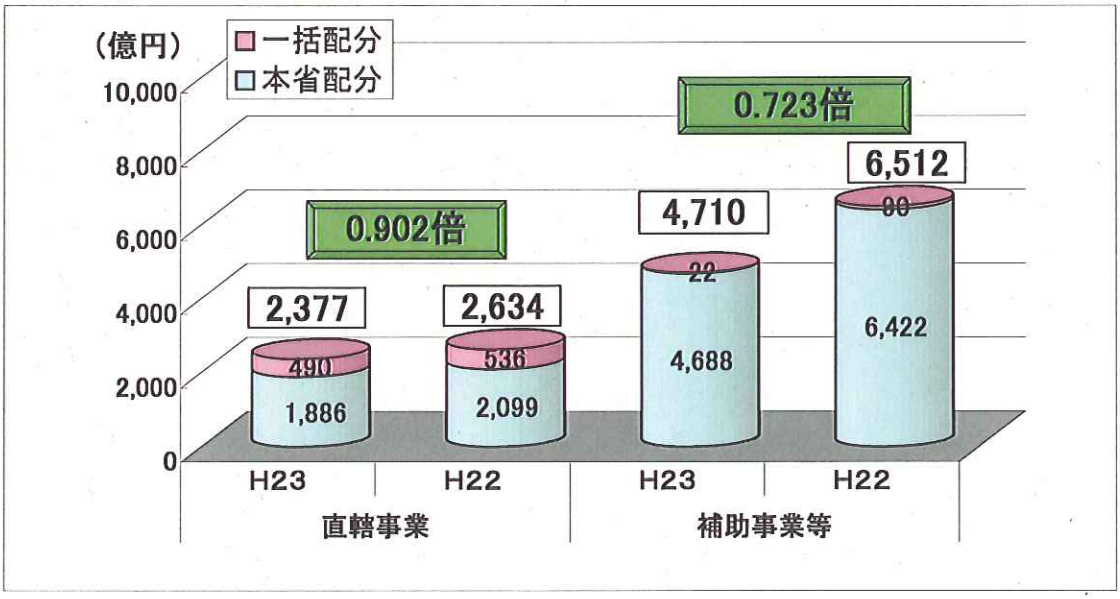
総事業費　　（単位：億円）

区　分		平成23年度	平成22年度	22年度予算との比較（倍率） 対22年度比
直轄事業	本省配分	1,886	2,099	0.898
	一括配分	490	536	0.915
	合　計	2,377	2,634	0.902
	全　国	22,767	23,358	
補助事業等	本省配分	4,688	6,422	0.729
	一括配分	22	90	0.247
	合　計	4,710	6,512	0.723
	全　国	40,709	54,292	
合計	本省配分	6,574	8,521	0.771
	一括配分	513	626	0.819
	合　計	7,086	9,146	0.775
	全　国	63,476	77,650	

注）4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

注）本表は、業務取扱費を除いている。

注）補助事業等には、「社会資本整備総合交付金」の額を含む。ただし、「地域自主戦略交付金（内閣府所管）」は含まない。



Ⅲ　平成２３年度九州地方整備局予算総括表（事業費）

1）．総事業費

（単位：百万円）

事　　項	平成23年度当初			前年度比
	本省配分	一括配分	合　計	
直轄事業	188,626	49,048	237,674	0.902
補助事業等	468,758	2,217	470,975	0.723
合計	**657,384**	**51,265**	**708,649**	**0.775**

注）４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

注）本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。
注）本表は、業務取扱費を除いている。
注）補助事業等には、「社会資本整備総合交付金」の額を含む。ただし、「地域自主戦略交付金（内閣府所管）」は含まない。

2）．直轄事業

（単位：百万円）

事　　項	平成23年度当初			前年度比（対当初）
	本省配分	一括配分	合　計	
治水	37,653	17,125	54,778	0.910
海岸	2,892	0	2,892	1.519
道路	106,992	30,268	137,260	0.952
港湾	34,439	0	34,439	0.716
空港	(6,210) 1,584	0	(6,210) 1,584	(0.566) 0.630
都市水環境	1,924	700	2,624	1.004
公園	3,142	0	3,142	1.100
一般公共事業費計	**188,626**	**48,094**	**236,720**	**0.902**
営繕関係	0	954	954	0.944
合計	**188,626**	**49,048**	**237,674**	**0.902**

注）４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

注）本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。

注）本表は、業務取扱費を除いている。

注）本表には災害復旧等は含まれていない。

注）本表には、営繕の支出委任は含まない。

注）本表の空港関係事業費は、上段（ ）書き：大阪航空局分等を含む全体予算額、
下段：うち九州地方整備局分である。

3）．補助事業等

（単位：百万円）

事　　項	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	山口県（下関市）	合　計
治　　水	8,913	543	609	1,336	151	0	4,830	0	16,383
海　　岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道　　路	630	2,640	6,680	1,970	3,840	1,600	8,234	0	25,594
港　　湾	601	50	1,143	205	244	200	2,059	20	4,522
空　　港	388	0	0	0	1	40	399	0	828
住宅対策	492	0	0	0	0	0	0	0	492
市街地整備	1,154	941	0	0	0	0	0	0	2,095
都市水環境	2,002	0	0	0	0	0	0	0	2,002
下　水　道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公　　園	540	0	0	0	0	0	0	0	540
小　　計	14,720	4,174	8,432	3,511	4,236	1,840	15,522	20	52,456
社会資本総合整備	157,188	21,438	51,353	53,785	39,288	40,687	54,571	209	418,519
合　　計	171,908	25,612	59,785	57,296	43,524	42,527	70,093	229	470,975

補助事業費等		171,908	25,612	59,785	57,296	43,524	42,527	70,093	229	470,975
	一括配分	1,032	0	255	0	0	0	930	0	2,217

注）　4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。
注）　本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。
注）　本表には災害復旧等は含まれていない。
注）　本表には、営繕の支出委任は含まない。

４）．平成２３年度 九州地方整備局管内一括配分事業費総括表【事業別・県別】

（単位：百万円）

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	山口県（下関市）	補助事業計	直轄事業 九州地方整備局	合　計
治　　水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,125	17,125
海　　岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道　　路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,268	30,268
港　　湾	0	0	255	0	0	0	930	0	1,185	0	1,185
空　　港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅対策	492	0	0	0	0	0	0	0	492	0	492
市街地整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都市水環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700	700
下　水　道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公　　園	540	0	0	0	0	0	0	0	540	0	540
社会資本総合整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般公共事業計	1,032	0	255	0	0	0	930	0	2,217	48,094	50,311
官庁営繕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	954	954
合　　計	1,032	0	255	0	0	0	930	0	2,217	49,048	51,265

注）４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。
注）本表は、端数整理の結果、合計と一致しないことがある。
注）本表には災害復旧等は含まれていない。
注）本表には、営繕の支出委任は含まない。

Ⅳ　主な新規・完成（供用含む）事業

※【河川－1】等は、
個表（別冊）の頁番号です

新　規

○　事業名：特定構造物改築事業【甫木水門】　　**【河川－10】**

区分：直轄　（鹿児島県）

肝属川左岸 5k400 付近に位置する甫木水門は昭和 43 年設置後 42 年が経過しており、コンクリートのひび割れ、剥離や強度の低下など老朽化が進行している状況です。また、甫木川は、現況の治水安全度が低く、甫木川の改修に併せた水門改築が必要です。このため、平成23年度から「特定構造物改築事業」に着手し、概ね5年間で緊急的に整備を実施するものです。

○　事業名：根占山本地区砂防激甚災害対策特別緊急事業　　**【河川－21】**

区分：補助　（鹿児島県）

平成 22 年 6 月 12 日から 7 月 4 日までの梅雨前線による豪雨で、南大隅町の根占山本地区において地下水位の上昇により深層崩壊を促し土石流災害が発生している状況です。この土石流災害により人家2戸の浸水被害と国道 269 号の全面通行止めの被害があり、依然として、流域内の渓床や斜面山頂部には、大規模な不安定土砂が存在しており土石流に対応した対策が必要です。このため、平成 23 年度から「砂防激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、概ね 3 年間で緊急的に整備を実施するものです。

○　事業名：奄美大島地区砂防激甚災害対策特別緊急事業　　**【河川－22】**

区分：補助　（鹿児島県）

平成 22 年 10 月 18 日から 10 月 24 日までの秋雨前線による豪雨により、奄美市、瀬戸内町、龍郷町、大和村の広範囲において、多数の土石流災害が発生している状況です。この土石流災害により人家等の浸水被害や主要国道及び生活道路の全面通行止め等の多数の被害を受けており、依然として、流域内の渓床に不安定土砂が多数堆積しており土石流に対応した対策が必要です。このため、平成 23 年度から「砂防激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、概ね 3 年間で緊急的に整備を実施するものです。

○　事業名：奄美大島地区地すべり激甚災害対策特別緊急事業　　**【河川－23】**

区分：補助　（鹿児島県）

平成 22 年 10 月 18 日から 10 月 24 日までの秋雨前線による豪雨により、龍郷町浦地区において地すべり災害が発生している状況です。この地すべり災害により一次緊急輸送路である国道 58 号が通行止めとなりました。依然として、地すべり災害ブロックに隣接する斜面等に多数の滑落崖が存在し、小規模な崩土や土砂流出が発生している状況であり、現在も伸縮計等による監視を行いながら国道 58 号の交通解放を行っており地すべり災害に対応した対策が必要です。このため、平成 23 年度から「地すべり激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、概ね 3 年間で緊急的に整備を実施するものです。

○ 事業名：永山第4特定緊急砂防事業 【河川－24】

区分：補助 （佐賀県）

平成 22 年 7 月 14 日の梅雨前線による集中豪雨（最大時間雨量 53mm）により土石流が発生し、下流域の人家4戸が一部損壊、2戸が床下浸水、非住家7戸が全壊、主要県道が全面通行止めとなり、幹川の田手川に流れ込む被害となりました。依然として、流域内の渓床等に不安定土砂が多数堆積しており土石流に対応した対策が必要です。このため、平成 23 年度に「特定緊急砂防事業」に着手し、1年間で緊急的に整備を実施するものです。

○ 事業名：国道220号 日南防災（北区間） 【道路－19】

区分：直轄 （宮崎県）

国道220号日南防災（北区間）は、脆弱な地質を通過することから発生している、異常気象時の通行規制や災害による通行止めに対し、災害の危険性が高い箇所を回避することで、宮崎市と宮崎県南を連絡する唯一の幹線道路である国道220号において安全で安心な通行の確保を図る道路です。

○ 事業名：一般県道 諫早外環状線（鷲崎～栗面工区） 【道路－10】

区分：補助 （長崎県）

一般県道諫早外環状線（鷲崎～栗面工区）は、島原道路の一部を構成する諫早市の環状道路区間であり、現在事業中の諫早外環状線諫早インター工区等と一体となって広域ネットワークを形成し、渋滞緩和および地域の活性化に大きく寄与します。

○ 事業名：街路事業（戸畑枝光線（牧山ランプ～枝光ランプ）：地域高規格道路） 【都住－3】

区分：補助 （福岡県）

本路線は、北九州高速2号線（戸畑）と北九州高速5号線（枝光）を連絡し、北九州市の環状放射型の自動車専用道路ネットワークを形成する地域高規格道路です。

本路線の整備により、広域物流ネットワークが構築され、物流拠点の機能強化や、周辺の交通混雑緩和を図ります。

○ 事業名：細島港（白浜地区）国際物流ターミナル 【港空－9】

区分：直轄 （宮崎県）

細島港の背後圏には加工製品を産出する我が国有数の大型企業が立地することに加え、リチウム電池部品の生産や太陽電池パネルを製造する企業の立地が相次いでいます。

このような状況のもと、細島港で取り扱う貨物が急増することに加え、船舶の大型化傾向に対応する施設整備が求められています。

このため、水深13mの国際物流ターミナルの整備を行い、物流の効率化による産業競争力の向上を目指します。

○ 事業名：鹿児島港（新港区）複合一貫輸送ターミナル 【港空－10】

区分：直轄 （鹿児島県）

鹿児島港新港区は、鹿児島県の離島と沖縄を結ぶ海上拠点として重要な役割を果たしていますが、施設の老朽化が著しく、荷さばき地などが狭いため、非効率な荷役作業や事故発生の危険性が指摘されています。また、鹿児島港には大規模地震が発生した場合に、海上

輸送を維持するための耐震強化岸壁が整備されていません。
本事業は、このような課題解消を図り、離島生活を支える海上拠点として相応しいターミナルを構築するための再編を行います。

○ **事業名：指宿港海岸　事業化検証調査**　　**【港空－12】**

区分：直轄　（鹿児島県）

指宿港海岸は、数多くの旅館・ホテルが立地する国内有数の温泉観光都市に位置し、砂浜を活用した砂むし温泉が著名な観光資源となっています。
しかしながら、同海岸は高波・高潮による砂浜の侵食が著しく、広い範囲で砂浜が流失しているのみならず、護岸の老朽化と海浜侵食による護岸基礎の洗掘で一部の護岸が倒壊する恐れ等もあります。このため、海岸侵食の原因となっている漂砂の発生機構を解明し、効率的・効果的な侵食対策を検討するため、事業化検証調査を実施します。

完　成

○ **事業名：川内川河川激甚災害対策特別緊急事業**　　**【河川－9】**

区分：直轄・補助　（鹿児島県）

平成18年7月豪雨により川内川の上流から下流に至る流域の3市2町（薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市）の広域にわたって床上浸水1,848戸、床下浸水499戸に達する甚大な被害が発生しました。このため、平成18年10月に採択を受けた河川激甚災害対策特別緊急事業により、川内川水系の河川改修を重点的に実施し、浸水による被害を軽減します。

○ **事業名：緑川土地利用一体型水防災事業【緑川上流地区】**　　**【河川－4】**

区分：直轄　（熊本県）

緑川上流は、平成7年、9年、19年と相次いで家屋浸水被害が発生していますが、未だ抜本的な対策が完了していないため、出水の度に浸水被害の危険にさらされています。このため、「土地利用一体型水防災事業」として抜本的な対策を行い、平成23年度までの完成を図ることにより、既往最大洪水となる平成19年7月洪水と同規模の洪水に対して浸水被害の解消を図ります。

○ **事業名：球磨川総合水系環境整備事業【淋地区】**　　**【河川－15】**

区分：直轄　（熊本県）

球磨川淋地区は球磨村に位置しており、球磨川くだりや鮎釣りなどで利活用が盛んな地区ですが、河川利用上の安全性が低いことが課題となっています。
地元自治体が「かわまちづくり支援制度」に申請して登録されたことなどを踏まえ、平成21年度から国土交通省において河川利用上の安全性を高めるための低水護岸工や管理用通路を整備しており、H23 年度の完成を目指します。

○ 事業名：嘉瀬川嘉瀬川ダム建設事業　【河川－13】

区分：直轄 （佐賀県）

嘉瀬川ダムは、洪水調節を行うとともに、下流の流水の正常な機能の維持、水道・工業用水の供給、特定かんがい用水の補給及び発電を目的とした多目的ダムです。

平成23年度は、平成22年度に引き続き試験湛水等を実施予定です。

○ 事業名：池町川床上浸水対策特別緊急事業　【河川－19】

区分：補助 （福岡県）

一級河川筑後川水系池町川は、平成16年8月2日の豪雨で浸水面積23.1ha、床上55棟、床下130棟の浸水等、甚大な被害が発生しました。

このため、平成19年度より床上浸水対策特別緊急事業を実施し、河道掘削、放水路等の整備を行うことにより、平成16年8月洪水と同規模の出水に対して浸水被害の解消を図ります。

○ 事業名：米之津川激甚災害対策特別緊急事業　【河川－20】

区分：補助 （鹿児島県）

米之津川は、平成18年7月22～23日の梅雨前線豪雨にて、床上793戸の浸水等、甚大な被害が発生しました。

このため、平成18年度より河川激甚災害対策特別緊急事業を実施し、平成18年度洪水と同規模の出水に対して浸水被害の解消を図ります。

○ 事業名：国道3号 黒崎バイパス　【道路－1】

区分：直轄 （福岡県）　部分・暫定供用予定

国道3号黒崎バイパスは、黒崎周辺の交通混雑の解消、交通安全の確保を図るとともに、北九州都市高速道路等と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成し、特定重要港湾北九州港等の物流拠点へのアクセス性を向上することにより産業の活性化を支援します。

○ 事業名：国道497号 唐津伊万里道路　【道路－4】

区分：直轄 （佐賀県）　部分・暫定供用予定

国道497号唐津伊万里道路は、「西九州自動車道」の一部を構成し、九州西北部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、 唐津市と伊万里市における都市機能の強化を図ります。

○ 事業名：国道497号 佐々佐世保道路　【道路－7】

区分：直轄 （長崎県）　全線・暫定供用予定

国道497号佐々佐世保道路は、「西九州自動車道」の一部を構成し、佐々佐世保道路の全線暫定供用（全線延長9．0km、今回供用予定延長4．0km）の整備により、九州北西部地域、佐世保市域の交通混雑の緩和と交通安全の確保に大きな効果が期待されます。

○ 事業名：国道3号 松橋バイパス　【道路－13】

区分：直轄 （熊本県）　部分・完成供用予定

国道3号松橋バイパスは、宇土市と宇城市間の交通混雑の緩和と交通安全の確保及び沿道環境の改善を図る4車線化整備事業で、高規格幹線道路とのアクセス性向上による地域

産業の活性化を支援します。

○ **事業名：国道10号 別大拡幅** **【道路－17】**
区分：直轄 （大分県） **部分・完成供用予定**

国道10号別大拡幅の高崎山地区の供用（全線22．6km、うち今回供用予定延長 0．5km）により、交通が集中する別府市～大分市間の交通混雑が緩和されるとともに、別府市～大分市間の地域間交流・連携を促進します。

○ **事業名：国道212号 本耶馬渓～耶馬渓道路** **【道路－18】**
区分：補助 （大分県） **全線供用予定**

本耶馬渓～耶馬渓道路は、H8道路防災総点検要対策箇所の解消と災害時の救援活動・緊急物資輸送路を確保し、東九州自動車道及び重要港湾中津港へのアクセス強化、産業の活性化を支援します。

○ **事業名：国道10号 都城道路** **【道路－21】**
区分：直轄 （宮崎県） **部分・暫定供用予定**

国道10号 都城道路は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線（都城IC）との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善に大きな効果が期待されます。

○ **事業名：国道225号 川辺改良** **【道路－26】**
区分：直轄 （鹿児島県） **全線・完成供用予定**

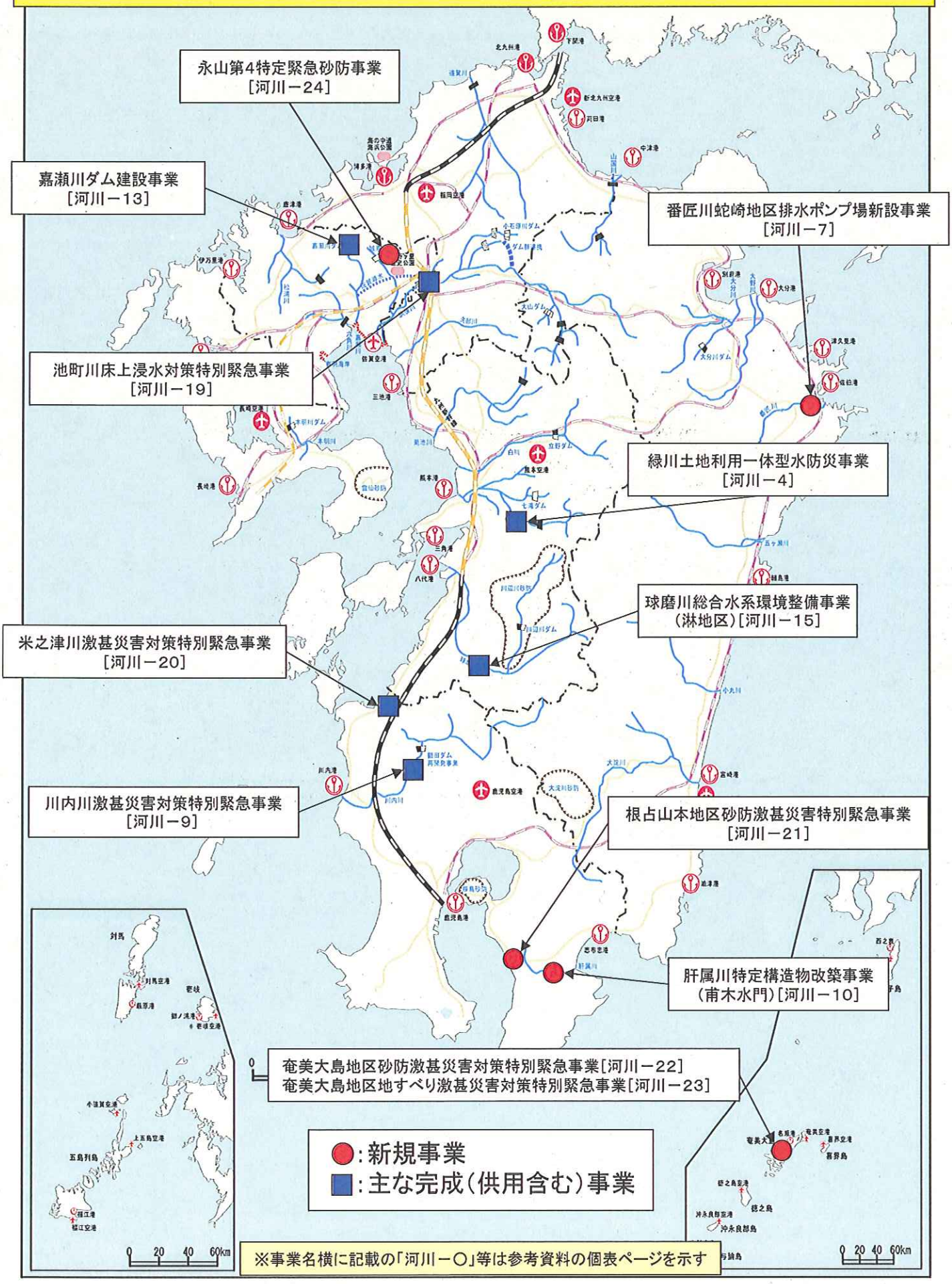
国道225号 川辺改良は、地形が急峻で線形が悪く、異常気象時における通行規制区間（連続雨量 200mm 以上）となっている川辺峠付近の交通安全の確保を図ります。

○ **事業名：郷ノ浦港（郷ノ浦地区）国内物流ターミナル（耐震改良）** **【港空－5】**
区分：直轄 （長崎県）

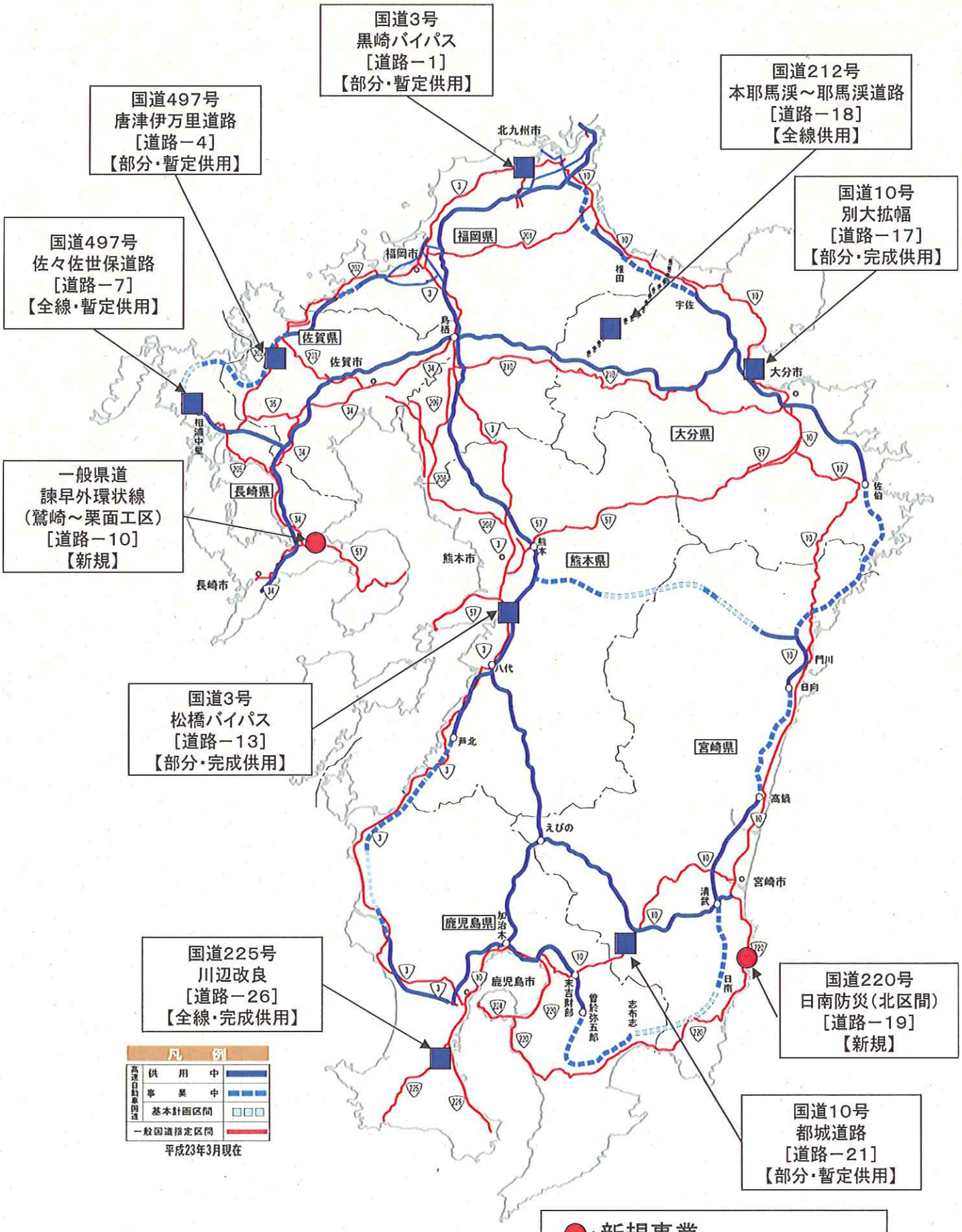
郷ノ浦港は長崎県の北東部、人口約3万人の離島「壱岐島」の生活や経済活動を支える海上拠点として重要な役割を果たしていますが、壱岐島には大規模地震が発生した場合に、海上輸送を維持するための耐震強化岸壁が整備されていません。

このため、大規模地震が発生した場合にも生活や経済活動を支援する「耐震強化岸壁」を整備完了するものです。

平成23年度　主な完成（供用含む）事業及び新規事業箇所位置図（河川関係）

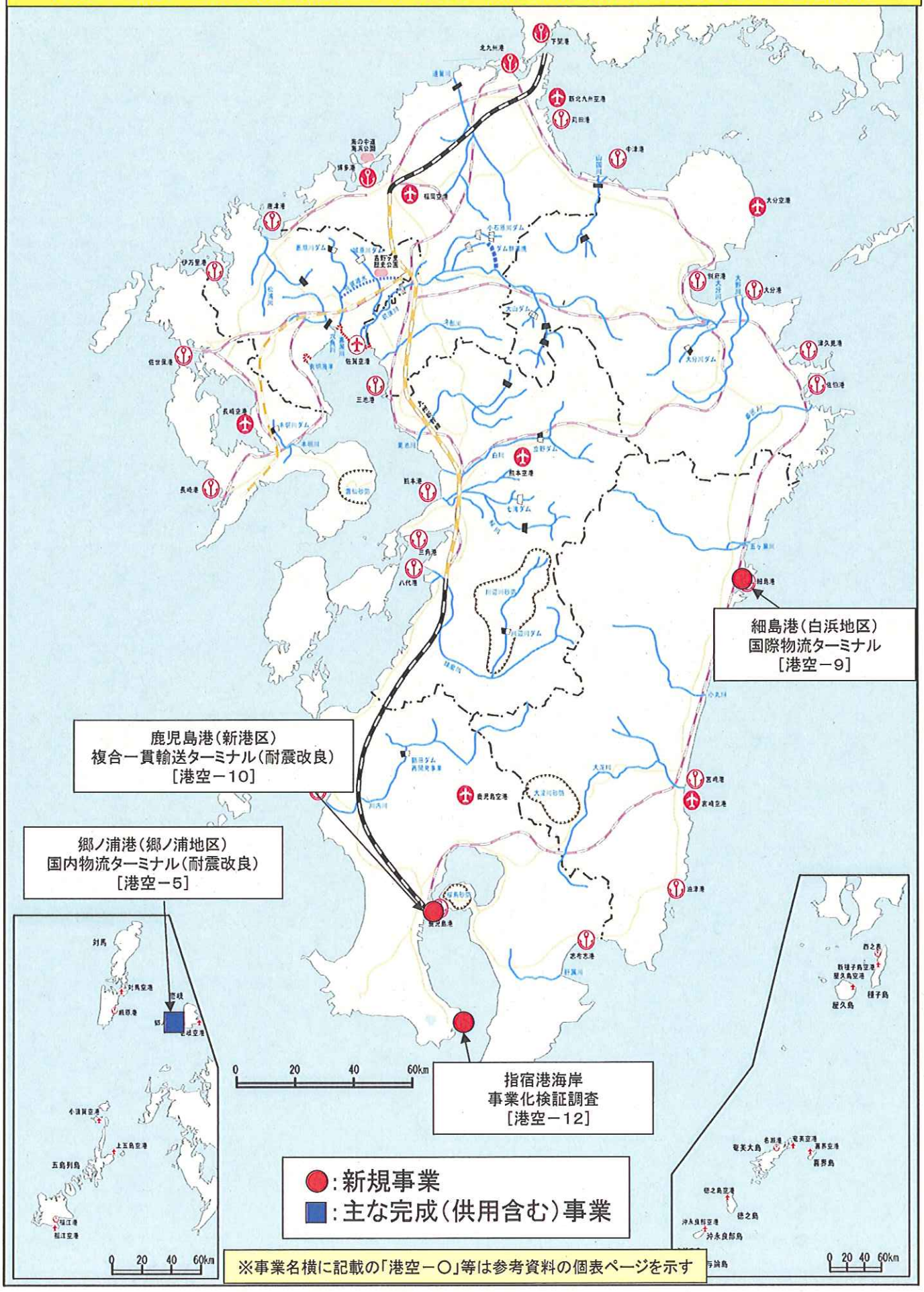


平成23年度　主な完成（供用含む）事業及び新規事業箇所位置図（道路関係）

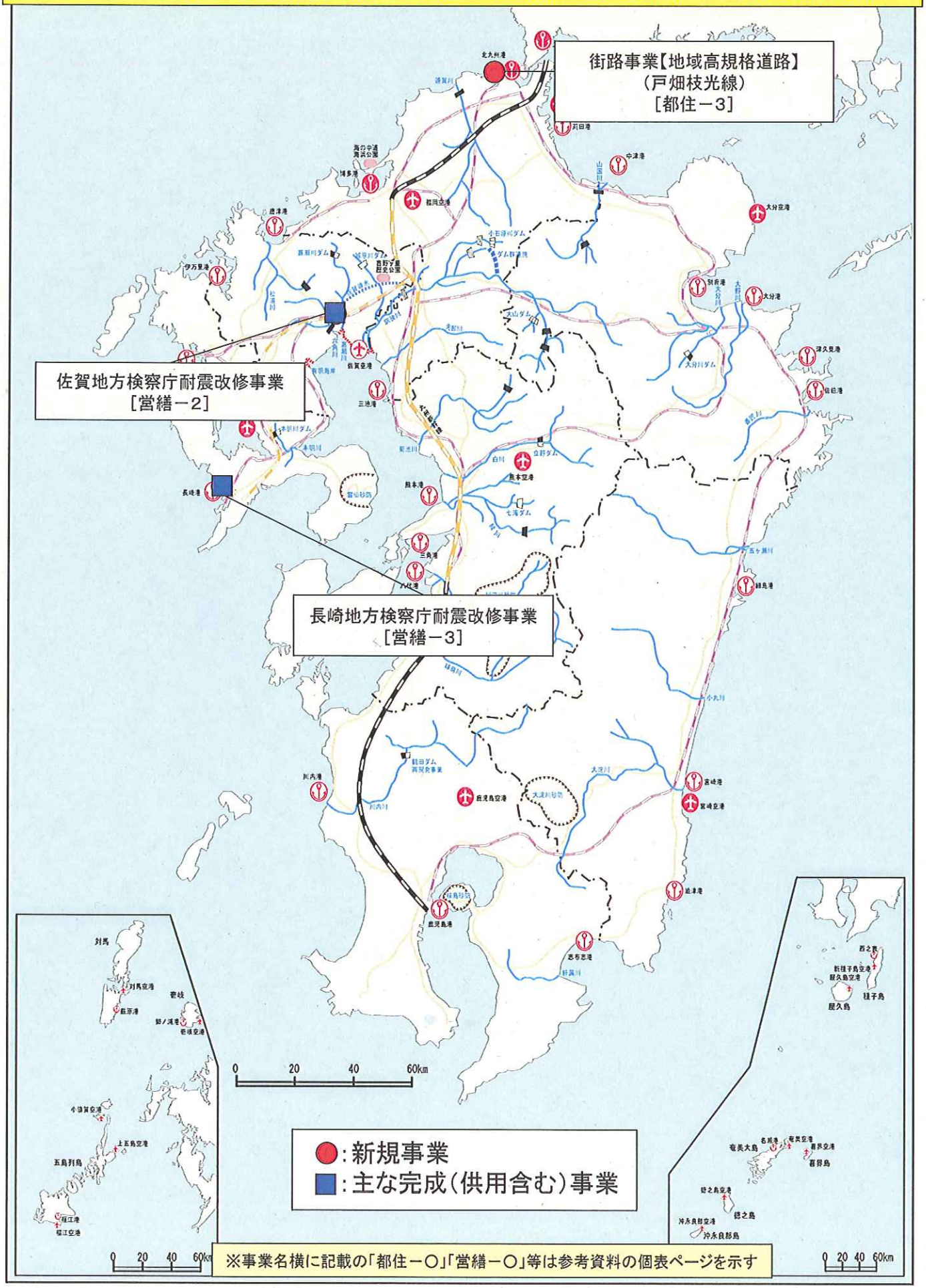


※事業名横に記載の「道路－○」等は参考資料の個表ページを示す

平成23年度　主な完成（供用含む）事業及び新規事業箇所等位置図（港湾・空港関係）



平成23年度　主な完成事業及び新規事業箇所位置図（都市・住宅、営繕関係）



福岡県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道200号 直方地区環境対策	直方市	50	
直轄	国道3号 千早・名島地区電線共同溝	福岡市	180	
直轄	国道3号 東比恵(その2)地区電線共同溝	福岡市	150	
直轄	国道210号 樋ノ口交差点改良	久留米市	90	
直轄	国道208号 八江地区電線共同溝	大牟田市	35	
直轄	国道208号 酒見地区電線共同溝	大川市	20	

【都市・住宅関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
補助	北九州都市計画道路【街路事業】 戸畑枝光線(牧山ランプ～枝光ランプ)	北九州市	420	都住－3

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
補助	筑後川【床上浸水対策特別緊急事業】 池町川	久留米市	550	河川－19

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道3号 黒崎バイパス (部分・暫定供用)	北九州市	3,000	道路－1
直轄	国道201号 飯塚庄内田川バイパス (部分・完成供用)	飯塚市～田川市	800	
直轄	国道208号 有明海沿岸道路(大牟田～大川) (部分・暫定供用)	大牟田市～大川市	4,012	道路－2

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

直轄	国道3号 上西郷交差点改良	福津市	57	
直轄	国道200号 黒崎(その3)地区電線共同溝	北九州市	61	
直轄	国道202号 原(2)地区電線共同溝	福岡市	331	
直轄	国道202号 小田部地区電線共同溝	福岡市	386	

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	遠賀川【特定構造物改築事業】 中間堰	中間市	1,875	河川－1
直轄	遠賀川【河川改修事業】 小竹地区、本城地区他	飯塚市、北九州市、中間市、宮若市、直方市、鞍手郡小竹町	1,187	
直轄	矢部川【河川改修事業】 中島地区	柳川市	274	
直轄	筑後川【河川改修事業】 久留米市街部、紅粉屋地区他	久留米市、大川市	3,689 ※1	河川－2
直轄	遠賀川【総合水系環境整備事業】 中島地区他	中間市、直方市、遠賀郡芦屋町	287	
補助	那珂川【床上浸水対策特別緊急事業】 那珂川	福岡市、筑紫郡那珂川町	2,350	
補助	樋井川【床上浸水対策特別緊急事業】 樋井川	福岡市	1,000	
補助	多々良川水系【特定緊急砂防事業】 一の滝川	糟屋郡篠栗町	117	
補助	篠栗町【特定緊急地すべり対策事業】 栄谷	糟屋郡篠栗町	60	

※1 佐賀県、大分県における事業費を含む

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道3号 博多バイパス	福岡市	700	
直轄	国道3号 鳥栖久留米道路	久留米市	1,300	
直轄	国道10号 豊前拡幅	豊前市～築上郡上毛町	300	
直轄	国道201号 香春拡幅	田川郡香春町	30	
直轄	国道201号 行橋インター関連	行橋市～京都郡苅田町	2,410	道路－3

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

直轄	国道202号 福岡外環状道路	福岡市	250	
直轄	国道202号 赤坂橋架替	糸島市	200	
直轄	国道208号 大川佐賀道路(有明海沿岸道路)	大川市	100	
直轄	国道208号 浦島橋架替	みやま市～柳川市	596	
直轄	国道210号 浮羽バイパス	久留米市～うきは市	400	
直轄	国道322号 八丁峠道路	嘉麻市～朝倉市	200	
直轄	国道497号 今宿道路(西九州自動車道)	福岡県～糸島市	98	
直轄	国道2号 門司地区電線共同溝	北九州市	181	
直轄	国道3号 馬出地区電線共同溝	福岡市	128	
直轄	国道3号 千代(1)地区電線共同溝	福岡市	179	
直轄	国道3号 前田地区電線共同溝	北九州市	38	
直轄	国道3号 千代(2)地区電線共同溝	福岡市	446	
直轄	国道200号 幸神地区電線共同溝	北九州市	20	
直轄	国道202号 福重地区電線共同溝	福岡市	130	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	北九州港 【直轄港湾改修事業】 洞海地区	北九州市	2,010	
直轄	博多港 【直轄港湾改修事業】 アイランドシティ地区	福岡市	300	港空－1
直轄	苅田港 【直轄港湾改修事業】 新松山地区	京都郡苅田町	1,125	港空－2
直轄	三池港 【直轄港湾改修事業・港湾改修補助事業】 内港北地区 ※部分供用	大牟田市	1,598	
直轄	関門航路 【直轄港湾改修事業】 関門地区	北九州市	6,797	港空－3
直轄	北九州空港 【空港整備事業】	北九州市	(94) 94	
直轄	福岡空港 【空港整備事業】	福岡市	(1,104) 388	港空－14

( )書き:大阪航空局分等を含む全体事業費
( )なし:うち九州地方整備局分を記載

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

【都市・住宅関係事業】

区分	上段：施設名【事業名】 下段：箇所名	市町村名	H23事業費 （百万円）	個表 ページ
直轄	福岡都市計画公園【都市公園事業】 海の中道海浜公園	福岡市	1,854	都住－1
補助	福岡市都市公園【都市公園事業】 室見川水系地区	福岡市	540	
補助	北九州都市計画道路【街路事業】 新若戸道路	北九州市	210	
補助	八幡高見【21世紀都市居住緊急促進事業】 八幡高見地区	北九州市	319	
補助	大里本町【21世紀都市居住緊急促進事業】 大里本町地区	北九州市	173	
補助	新世界【先導型再開発緊急促進事業】 新世界地区（第一期工区）	久留米市	1,154	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

佐賀県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
補助	筑後川 【特定緊急砂防事業】 永山第4	神埼郡吉野ヶ里町	100	河川－24

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道34号 田手交差点改良	神埼郡吉野ヶ里町	78	

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	嘉瀬川 【嘉瀬川嘉瀬川ダム建設事業】 佐賀県佐賀市	佐賀市	2,483	河川－13

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道34号 今寺歩道整備	嬉野市	15	
直轄	国道497号 唐津伊万里道路(西九州自動車道) (部分・暫定供用)	唐津市～伊万里市	4,600	道路－4

【営繕関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	佐賀地方検察庁 【官庁営繕事業】 佐賀県佐賀市	佐賀市	107	営繕－2

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	筑後川 【河川改修事業】 早津江地区、横武地区他	佐賀市、神埼市	3,689 ※1	河川－2
直轄	嘉瀬川 【河川改修事業】 十五地区、徳万地区	佐賀市	239	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

直轄	六角川 【河川改修事業】 牛津川地区	多久市	616	
直轄	松浦川 【河川改修事業】 行合野地区、田頭地区他	唐津市、伊万里市、武雄市	404	

※1 福岡県、大分県における事業費を含む

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道3号 鳥栖拡幅	鳥栖市	40	
直轄	国道3号 鳥栖久留米道路	鳥栖市	40	
直轄	国道34号 神埼佐賀拡幅	神埼市～佐賀市	100	
直轄	国道34号 武雄バイパス	武雄市	75	
直轄	国道202号 伊万里バイパス	伊万里市	25	
直轄	国道203号 厳木バイパス(佐賀唐津道路)	唐津市	450	
直轄	国道203号 多久佐賀道路Ⅰ期(佐賀唐津道路)	多久市～小城市	75	
直轄	国道203号 河原橋架替	唐津市	150	
直轄	国道208号 大川佐賀道路(有明海沿岸道路)	佐賀市	100	
直轄	国道497号 伊万里道路(西九州自動車道)	伊万里市	100	
直轄	国道497号 伊万里松浦道路(西九州自動車道)	伊万里市	825	道路－5
直轄	国道34号 佐賀地区電線共同溝	佐賀市	469	
補助	国道444号 佐賀福富道路(有明海沿岸道路)	佐賀市～白石町	2,620	道路－6
補助	国道444号 福富鹿島道路(有明海沿岸道路)	白石町	20	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	伊万里港 【直轄港湾改修事業】 七ツ島地区	伊万里市	520	港空－4

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

【都市・住宅関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	神埼都市計画及び佐賀東部都市計画公園【都市公園事業】 国営吉野ヶ里歴史公園	神埼市、神埼郡吉野ヶ里町	1,287	都住－2
補助	唐津大手口【先導型再開発緊急促進事業】 唐津大手口街区	唐津市	941	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

長崎県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道57号 深江歩道整備	南島原市	54	
直轄	国道34号 万才地区電線共同溝	長崎市	10	
直轄	国道57号 雲仙地区(1)電線共同溝	雲仙市	15	
直轄	国道57号 小浜地区電線共同溝	雲仙市	15	
補助	国道251号 吾妻愛野バイパス(島原道路)	雲仙市	400	
補助	(一)諫早外環状線 鷲崎～栗面工区(島原道路)	諫早市	980	道路－10

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道497号 佐々佐世保道路(西九州自動車道) (全線・暫定供用)	佐世保市	650	道路－7
直轄	国道34号 大村拡幅 (部分・完成供用)	大村市	710	
直轄	国道34号 肥前古賀駅入口交差点改良	長崎市	12	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	郷ノ浦港 【直轄港湾改修事業】 郷ノ浦地区	壱岐市	219	港空－5

【営繕関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	長崎地方検察庁 【官庁営繕事業】 長崎県長崎市	長崎市	115	営繕－3

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	本明川 【河川改修事業】 幸・川内地区	諫早市	383	河川－3
直轄	雲仙・普賢岳 【直轄砂防事業】 雲仙・普賢岳	島原市、南島原市	1,857	河川－16

【道路関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道57号 森山拡幅(島原道路)	雲仙市～諫早市	2,735	
直轄	国道205号 針尾バイパス	佐世保市	400	
直轄	国道251号 島原中央道路(島原道路)	島原市	3,200	道路－8
直轄	国道497号 伊万里松浦道路(西九州自動車道)	松浦市	3,200	道路－5
直轄	国道34号 桜馬場地区電線共同溝	大村市	300	
補助	国道206号 小迎バイパス(西彼杵道路)	西海市	300	
補助	国道251号 愛野森山バイパス(島原道路)	雲仙市～諫早市	2,000	道路－9
補助	(一)諫早外環状線 諫早インター工区(島原道路)	諫早市	3,000	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄・補助	長崎港 【直轄港湾改修事業・港湾改修補助事業】 小ヶ倉柳地区	長崎市	996	
直轄	長崎空港 【空港整備事業】	大村市	(174) 150	

( )書き:大阪航空局分等を含む全体事業費
( )なし:うち九州地方整備局分を記載

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

熊本県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道3号 萩原地区電線共同溝	八代市	30	
直轄	国道3号 迎町交差点改良	熊本市	81	

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	緑川 【土地利用一体型水防災事業】 緑川上流地区	上益城郡甲佐町	226	河川－4

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道3号 松橋バイパス (部分・完成供用)	宇土市～宇城市	250	道路－13
直轄	国道208号 菰屋歩道整備	荒尾市	39	道路－14
直轄	国道208号 玉名地区電線共同溝	玉名市	75	

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	球磨川 【河川改修事業】 萩原地区、藤本・大門地区他	八代市、球磨郡球磨村、 葦北郡芦北町、人吉市	1,684	
直轄	緑川 【河川改修事業】 美登里地区、浜戸川地区	熊本市、宇土市	1,102	河川－5
直轄	白川 【河川改修事業・河川都市基盤整備事業】 熊本市街部、沖新地区	熊本市	3,024	河川－6
直轄	菊池川 【河川改修事業】 大江田地区、山鹿地区他	玉名市、玉名郡和水町、 山鹿市	1,059	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

直轄	球磨川【総合水系環境整備事業】 球磨川下流地区、湫地区(完成)	八代市、球磨郡球磨村	54	河川－15
直轄	筑後川【総合水系環境整備事業】 松原ダム･下筌ダム	阿蘇郡小国町	10	
直轄	球磨川【球磨川川辺川ダム調整事業】 熊本県球磨郡相良村	相良村	1,142	
直轄	球磨川【直轄砂防事業】 川辺川	八代市、球磨郡五木村	362	

※1 大分県における事業費を含む

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	九州横断自動車道延岡線 嘉島JCT～矢部	上益城郡御船町～上益城郡山都町	3,100	道路－11
直轄	国道3号 芦北出水道路(南九州西回り自動車道)	芦北町～水俣市	4,600	道路－12
直轄	国道3号 植木バイパス	熊本市	280	
直轄	国道3号 熊本北バイパス	熊本市･合志市	1,340	
直轄	国道57号 熊本宇土道路(熊本天草幹線道路)	熊本市～宇土市	1,300	
直轄	国道57号 宇土道路(熊本天草幹線道路)	宇土市	70	
直轄	国道57号 立野拡幅	阿蘇郡南阿蘇村～菊池郡大津町	800	
直轄	国道57号 瀬田拡幅	菊池郡大津町	500	
直轄	国道208号 玉名バイパス	玉名市	510	
直轄	国道3号 山鹿地区電線共同溝	山鹿市	474	
直轄	国道3号 近見地区電線共同溝	熊本市	632	
直轄	国道3号 水俣(2)地区電線共同溝	水俣市	619	
補助	国道266号 大矢野バイパス(熊本天草幹線道路)	上天草市～宇城市	1,220	
補助	(一)砂原四方寄線 花園工区(熊本環状道路)	熊本市	400	
補助	(一)砂原四方寄線 池上工区(熊本環状道路)	熊本市	350	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算･施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	八代港 【直轄港湾改修事業】 外港地区	八代市	1,798	
直轄	有明・八代海海域 【海洋環境整備事業】 有明海・八代海		231	港空－6
直轄	熊本空港 【空港整備事業】	菊池郡菊陽町	(374) 274	

( )書き:大阪航空局分等を含む全体事業費
( )なし:うち九州地方整備局分を記載

【営繕関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	熊本地方合同庁舎(B棟) 【官庁営繕事業】 熊本県熊本市	熊本市	－ ※	営繕－1

※ PFI事業で実施しており、施設費の支払いは完成後に行われるため、施設費が計上されていないもの。

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

大分県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道210号 石井歩道整備	日田市	69	

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道10号 弥生江良3歩道整備	佐伯市	12	
直轄	国道10号 別大拡幅 (部分・完成供用)	速見郡日出町～大分市	750	道路－17
直轄	国道210号 田原拡幅 (部分・完成供用)	大分市	100	
補助	国道212号 本耶馬渓～耶馬渓道路(中津日田道路) (全線・完成供用)	中津市	1,300	道路－18

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	山国川【河川改修事業】 青地区	中津市	447 ※1	
直轄	大分川【河川改修事業】 中島地区、畑中・滝尾・宗方地区	大分市	373	
直轄	大野川【河川改修事業】 宮河内地区(大谷樋門)、松岡地区他	大分市	483	
直轄	番匠川【河川改修事業】 灘地区、蛇崎地区(新規)	佐伯市	377	河川－7
直轄	筑後川【河川改修事業】 日田地区	日田市	3,689 ※2	
直轄	筑後川【総合水系環境整備事業】 松原ダム・下筌ダム	日田市	10	

※1 福岡県における事業費を含む
※2 福岡県、佐賀県における事業費を含む

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	東九州自動車道 佐伯～蒲江	佐伯市	5,740	道路－15
直轄	東九州自動車道 蒲江～北川	佐伯市	5,640	道路－15
直轄	国道10号 古国府拡幅	大分市	150	
直轄	国道10号 敷戸橋架替	大分市	200	
直轄	国道57号 大野竹田道路(中九州横断道路)	豊後大野市～竹田市	1,320	道路－16
直轄	国道210号 天瀬改良	日田市	150	
直轄	国道212号 三光本耶馬渓道路(中津日田道路)	中津市	550	
直轄	国道10号 宮崎地区電線共同溝	大分市	100	
補助	国道212号 中津三光道路(中津日田道路)	中津市	1,640	
補助	国道212号 耶馬渓道路(中津日田道路)	中津市	400	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	中津港 【直轄港湾改修事業】 田尻地区	中津市	1,556	港空－7
直轄	別府港海岸 【直轄海岸保全施設整備事業】 北浜・上人ヶ浜地区	別府市	1,366	港空－8
直轄	大分空港 【空港整備事業】	国東市	(721) 67	

( )書き:大阪航空局分等を含む全体事業費
( )なし:うち九州地方整備局分を記載

【都市・住宅関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
補助	大分都市計画道路 【街路事業】 庄の原佐野線(元町・下郡工区)	大分市	500	都住－4

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

宮崎県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道220号 日南防災(北区間)	宮崎市～日南市	50	道路－19
直轄	国道10号 中の瀬交差点改良	延岡市	141	
直轄	国道10号 上川東地区電線共同溝	都城市	35	
補助	(一)飯野松山都城線 梅北工区(都城志布志道路)	都城市	500	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	細島港 【直轄港湾改修事業】 白浜地区	日向市	595	港空－9

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道10号 都城道路(都城志布志道路) (部分・暫定供用)	都城市	700	道路－21
直轄	国道10号 都北地区電線共同溝	都城市	100	
直轄	国道10号 永谷歩道整備	児湯郡高鍋町	210	

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	五ヶ瀬川 【河川改修事業】 中の瀬地区、恒富地区	延岡市	624	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

直轄	大淀川【河川改修事業】 大淀川上流地区、田吉地区	宮崎市、都城市	1,447	河川－8
直轄	大淀川【直轄砂防事業】 大淀川	都城市、西諸県郡高原町	1,906	河川－17
直轄	宮崎海岸【直轄海岸保全施設整備事業】 宮崎海岸	宮崎市	525	河川－18
直轄	五ヶ瀬川【総合水系環境整備事業】 友内川	延岡市	8	
直轄	大淀川【総合水系環境整備事業】 水流川	宮崎市	130	

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	東九州自動車道 蒲江～北川	延岡市	7,040	道路－15
直轄	東九州自動車道 清武JCT～北郷	宮崎市～日南市	6,040	道路－20
直轄	東九州自動車道 北郷～日南	日南市	240	道路－20
直轄	国道10号 延岡道路	延岡市	9,140	道路－22
直轄	国道10号 門川日向拡幅	東臼杵郡門川町～日向市	260	
直轄	国道10号 新富バイパス	児湯郡新富町～宮崎市	420	
直轄	国道10号 都城道路(Ⅱ期)(都城志布志道路)	都城市	10	
直轄	国道218号 高千穂日之影道路	西臼杵郡高千穂町 ～ 西臼杵郡日之影町	100	
直轄	国道218号 北方延岡道路	延岡市	440	
補助	国道219号 広瀬バイパス(宮崎東環状道路)	宮崎市	1,100	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	宮崎空港【空港整備事業】	宮崎市	(1,106) 50	

( )書き:大阪航空局分等を含む全体事業費
( )なし:うち九州地方整備局分を記載

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

鹿児島県における主な事業箇所

○新規事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	肝属川【特定構造物改築事業】 甫木水門	鹿屋市	50	河川－10
補助	船石川【砂防激甚災害対策特別緊急事業】 根占山本地区	肝属郡南大隅町	1,200	河川－21
補助	奄美大島【砂防激甚災害対策特別緊急事業】 奄美大島地区	奄美市等	260	河川－22
補助	奄美大島【地すべり激甚災害対策特別緊急事業】 奄美大島地区	大島郡龍郷町	140	河川－23

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道3号 御陵下地区電線共同溝	薩摩川内市	16	
直轄	国道10号 隼人自歩道整備	霧島市	99	
直轄	国道225号 郡元地区電線共同溝	鹿児島市	16	
補助	国道504号 広瀬道路(北薩横断道路)	薩摩郡さつま町	300	
補助	(主)志布志福山線 志布志道路(都城志布志道路)	志布志市	300	

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	鹿児島港【直轄港湾改修事業】 新港区	鹿児島市	2,260	港空－10
直轄	指宿港海岸【事業化検証調査】 湯の浜地区	指宿市	50	港空－12

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

○完成(供用)事業箇所(部分供用含む)

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	川内川【河川激甚災害対策特別緊急事業】 川内川	薩摩郡さつま町	1,031	河川－9
補助	川内川【河川激甚災害対策特別緊急事業】 久富木川	薩摩郡さつま町	140	河川－9
補助	米之津川【河川激甚災害対策特別緊急事業】 米之津川	出水市	1,160	河川－20

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	国道220号 新城拡幅 (部分・完成供用)	垂水市	150	
直轄	国道225号 川辺改良 (全線・完成供用)	南九州市～鹿児島市	435	道路－26
直轄	国道225号 鴨池地区電線共同溝	鹿児島市	17	道路－27
直轄	国道220号 志布志自歩道整備	志布志市	39	
補助	国道504号 薩摩道路(北薩横断道路) (全線・完成供用)	薩摩郡さつま町	40	
補助	(主)鹿児島川辺線 川辺道路(南薩縦貫道)	南九州市	700	

○継続事業箇所

【河川関係事業】

区分	上段:水系名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	肝属川【河川改修事業】 田崎地区、宮下北地区	肝属郡肝付町、鹿屋市	325	
直轄	川内川【河川改修事業】 薩摩川内市街部、阿波井堰等	薩摩川内市、姶良郡湧水町、伊佐市、薩摩郡さつま町	2,005 ※1	河川－11, 12
直轄	桜島【直轄砂防事業】 桜島	鹿児島市	2,009	
直轄	肝属川【総合水系環境整備事業】 肝属川上流地区	鹿屋市	14	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

直轄	川内川【総合水系環境整備事業】 向田地区、湯之尾地区	薩摩川内市、伊佐市	179	
直轄	川内川【川内川鶴田ダム再開発事業】 鹿児島県薩摩郡さつま町	薩摩郡さつま町	4,767	河川－14

※1 宮崎県における事業費を含む

【道路関係事業】

区分	上段:路線名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	東九州自動車道 志布志～末吉財部	志布志市～曽於市	6,740	道路－23
直轄	国道3号 芦北出水道路(南九州西回り自動車道)	出水市	100	道路－12
直轄	国道3号 出水阿久根道路(南九州西回り自動車道)	出水市～阿久根市	3,200	道路－24
直轄	国道3号 川内隈之城道路(南九州西回り自動車道)	薩摩川内市	4,900	道路－25
直轄	国道3号 鹿児島東西道路(鹿児島東西幹線道路)	鹿児島市	2,150	
直轄	国道10号 加治木バイパス	姶良市	800	
直轄	国道10号 白浜拡幅	姶良市～鹿児島市	50	
直轄	国道10号 鹿児島北バイパス	鹿児島市	50	
直轄	国道220号 古江バイパス	鹿屋市～垂水市	30	
直轄	国道220号 早崎改良	垂水市、鹿児島市	220	
直轄	国道226号 平川道路	鹿児島市	700	
補助	国道504号 泊野道路(北薩横断道路)	薩摩郡さつま町～出水市	3,400	
補助	(主)志布志福山線 有明志布志道路(都城志布志道路)	志布志市	1,060	
補助	(主)志布志福山線 有明道路(都城志布志道路)	志布志市	1,000	
補助	(一)鹿屋串良インター線 串良鹿屋道路(大隅縦貫道)	鹿屋市	300	
補助	(一)鹿屋環状線 串良鹿屋道路2(大隅縦貫道)	鹿屋市	500	
補助	(主)頴娃川辺線 知覧道路(南薩縦貫道)	南九州市	500	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
補助	西之表港 【港湾改修補助事業】 中央地区	西之表市	970	港空－11
直轄	鹿児島空港 【空港整備事業】	霧島市	(2,625) 561	

( )書き:大阪航空局分等を含む全体事業費
( )なし:うち九州地方整備局分を記載

【都市・住宅関係事業】

区分	上段:施設名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
補助	鹿児島都市計画事業 【土地区画整理事業】 谷山駅周辺地区土地区画整理事業	鹿児島市	134	

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

山口県における主な事業箇所

○継続事業箇所

【港湾・空港関係事業】

区分	上段:港名【事業名】 下段:箇所名	市町村名	H23事業費 (百万円)	個表 ページ
直轄	関門航路【直轄港湾改修事業】 関門地区	下関市	6,797	港空－3
直轄	下関港海岸【直轄海岸保全施設整備事業】 長府・壇ノ浦・山陽地区	下関市	951	港空－13

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

平 成 23 年 度

国 土 交 通 省 関 係 予 算 概 要

（九州地方整備局関連）

－ 記者発表資料 －

参考資料

（主 要 事 業 個 表）

◇ 河川事業関係

◇ 道路事業関係

◇ 港湾・空港事業関係

◇ 都市・住宅事業関係

◇ 官庁営繕事業関係

平成23年4月1日

国土交通省九州地方整備局

河川事業関係個表

Ⅰ．河川事業

①災害対策の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現

○薩摩地方北部において記録的な雨量を記録し、甚大な被害をもたらした平成１８年７月豪雨への対策として、川内川、米ノ津川の河川激甚災害対策特別緊急事業及び鶴田ダムの再開発事業を重点的に進めます。（川内川、米ノ津川の河川激甚災害対策特別緊急事業についてはH２３年度完成予定）
また、久留米市や熊本市など九州の代表的な都市を氾濫域として抱える筑後川、白川等の河川において、予防的な治水対策を継続して進めます。

○昭和６０年台風１３号、平成１１年台風１８号等による有明沿岸の高潮被害の対策として、有明沿岸の河川における高潮堤防の整備を進めます。

○平成１５年７月、平成２１年７月の豪雨災害（遠賀川、那珂川等）や平成２２年１０月の豪雨災害（奄美大島）、平成２３年１月の新燃岳噴火などの頻発する災害に対して整備等を進めます。

②美しい環境先進圏の形成に向けた社会基盤づくり

○良好な自然環境を保全・再生する河川を整備し、河川管理機能と河川利用上の安全性の向上を図ります。また、地域住民やＮＰＯとも連携し、地域と一体となった維持管理等の活動を進めます。

1. 予　算

【直轄】　（単位：百万円）

	平成23年度（当初）(A)	平成22年度（当初）(B)	対前年比 (A)／(B)
河川事業	35,659	36,160	0.986
ダム事業	14,865	21,419	0.694
砂防事業	6,879	5,257	1.308
海岸事業	525	531	0.988
合　計	57,927	63,367	0.914

【補助】　（単位：百万円）

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	合計
河川事業	3,900	－	－	－	－	－	1,300	5,200
ダム事業	6,838	443	609	1,336	151	－	1,930	11,308
砂防事業	177	100	－	－	－	－	1,600	1,877
海岸事業	－	－	－	－	－	－	－	－
合　計	10,915	543	609	1,336	151	0	4,830	18,384

※４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則５％程度の予算執行が留保されることとなる。

遠賀川特定構造物改築事業（中間堰）の促進

～ 堰改築により洪水時の水位を下げる ～

1. 概要

遠賀川11k300付近に位置する中間堰付近は、治水安全度が低いため、河道拡幅とそれに伴う堰改築を行うことで河道断面を確保し、洪水時の水位を低下させることで被害の軽減を図ります。

なお、新日本製鐵（株）との共同事業として行うものです。

場所：　福岡県中間市

諸元：　堰改築（堰幅130m、堰高3.63m）、河道掘削等

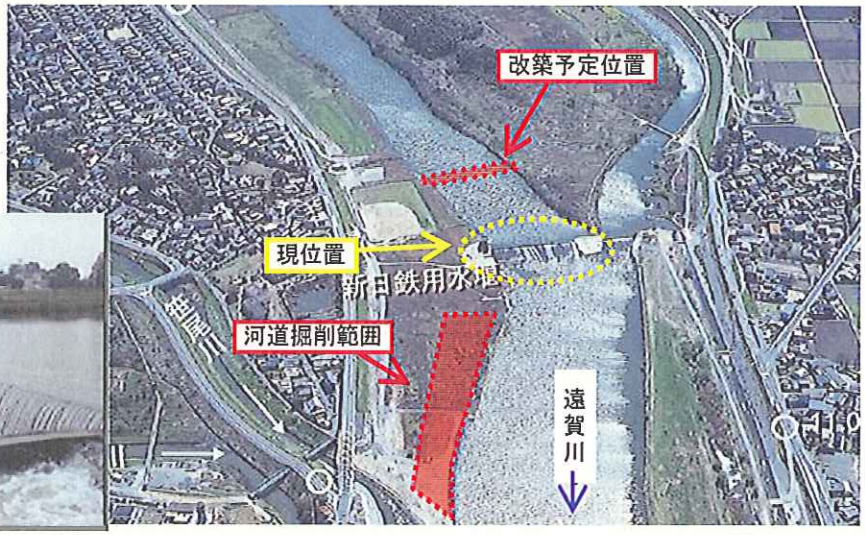
平成23年度　継続

完成予定

平成27年度

位置図





現在の新日鐵用水堰



2. 平成23年度の整備内容

引き続き堰本体工事を実施し、河道掘削に着工します。

3. 整備効果

河道拡幅と堰改築を行うことで、洪水時の水位低減を図り、浸水被害を軽減します。

筑後川高潮対策事業（緊急対策特定区間）の促進

～ 一連区間の堤防整備による高潮被害の防止 ～

1．概要

筑後川下流の高潮区間には、佐賀市や大川市の主要都市が位置し、低平地であることから氾濫時における浸水は広範囲に及び、想定氾濫区域浸水戸数は19,648戸となり甚大な被害となります。当該地区は高潮被害常襲地帯であり、これまで幾度となく被害を受け、昭和60年8月の台風13号を契機として、高潮堤防整備に本格着手しています。引き続き、整備計画目標である昭和60年8月台風13号規模に対して高さ不足となっている区間の高潮堤防等を整備し、一連区間で高潮被害の防止を図るものです。

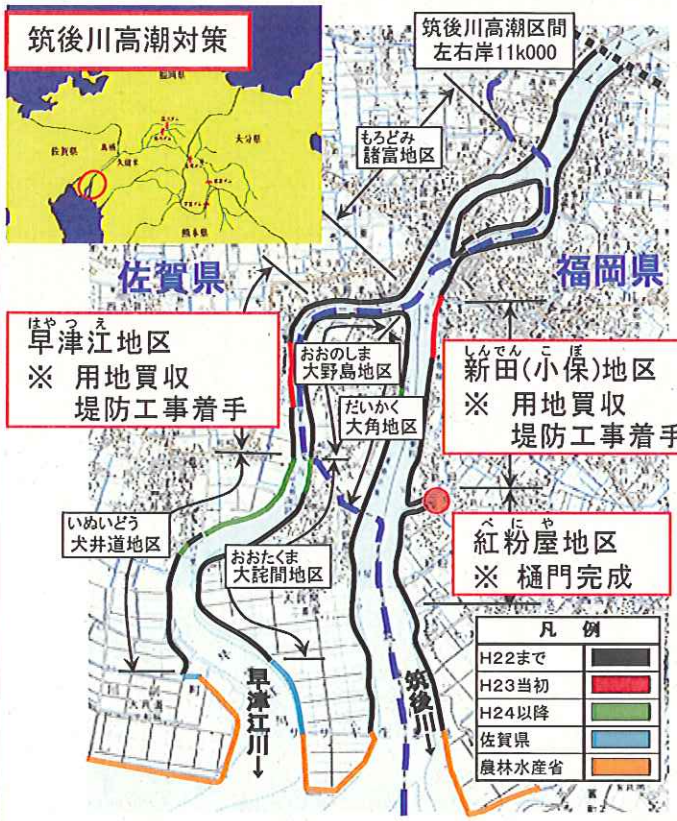
場所：福岡県大川市、佐賀県佐賀市

諸元：用地買収、築堤護岸、地盤改良、樋門　等

平成23年度　継続

完成予定

平成27年度





早津江川 5/800 付近（佐賀市）



昭和60年台風13号高潮被害（大川市）

2．平成23年度の整備内容

紅粉屋地区の樋門工事が完成予定です。併せて、新田（小保）地区、早津江地区の用地買収を促進するとともに、高潮堤防工事に着手します。

3．整備効果

築堤護岸、樋門等の整備を進めることで、昭和60年8月台風13号規模の高潮被害を解消します。

本明川河川改修事業（支川半造川）の促進

～ 河道拡幅により洪水を安全に流す ～

1. 概要

本明川支川半造川は流下能力が著しく低く、昭和32年7月洪水（諫早大水害）、昭和57年7月洪水（長崎豪雨）、平成11年7月洪水（諫早集中豪雨）により甚大な被害を受けており、早急な治水対策が必要です。

「本明川河川整備計画」に基づき昭和32年7月洪水相当流量を安全に流すことができるよう半造川の引堤事業を継続し、洪水氾濫による浸水被害の軽減を図ります。

場所：長崎県諫早市仲沖町～船越町（左岸）
長崎県諫早市川内町～小川町（右岸）
（合流部(0k000)～埋津橋(3k100)）

諸元：引堤　約3．1km

平成23年度　継続

完成予定
平成28年度以降



2. 平成23年度の整備内容

引堤事業（築堤・旧堤撤去等）を実施します。

3. 整備効果

引堤事業を実施することにより、昭和32年7月洪水相当規模の洪水を安全に流すことができ、洪水氾濫による浸水被害の軽減を図ります。

緑川上流水防災対策特定河川事業の完成

～ 輪中堤及び家屋嵩上げによる家屋浸水被害の防止 ～

1. 概要

緑川上流は、平成7年、9年、19年と相次いで家屋浸水被害が発生していますが、未だ抜本的な対策が完了していないため、出水の度に浸水被害の危険にさらされています。このため、「土地利用一体型水防災事業」として抜本的な対策を行い、平成23年度までの完成を図ることにより、既往最大洪水となる平成19年7月洪水と同規模の洪水に対して浸水被害の解消を図ります。

場所：熊本県下益城郡美里町（麻生原地区）
甲佐町（寒野地区、仁田子地区）

諸元：整備延長　約1．2km

平成23年度　完成

完成予定
平成23年度



出水状況（寒野地区）【平成7年7月】



出水状況（仁田子地区）【平成19年7月】





2. 平成23年度の整備内容

仁田子地区における築堤護岸、家屋嵩上げ等の整備を実施し、事業の完成を図ります。

3. 整備効果

仁田子地区において既往最大となる、平成19年7月出水と同規模の洪水に対する浸水被害を解消します。

緑川（みどりかわ）高潮対策事業（緊急対策特定区間）の促進

～ 一連区間の堤防整備による高潮被害の防止 ～

1．概要

緑川水系浜戸川は、平成11年台風18号による高潮被害により38戸の浸水被害が発生していますが、未だ抜本的な対策が行われておらず、台風の接近のたびに土のう積みによる水防活動が行われています。

このため、堤防整備等の抜本的な対策を行うことにより、平成11年台風18号と同規模の高潮被害に対して浸水被害の解消を図ります。

場所：熊本県宇土市（走潟（はしりがた）地区）

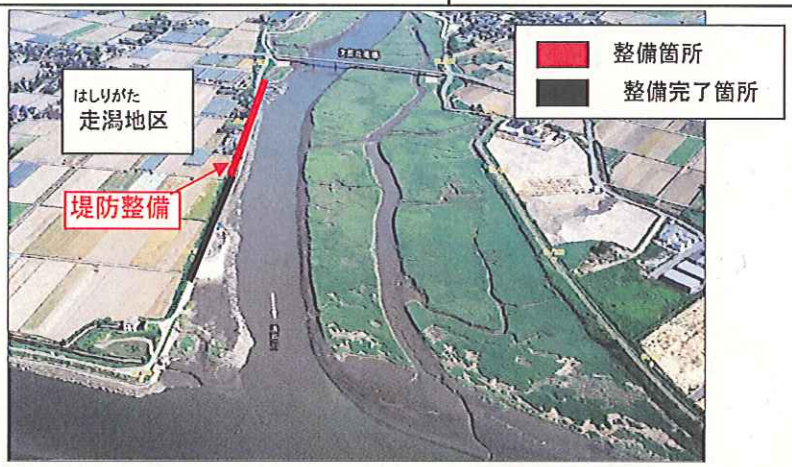
諸元：築堤

平成23年度　継続

完成予定

平成28年度以降





堤防越水状況【平成11年台風18号】



<水防活動状況>





2．平成23年度の整備内容

走潟地区における築堤工事の整備促進を図ります。

3．整備効果

堤防の整備及び樋管の改築を行うことにより、平成11年台風18号と同規模の高潮に対する浸水被害の解消を図ります。

白川（しらかわ）河川改修事業（緊急対策特定区間整備）の促進

～ 熊本市街部一連区間の堤防整備・河道掘削による洪水氾濫被害の防止 ～

1. 概要

白川は、熊本市の中心市街部を貫流しているにもかかわらず洪水に対する安全度が非常に低く、ひとたび氾濫すると甚大な被害が想定されます。近年では、昭和55年約1700戸、平成2年に約300戸の家屋が外水により浸水しており、土のう積みによる水防活動も行われています。

このため、堤防の整備および橋梁の改築等を行い、白川水系河川整備計画で定めた2，000m3/s（代継橋地点）を安全に流下させます。

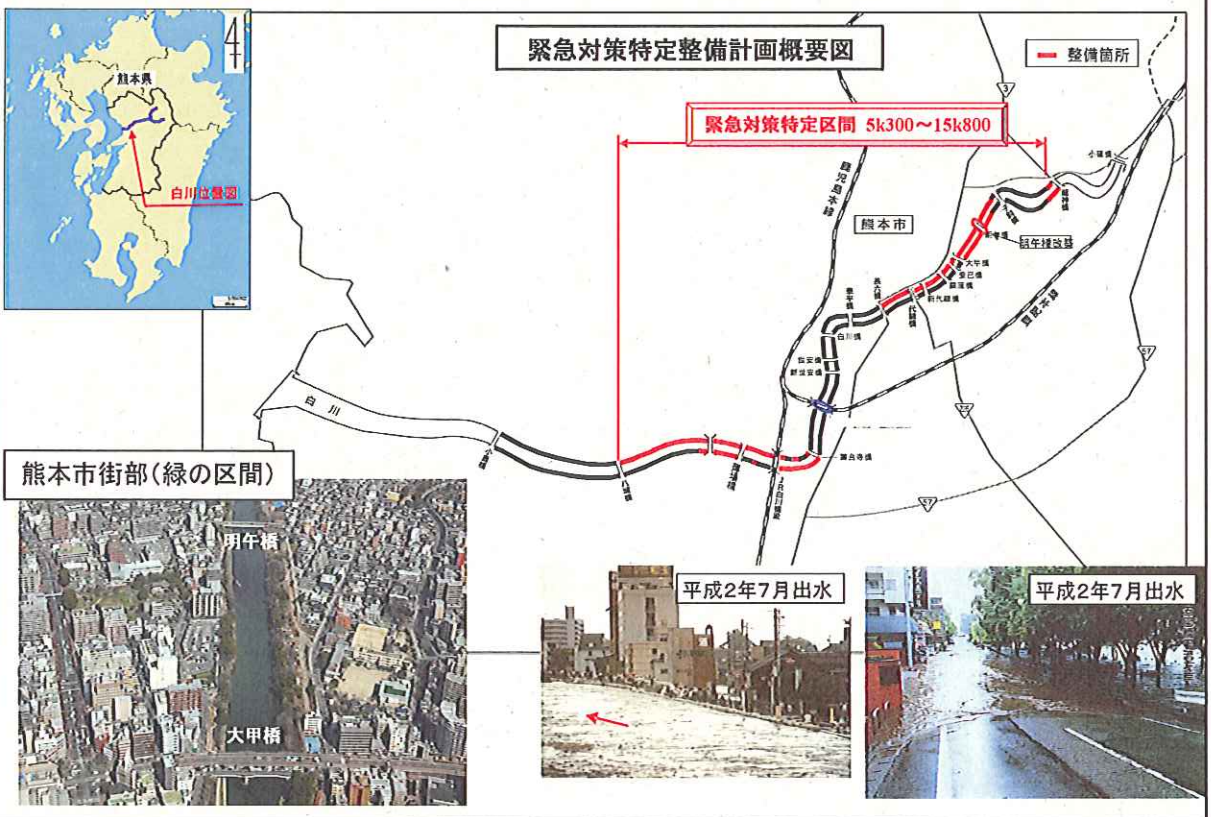
場所：熊本県熊本市（八城橋（はちじょうばし）（5k300）～龍神橋（りゅうじんばし）（15k800））

諸元：整備区間延長　約10．5km

平成23年度　継続

完成予定

平成27年度



2. 平成23年度の整備内容

熊本市街部区間（緑の区間）において河岸掘削、樹木の移植等を実施します。
また、下流部においては堤防整備等を実施します。

3. 整備効果

人口、資産が集中している熊本市街部において堤防の整備、橋梁の改築等、重点的に進めていくことにより、昭和55年8月及び平成2年7月と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を図ります。

番匠川蛇崎地区排水ポンプ場新設事業の着工

～ 排水ポンプ場の整備による内水被害の軽減 ～

1. 概要

一級河川番匠川水系番匠川と堅田川合流点に位置する蛇崎地先（大分県佐伯市）は、近年10年間で浸水回数が4回発生しています。特に平成17年9月台風14号出水では、床上浸水22戸、床下浸水43戸、浸水面積33haの浸水被害が発生した他、国道388号が道路冠水したことにより、約22時間にわたり中心市街地と寸断され、当該地区が一時孤立するなど、地域住民の安全・安心の確保を図る上で内水対策が急務となったおり、排水ポンプ場の整備を行うことで、床上浸水の軽減を図ります。

場所：　大分県佐伯市

諸元：　直轄事業：排水ポンプ場

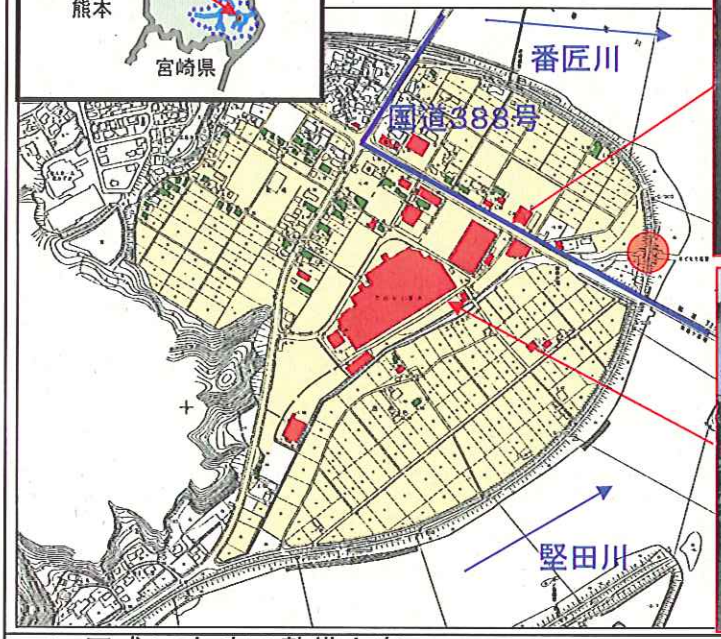
平成23年度　新規

完成予定

平成24年度

位置図





蛇崎地区内水被害状況（平成17年9月台風14号）





2. 平成23年度の整備内容

排水ポンプ場新設のために必要な用地取得、ポンプ場本体及び電気、機械設備の工事を実施します。

3. 整備効果

排水ポンプ場完成後は、近年最大洪水（平成16年・17年）規模の床上被害の解消を図ります。

大淀川河川改修事業（大淀川上流地区）を促進

～ 堤防整備・河道掘削による洪水氾濫被害の防止と内水被害の軽減 ～

1．概要

大淀川上流地区は、近年平成16年8月および平成17年9月出水により、家屋浸水被害が発生しました。

このため、堤防未整備区間のうち、家屋浸水被害が発生している高崎川高崎地区の堤防整備および、大淀川縄瀬地区，西久保地区の用地取得・河道掘削を行い、浸水被害の軽減を図ります。

場所：宮崎県都城市

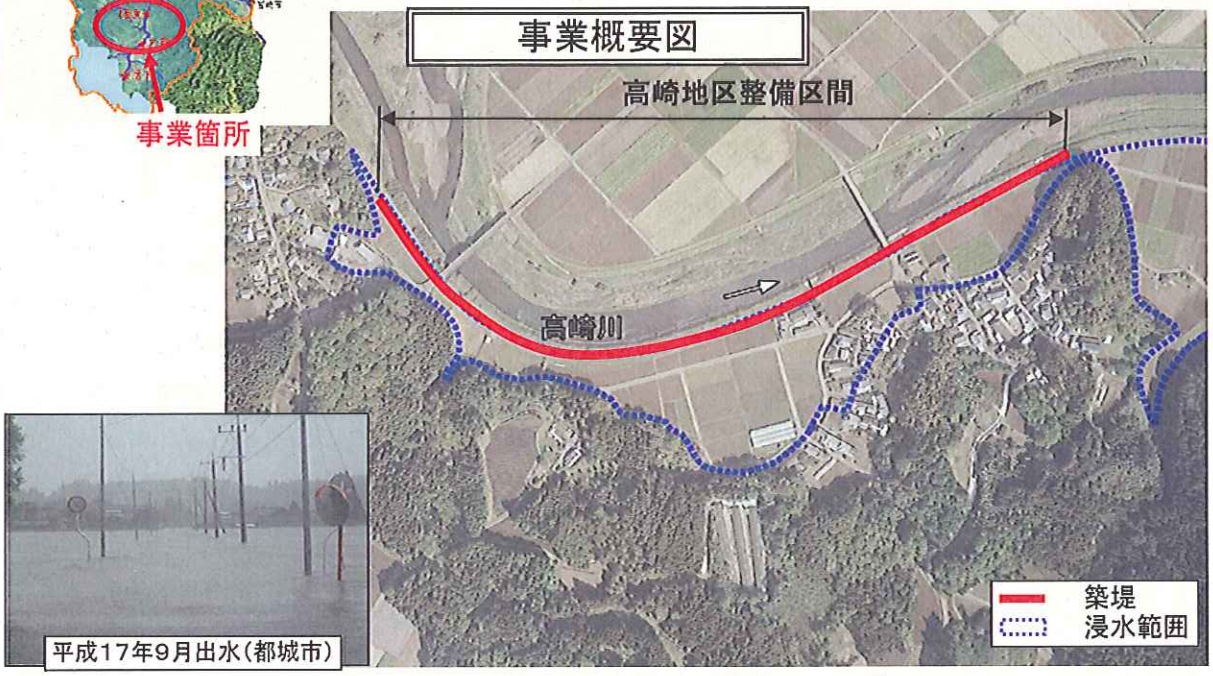
諸元：築堤・樋管改築、河道掘削

平成23年度　継続

完成予定

平成26年度





2．平成23年度の整備内容

築堤及び樋管改築、河道掘削等を実施します。

3．整備効果

平成17年9月と同規模の洪水に対して、外水氾濫による浸水被害の軽減を図ります。

川内川河川激甚災害対策特別緊急事業の完成

～ 短期集中・緊急的河川改修により洪水被害を軽減 ～

1. 概要

平成18年7月の梅雨前線による豪雨により、流域の3市2町（薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市）の広域にわたって浸水家屋2,347戸に及ぶ甚大な被害が発生しました。

このため、平成18年より激特事業を実施し緊急的かつ集中的な河川整備を実施します。

場所：　鹿児島県薩摩郡さつま町

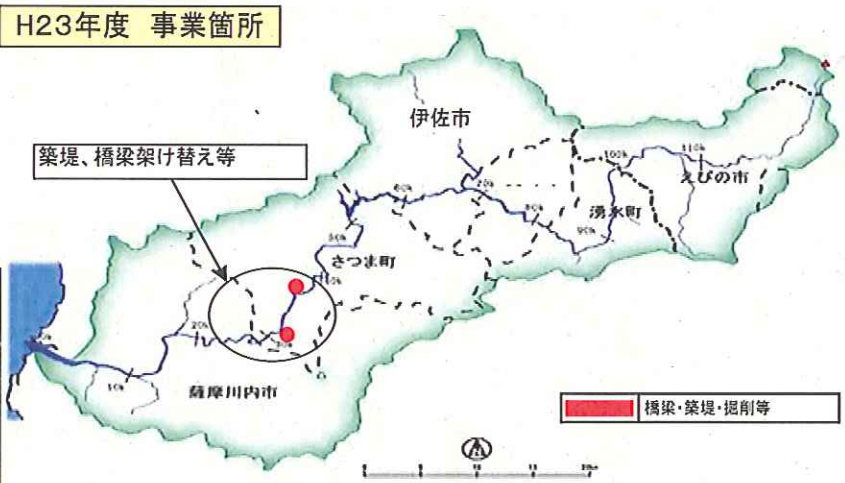
諸元：　＜直轄事業＞築堤、橋梁架け替え等
　　＜補助事業＞築堤等

平成23年度　完成

完成予定
　平成23年度



H23年度　事業箇所



出水状況（H18.7.22）





整備状況





2. 平成23年度の整備内容

築堤及び橋梁架け替え等の整備を行い、事業の完成を図ります。

3. 整備効果

築堤及び河道掘削等の整備によって外水位を低下させ、平成18年7月豪雨と同規模の洪水に対して、外水氾濫による浸水被害の軽減を図ります。

肝属川特定構造物改築事業（甫木水門）の着手

～ 支川改修と一体的に老朽化した水門を改築 ～

1．概要

肝属川左岸5k400付近に位置する甫木水門は昭和43年設置後42年が経過しており、コンクリートのひび割れ、剥離や強度の低下など老朽化が進行している。また、甫木川は、現況の治水安全度が低く、甫木川の改修に併せた水門改築が必要である。このため、平成23年度から「特定構造物改築事業」に着手し、5年間で緊急的に整備を実施するものです。

場所：　鹿児島県鹿屋市

諸元：　水門改築（水門幅19.3m×水門高4.4m×1連）

平成23年度　新規

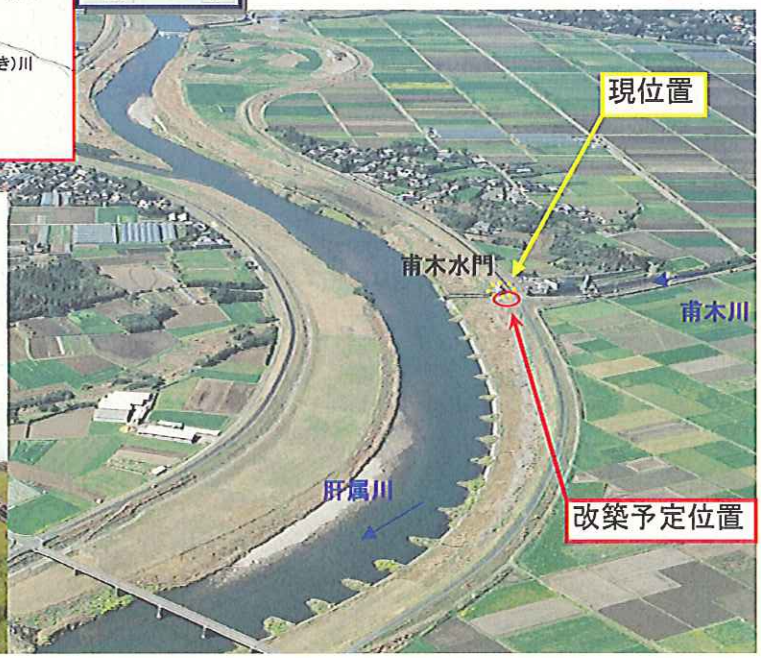
完成予定

平成27年度









2．平成23年度の整備内容

水門改築のため、測量及び詳細設計を行います。

3．整備効果

水門を改築することにより、排水機能の保持と信頼性の向上及び平成5年洪水に対して、浸水家屋及び重要施設の浸水解消を図ります。

川内川薩摩川内市街部改修事業の促進

～ 川内川全体の更なる治水安全度向上に向けた下流市街部の河道拡幅 ～

1. 概要

川内川流域の最大都市である薩摩川内市は昭和40年代の洪水により甚大な被害が発生。このため、平成5年度から中郷、瀬口、天辰Ⅰ地区で区画整理事業と連携し引堤を実施、尚田地区で質的整備を行い、残すところ大小路地区と天辰Ⅱ地区のみであり、これら一連の市街部改修事業を完成させ、薩摩川内市街部の治水安全度の向上を図る。

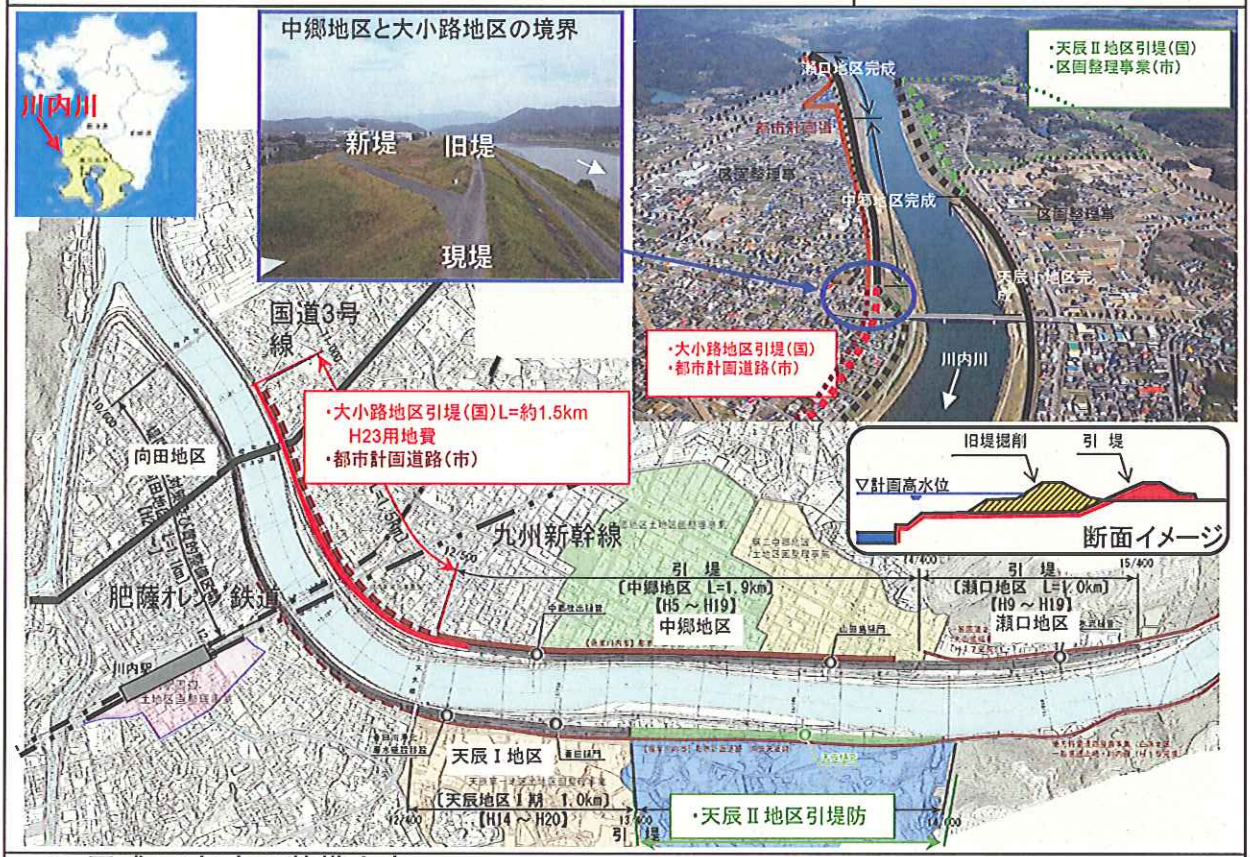
場所： 鹿児島県薩摩川内市大小路地先

諸元： 市の都市計画道路と連携し、堤防の引堤を実施

平成23年度　継続

完成予定

平成28年度以降



2. 平成23年度の整備内容

大小路地区引堤事業に必要な用地取得の促進。

3. 整備効果

流域最大の都市である薩摩川内市街部の治水安全度の向上を図る。

川内川阿波井堰改築事業の工事着手

～ 堰改築により洪水時の水位を下げる ～

1. 概要

阿波井堰は、川内川における旧吉松町と旧栗野町（ともに現湧水町）との境界付近に、発電所の取水堰として大正8年に完成した。川内川上流では、湧水町の治水安全度が低いため、上下流バランスを考慮し、流下阻害となっている阿波井堰の改築を実施し、水位低減による治水安全度の向上を図る。

場所：鹿児島県姶良郡湧水町地先

諸元：堰改築（可動化）

平成23年度　継続

完成予定
平成27年度



出水状況（H18.7.22）



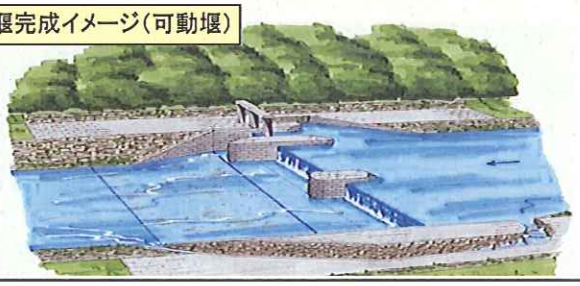


平成18年7月出水状況（阿波井堰）　平成18年7月出水状況（川添地区）

現在の阿波井堰（固定堰）



阿波井堰完成イメージ（可動堰）



2. 平成23年度の整備内容

堰改築に必要な用地取得及び工事用道路等への着手。

3. 整備効果

堰上流地区の治水安全度の向上を図る。

嘉瀬川ダムは試験湛水を継続実施

～ 洪水被害の軽減と渇水に強い地域づくりの支援 ～

1. 概要

嘉瀬川ダムは、洪水調節を行うとともに、下流の流水の正常な機能の維持、水道・工業用水の供給、特定かんがい用水の補給及び発電を目的とした多目的ダムです。

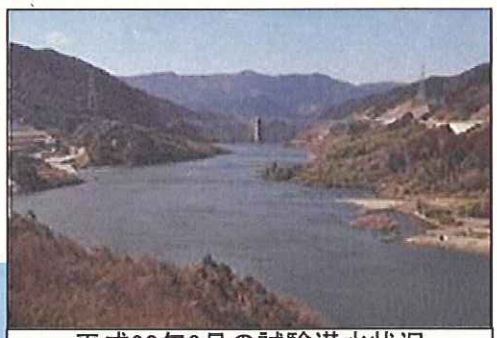
場所： 佐賀県佐賀市富士町

諸元： ダム高：約97m、堤体積：約1,000千m3、
総貯水容量：71,000千m3、有効貯水容量：68,000千m3

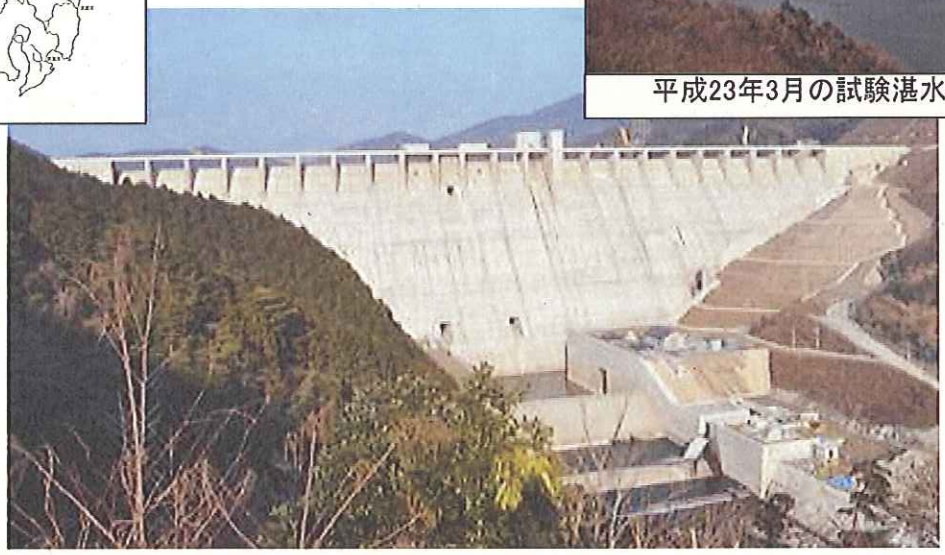
平成23年度 完成

完成予定
平成23年度





平成23年3月の試験湛水状況



2. 平成23年度の整備内容

平成22年度に引き続き試験湛水等を実施予定です。

3. 整備効果

ダムによる洪水調節を行い、県都である佐賀市を含む下流地域の治水安全度の向上を図ります。また、下流河川の環境を維持するための水量の確保及び水道・工業用水の安定した供給、発電、また特定かんがい用水の補給を行うことにより地下水の汲み上げによる地盤沈下の軽減を図ることが出来ます。

鶴田ダムは本体工事を継続実施

～ 洪水調節機能の強化 ～

1．概要

川内川流域の洪水被害を軽減するため、既設鶴田ダム（川内川水系川内川）の夏場の利水容量等を洪水調節容量に振り替え、洪水調節容量の増量を行うとともに、放流設備の増設を行い、夏期の洪水調節機能の強化を図ります。

場所：　鹿児島県薩摩郡さつま町

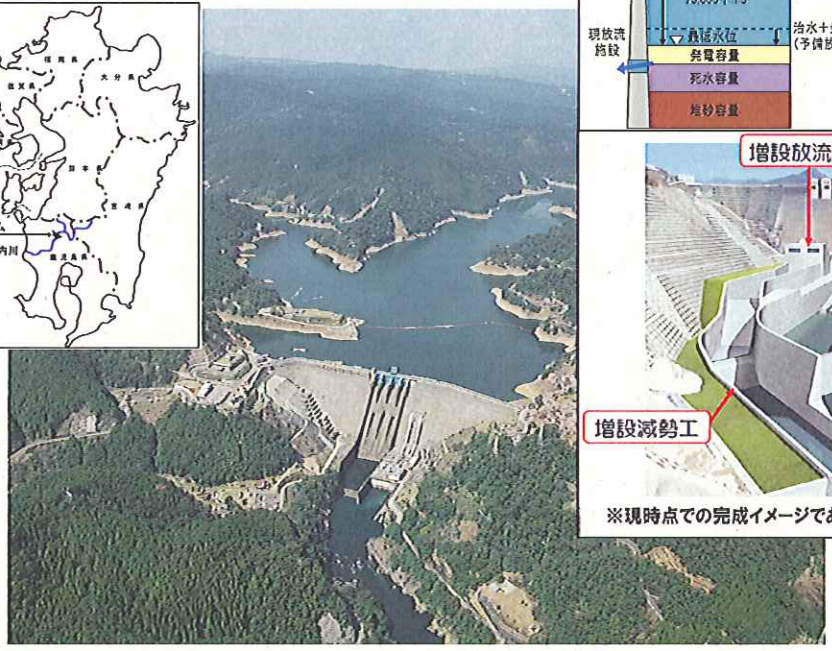
諸元：　放流設備の新設、減勢工の新設等

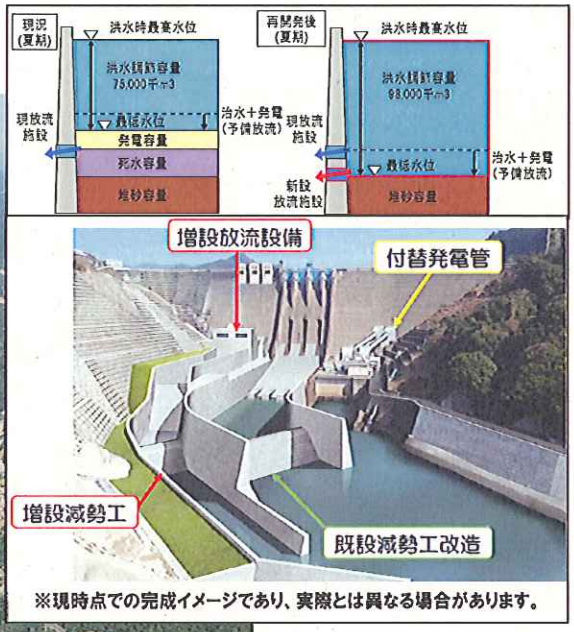
平成23年度　継続

完成予定

平成27年度







2．平成23年度の整備内容

本体工事を実施予定です。

3．整備効果

ダムによる洪水調節機能の強化を行い、鶴田ダム下流の治水安全度の向上を図ります。

球磨川総合水系環境整備事業（淋地区）の完成

～ 治水上の安全性の向上と河川利用上の安全性の向上 ～

1．概要

球磨川淋地区は球磨村に位置しており、球磨川くだりや鮎釣りなどで利活用が盛んな地区ですが、河川利用上の安全性が低いことが課題となっています。。

地元自治体が「かわまちづくり支援制度」に申請して登録されたことなどを踏まえ、平成21年度から国土交通省において河川利用上の安全性を高めるための低水護岸工や管理用通路を整備しており、H23年度の完成を目指します。

場所：　熊本県球磨郡球磨村

諸元：　低水護岸工、管理用通路

平成23年度　完成

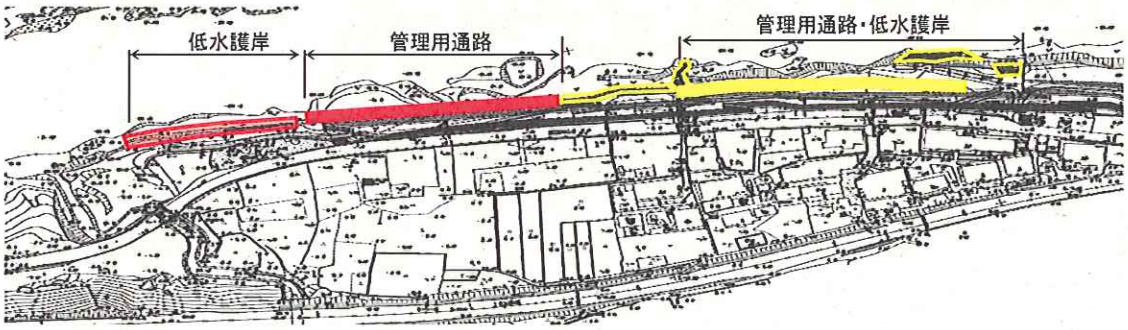
完成予定

平成23年度









2．平成23年度の整備内容

低水護岸工や管理用通路を整備し、事業完成を図ります。

3．整備効果

低水護岸工、管理用通路を整備することで河川管理機能を向上させるとともに、河川利用上の安全性の向上が図られます。

雲仙普賢岳火山砂防事業の促進

～ 火山噴火による土砂災害を防止し、安全な国土作りを推進 ～

1. 概要

雲仙普賢岳は、平成2年11月に198年ぶりに噴火活動を再開し、噴火に伴う火砕流や土石流の被害により、流域が荒廃し、被害が拡大した。現在でも山腹には大量の土砂が不安定な状態で堆積しており、近年ほぼ毎年のように土石流が発生している。

水無川において上流域からの土石流の効果的な流出抑制を図り、下流域の人家等の保全対象の被害を防ぐ事を目的として砂防堰堤・床固工等の整備を実施。

場所： 長崎県島原市、南島原市

諸元： 水無川

平成23年度　継続

完成予定

－















2. 平成23年度の整備内容

床固工等の砂防施設の整備を実施します。

3. 整備効果

土砂流出による災害から下流域の人命財産を保全します。

大淀川水系火山砂防事業の促進

～ 火山噴火による土砂災害を防止し、安全な国土作りを推進 ～

1. 概要

宮崎、鹿児島の両県にまたがる霧島火山地帯は、脆弱で急峻な地形から多くの土砂が生産されている。砂防堰堤や床固工群等の砂防施設が一体となって土砂の流出を抑制することにより、下流域の人家等の保全対象を守り、豊かな渓流環境の保全に努める。

また、平成23年1月19日から霧島山（新燃岳）においては、爆発的噴火が断続的に発生し、噴火警戒レベルも3（入山規制）になる等火山活動が活発であるため、関係機関と連携を図りながら土石流対策を実施する。

場所：　宮崎県西諸県郡高原町
　　宮崎県都城市

諸元：　大淀川水系

平成23年度　継続

完成予定

－

位置図



斜め写真（高崎川流域）



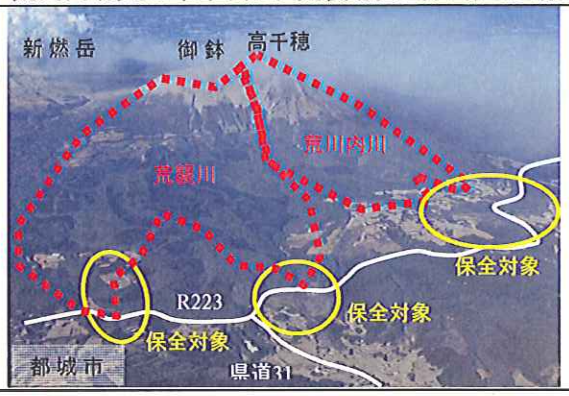




新燃岳噴火の状況（平成23年1月27日撮影）



荒川内（あらかわうち）川・荒襲（あらそ）川）の全景



2. 平成23年度の整備内容

砂防堰堤等の砂防施設の整備を実施します。

3. 整備効果

土砂流出による災害から下流域の人命財産を保全します。

宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業の促進

～ 海岸侵食を防止し、安全な国土づくりを推進 ～

1. 概要

宮崎海岸は約40年間で平均約40m（最大90m）の砂浜が侵食され、一ツ葉有料道路目前まで浜崖が迫っており、越波被害や重要幹線道路の流失など、地域経済への影響は甚大となるおそれがあります。侵食に影響する沿岸漂砂が及ぶ一連の海岸線全体で効果的な対策を講じるため、直轄海岸保全施設整備事業により、関係機関と連携して、総合土砂管理の考え方のもと保全対策を実施します。

場所：　宮崎県宮崎市

諸元：　事業延長6,856m

平成23年度　継続

完成予定
平成39年度









2. 平成23年度の整備内容

試験施工 等
各種観測、調査　等

3. 整備効果

宮崎海岸の海浜土砂量の回復・維持により、背後地の安全を守ります。

池町川床上浸水対策特別緊急事業の完成

～ 地域住民の安全で住みよい暮らしを守る河川整備 ～

1. 概要

一級河川筑後川水系池町川は、平成16年8月2日の豪雨で浸水面積23.1ha、床上55棟、床下130棟の浸水等、甚大な被害が発生しました。

このため、平成19年度より床上浸水対策特別緊急事業を実施し、河道掘削、放水路等の整備を行うことにより、平成16年8月洪水と同規模の出水に対して浸水被害の解消を図ります。

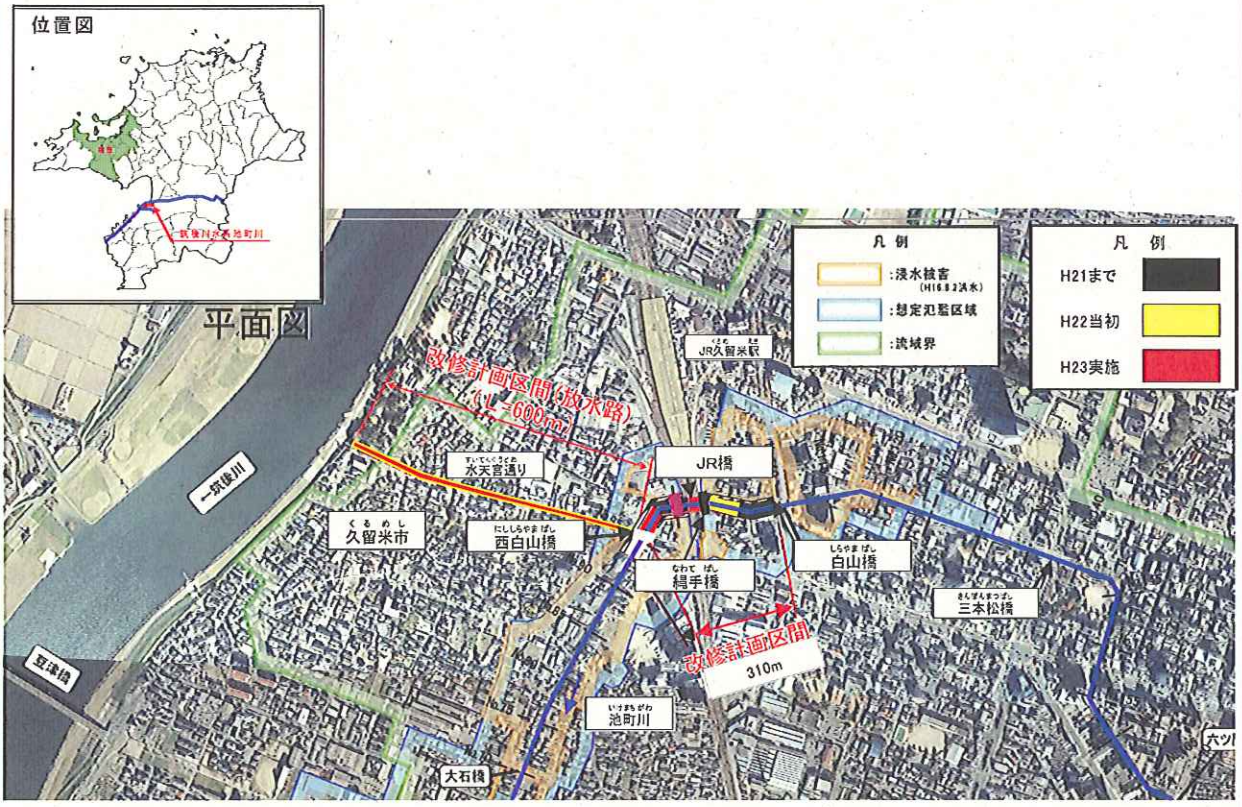
場所：福岡県久留米市

諸元：河道拡幅、放水路、橋梁改築等

平成23年度　完成

完成予定

平成23年度



2. 平成23年度の整備内容

掘削・護岸、放水路等

3. 整備効果

平成16年8月と同規模の出水に対し、浸水被害の解消を図ります。

米之津川（こめのつがわ）激甚災害対策特別緊急事業の完成

～ 地域住民の安全で住みよい暮らしを守る河川整備 ～

1. 概要

米之津川は、平成18年7月22～23日の梅雨前線豪雨にて、床上793戸の浸水等、甚大な被害が発生しました。
このため、平成18年度より河川激甚災害対策特別緊急事業を実施し、平成18年度洪水と同規模の出水に対して浸水被害の解消を図ります。

場所：鹿児島県（かごしまけん）　出水市（いずみし）

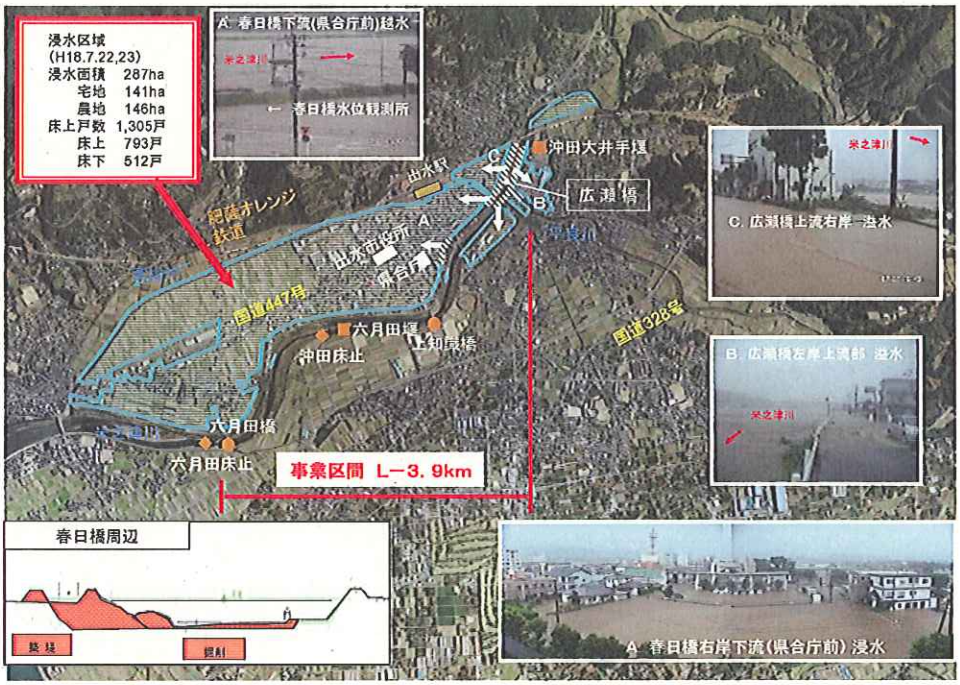
諸元：築堤、河川掘削、堰改築、橋梁改築等

平成23年度　完成

完成予定

平成23年度





2. 平成23年度の整備内容

河川掘削、堰改築等

3. 整備効果

平成18年7月22～23日豪雨での浸水被害の防止を図ります。

根占山本地区砂防激甚災害対策特別緊急事業の着手

～ 集中的・緊急的な事業実施により土砂災害を防止 ～

1. 概要

平成22年6月12日から7月4日までの梅雨前線による豪雨で、南大隅町の根占山本地区において地下水位の上昇により深層崩壊を促し土石流災害が発生している状況です。この土石流災害により人家2戸の浸水被害と国道269号の全面通行止めの被害があり、依然として、流域内の渓床や斜面山頂部には、大規模な不安定土砂が存在しており土石流に対応した対策が必要です。このため、平成23年度から「砂防激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、概ね3年間で緊急的に整備を実施するものです。

場所：鹿児島県　肝属郡　南大隅町

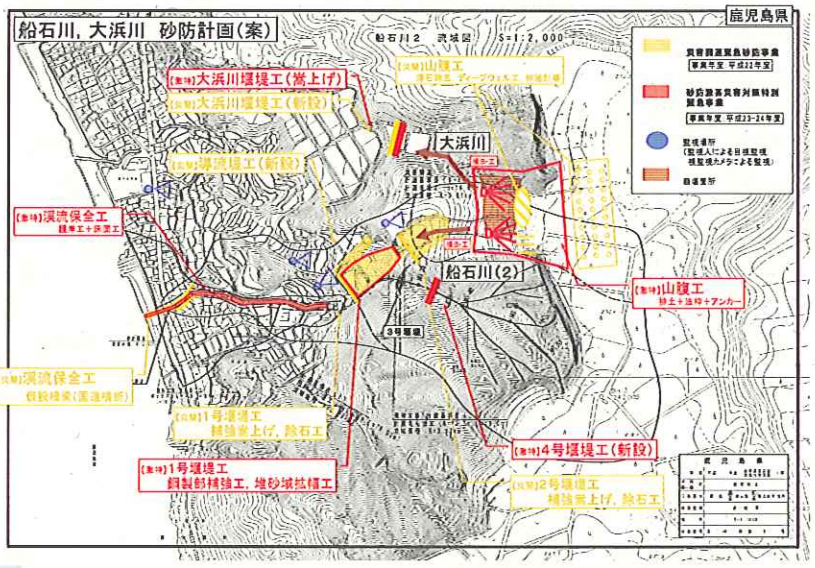
諸元：砂防堰堤3基、渓流保全工、横ボーリング工、山腹工

平成23年度　新規

完成予定

平成25年度









2. 平成23年度の整備内容

砂防堰堤1基　山腹工　渓流保全工

3. 整備効果

当該渓流の整備により、国道、町道、小学校（避難所）、人家76戸を土砂災害から守ります。

奄美大島（あまみおおしま）地区砂防激甚災害対策特別緊急事業の着手

～ 集中的・緊急的な事業実施により土砂災害を防止 ～

1．概要

平成22年10月18日から10月24日までの秋雨前線による豪雨により、奄美市、瀬戸内町、龍郷町、大和村の広範囲において、多数の土石流災害が発生している状況です。この土石流災害により人家等の浸水被害や主要国道及び生活道路の全面通行止め等の多数の被害を受けており、依然として、流域内の渓床に不安定土砂が多数堆積しており土石流に対応した対策が必要です。このため、平成23年度から「砂防激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、概ね3年間で緊急的に整備を実施するものです。

場所：鹿児島県（かごしまけん）　奄美市（あまみし）他（ほか）（瀬戸内町（せとうちちょう）、龍郷町（たつごうちょう）、大和村（やまとそん）。全7箇所）

諸元：砂防堰堤、渓流保全工、床固工等

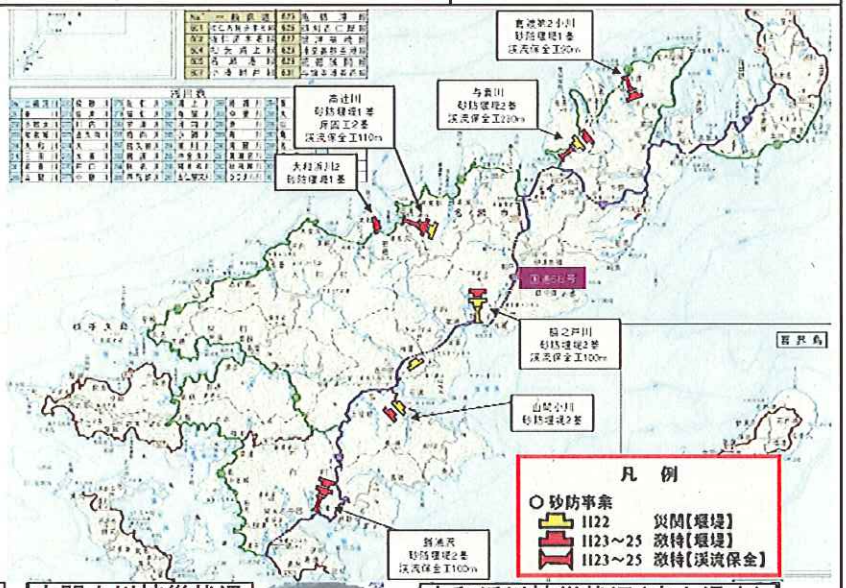
平成23年度　新規

完成予定

平成25年度

【位置図】





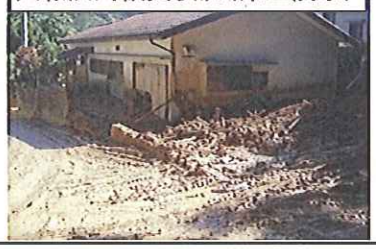
脇之戸川被災状況（国道58号）



山間小川被災状況



大和浜川被災状況（床上浸水）



2．平成23年度の整備内容

砂防堰堤　6基，床固工1基

3．整備効果

当該事業の整備により、国道、県道、市道、村道、小学校、人家127戸を土砂災害から守ります。

奄美大島（あまみおおしま）地区地すべり激甚災害対策特別緊急事業の着手

～ 集中的・緊急的な事業実施により土砂災害を防止 ～

1．概要

平成22年10月18日から10月24日までの秋雨前線による豪雨により、龍郷町浦地区において地すべり災害が発生している状況です。この地すべり災害により一次緊急輸送路である国道58号が通行止めとなりました。依然として、地すべり災害ブロックに隣接する斜面等に多数の滑落崖が存在し、小規模な崩土や土砂流出が発生している状況であり、現在も伸縮計等による監視を行いながら国道58号の交通解放を行っており地すべり災害に対応した対策が必要です。このため、平成23年度から「地すべり激甚災害対策特別緊急事業」に着手し、概ね3年間で緊急的に整備を実施するものです。

場所：鹿児島県（かごしまけん） 大島郡（おおしまぐん） 龍郷町（たつごうちょう）

諸元：鋼管杭工、アンカー工、集水井工、横ボーリング工

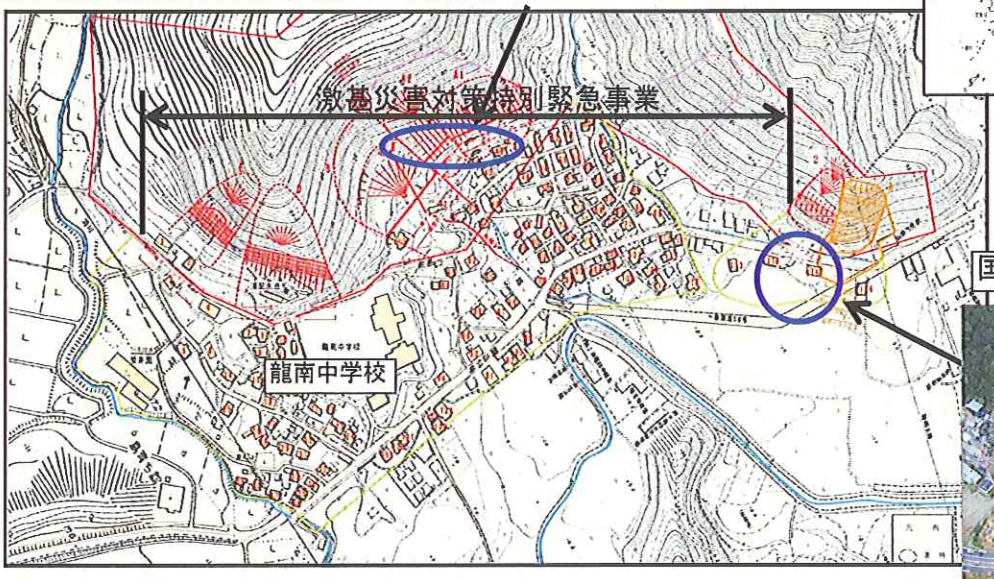
平成23年度　新規

完成予定

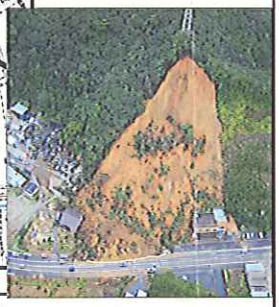
平成25年度







国道58号被災状況



2．平成23年度の整備内容

・横ボーリング、調査、観測、設計

3．整備効果

当該地区の整備により、国道、中学校、特別養護老人ホーム、人家124戸を土砂災害から守ります。

永山（ながやま）第4特定緊急砂防事業

～ 集中的・緊急的な事業実施により土砂災害を防止 ～

1. 概要

平成22年7月14日の梅雨前線による集中豪雨（最大時間雨量53mm）により土石流が発生し、下流域の人家4戸が一部損壊、2戸が床下浸水、非住家7戸が全壊、主要県道が全面通行止めとなり、幹川の田手川に流れ込む被害となりました。依然として、流域内の渓床等に不安定土砂が多数堆積しており土石流に対応した対策が必要です。このため、平成23年度に「特定緊急砂防事業」に着手し、1年間で緊急的に整備を実施するものです。

場所：佐賀県神埼郡吉野ヶ里町（さがけんかんざきぐんよしのがりちょう）

諸元：渓流保全工

平成23年度　新規

完成予定

平成23年度

【位置図】









2. 平成23年度の整備内容

渓流保全工

3. 整備効果

当該事業の整備により、県道、市道、人家5戸を土砂災害から守ります。

道路事業関係個表

Ⅱ．道路関係事業

【直轄事業】
直轄事業については、少子高齢化、厳しい財政状況という我が国をとりまく状況の中で、地域の要望に応え、幹線道路ネットワーク整備や渋滞対策など「我が国の成長力・活力の確保」、交通結節点強化や無電柱化の推進など「豊かな暮らし・環境の実現」、交通事故対策や防災・震災対策など「安全・安心の確保」に必要な道路整備を進めます。

【補助事業】
補助事業については、地域高規格道路の整備に関する予算を計上しています。
この他、社会資本整備総合交付金及び内閣府計上の地域自主戦略交付金があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができます。

平成２３年度予算

【直轄】　（単位：百万円）

	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	対前年比 (A)／(B)
道　路	137,260	144,252	0.952

※上記のほか、調査費、業務取扱費がある。

【補助】県別総括表　（単位：百万円）

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
道　路	0	2,640	6,680	1,970

	大分県	宮崎県	鹿児島県	合計
道　路	3,340	1,600	8,100	24,330

※上記のほか社会資本整備総合交付金、地域自主戦略交付金、
調査費等がある。

※４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則５％程度の予算執行が留保されることとなる。

国道3号　黒崎バイパス

～ 賑わいあふれる集約型都市構造への転換と、都市機能の充実・強化 ～

1. 概要

国道3号 黒崎バイパスは、黒崎周辺の交通混雑の解消、交通安全の確保を図るとともに、北九州都市高速道路等と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成し、特定重要港湾北九州港等の物流拠点へのアクセス性を向上することにより産業の活性化を支援する道路です。

場所：福岡県北九州市八幡東区西本町～同市八幡西区陣原

諸元：L=5．8km、W=17．5m

平成23年度　継続

完成予定

平成23年度
（ランプ供用）
平成23年度
（部分供用・暫定2車線）
平成24年度
（部分供用・暫定2車線）



2. 平成23年度の整備内容

・改良、橋梁、舗装工事等を推進します。
・皇后崎ランプについては、平成23年度の供用を目指します。
・前田ランプ～黒崎北ランプについては、平成23年度の供用を目指します。
・尾倉ランプ～前田ランプについては、平成24年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・主要渋滞ポイントの「筒井町交差点」、「清納二丁目交差点」、「黒崎駅前交差点」、「厚生年金病院前交差点」の交通渋滞の緩和が見込まれます。

地域高規格道路　有明海沿岸道路

～ 三池港ICから大野島IC間の整備推進 ～

1. 概要

地域高規格道路「有明海沿岸道路」は、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市までの有明海沿岸地域の各都市を結び、また重要港湾三池港や佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する延長約55kmの道路です。

このうち福岡県内においては、大牟田市から大川市間の延長約28kmを整備推進しており、国道208号の交通混雑の緩和と交通安全の確保等を目的とした道路です。

場所：福岡県大牟田市新港町～同県大川市大野島

諸元：L＝27．5km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

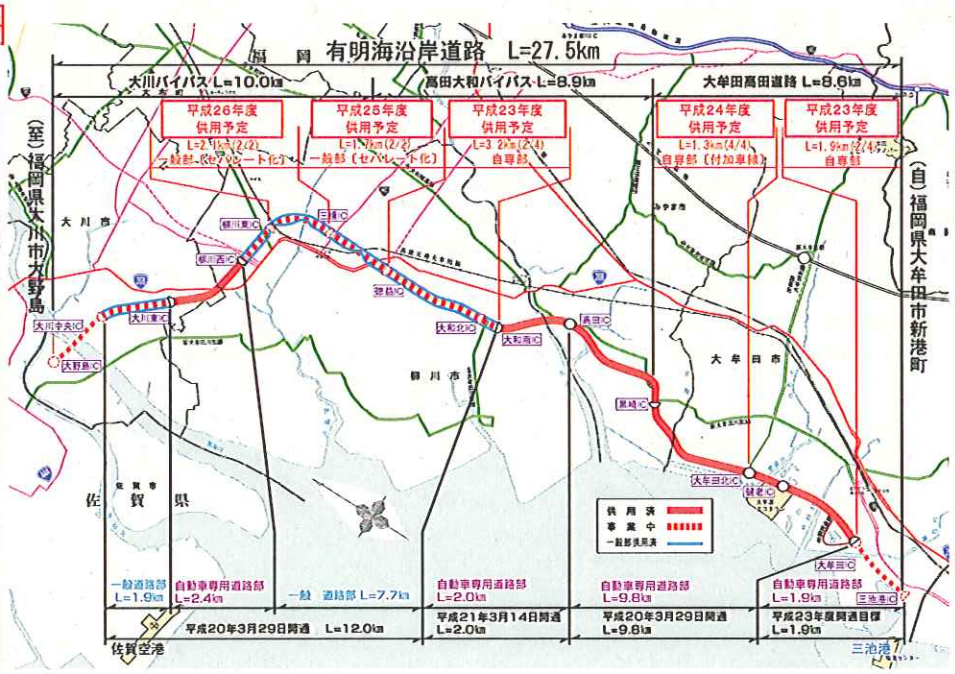
完成予定

平成23年度
（部分供用・暫定2車線）
平成24年度
（部分供用・付加車線）
平成25年度
（部分供用・一般部完成2車線）
平成26年度
（部分供用・一般部完成2車線）




大和南IC付近施工状況


諏訪川橋施工状況



2. 平成23年度の整備内容

・改良、橋梁、舗装工事を推進します。

・三池港IC～大牟田IC及び大和南IC～徳益IC間については、平成23年度の供用を目指します。

・大牟田北IC～黒崎IC間については、平成24年度の供用を目指します。

・徳益IC～三橋IC間については、平成25年度の供用を目指します。

・三橋IC～柳川東IC間については、平成26年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・大牟田市、みやま市、柳川市、大川市の連携強化、交流促進を図ることができます。

・現国道208号など周辺道路の交通混雑の緩和及び交通安全の向上が見込まれます。

・三池港等の広域交通拠点へのアクセス性の向上が見込まれます。

国道201号　行橋インター関連

～ 東アジア1日交流圏の形成と貨物の準国内物流化 ～

1. 概要

国道201号行橋インター関連は、行橋市中心部地域の交通混雑の緩和（主要渋滞ポイント：行事交差点）を図るとともに、東九州自動車道行橋ICや平成18年3月16日に開港した北九州空港、重要港湾である苅田港へのアクセスを向上することにより、地域の活性化に大きく寄与する道路です。

場所：福岡県行橋市大字吉国～同県京都郡苅田町大字二崎

諸元：L＝4．5km、W＝13．0m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成25年度
（全線供用・暫定2車線）



▲施工状況（延永地区）

2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良、橋梁工事等を推進します。
・平成25年度の全線供用を目指します。

3. 整備効果

・行事交差点の渋滞緩和が図られます。
・東九州自動車道行橋ICや北九州空港・苅田港へのアクセス性が向上します。

国道497号　唐津伊万里道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1．概要

西九州自動車道は、福岡市を起点とし、唐津市、伊万里市、松浦市、佐世保市を経由して武雄市に至る延長約150kmの高規格幹線道路で、九州北西部の地域経済の活性化、高速定時制の確保に大きく寄与する道路です。

国道497号 唐津伊万里道路は、西九州自動車道の一部を構成し、唐津市と伊万里市における都市機能の強化を目的とする延長18．1kmの自動車専用道路です。

場所：佐賀県唐津市中原～同県伊万里市南波多町府招

諸元：L＝18．1km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成23年度
（部分供用・暫定2車線）
平成26年度
（部分供用・暫定2車線）







▲施工状況（行合野川橋）



▲施工状況（千々賀地区）

2．平成23年度の整備内容

・用地買収、道路改良及び橋梁工事を推進します。
・唐津IC～北波多ICについては、平成23年度の供用を目指します。
・北波多IC～谷口ICについては、平成26年度の供用を目指します。

3．整備効果

・九州西北部と福岡都市圏間の高速ネットワークが構築されます。
・伊万里港との連携強化による広域物流を支援します。

国道497号　伊万里松浦道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

西九州自動車道は、福岡市を起点とし、唐津市、伊万里市、松浦市、佐世保市を経由して武雄市に至る延長約150kmの高規格幹線道路で、九州北西部の地域経済の活性化、高速定時制の確保に大きく寄与する道路です。

国道497号 伊万里松浦道路は、西九州自動車道の一部を構成し、伊万里・北松地域の唯一の幹線道路である国道204号の代替路線の確保を目的とする延長17.2kmの自動車専用道路です。

場所：佐賀県伊万里市東山代町～長崎県松浦市志佐町

諸元：L＝17.2km、W＝12.0m（完成2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成26年度
（部分供用・完成2車線）



2. 平成23年度の整備内容

・用地買収、文化財調査、改良及び橋梁工事等を推進します。

・山代IC（仮称）～今福IC（仮称）間については、平成26年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・九州西北部と福岡都市圏間の高速ネットワークが構築されます。

・松浦港との連携強化による広域物流を支援します。

・災害時の国道204号の代替路として機能するため、安全で安心な暮らしができます。

国道444号　佐賀福富道路

～ 地域高規格道路の整備 ～

1. 概要

地域高規格道路「有明海沿岸道路」は、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市までの有明海沿岸地域の各都市を結び、また重要港湾三池港や佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する延長約55kmの道路です。

国道444号佐賀福富道路は、有明海沿岸道路の一部を構成し、現道の444号の交通混雑の緩和とともに、有明佐賀空港へのアクセス道路及び緊急輸送道路としての機能確保を目的とした道路です。

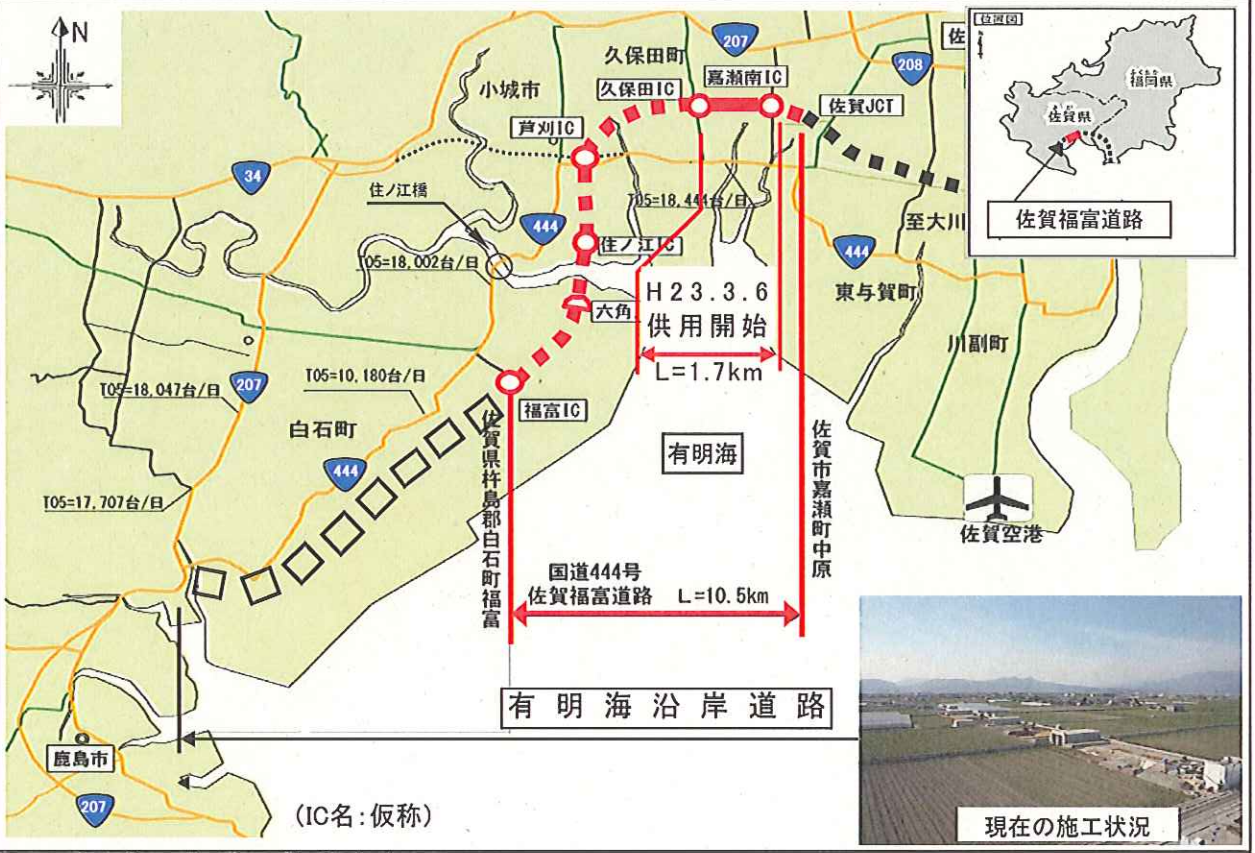
場所：佐賀県佐賀市嘉瀬町中原　～　同県杵島郡白石町福富

諸元：L＝10．5km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

－



2. 平成23年度の整備内容

用地買収・改良・橋梁工事を実施する予定です。

3. 整備効果

本道路の完成により、現道の444号の交通混雑の緩和が図られ、佐賀市・白石町（旧福富町）間の所要時間が短縮されます。これにより広域交流の促進が期待され、また、緊急時の輸送路の確保が図られます。

国道497号 佐々佐世保道路

～ 九州西北部地域の地域経済活性化及び高速定時性の確保 ～

1. 概要

西九州自動車道は、福岡市を起点とし、唐津市、伊万里市、松浦市、佐世保市を経由して武雄市に至る延長約150kmの高規格幹線道路で、九州北西部の地域経済の活性化、高速定時制の確保に大きく寄与する道路です。

国道497号 佐々佐世保道路は、西九州自動車道の一部を構成し、佐世保市域の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、延長9.0kmの自動車専用道路です。

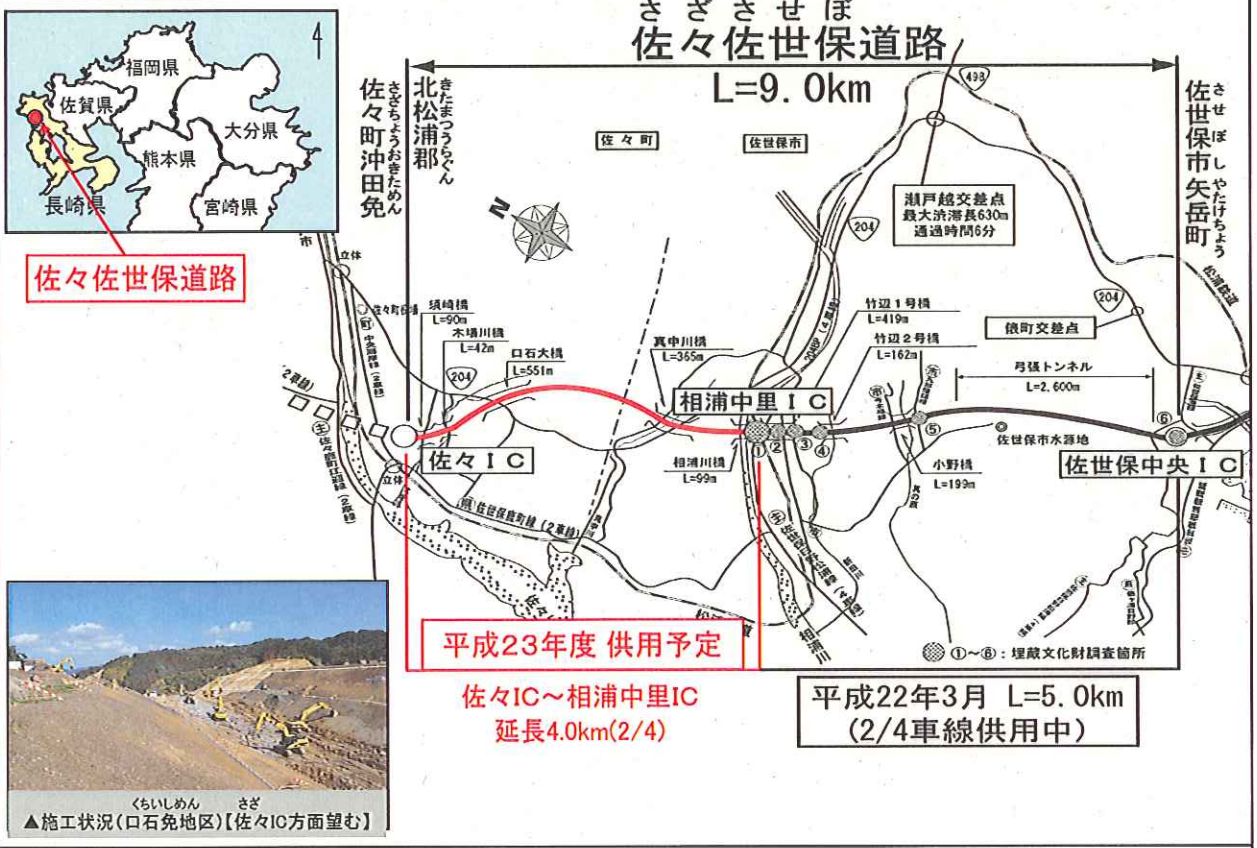
場所：長崎県北松浦郡佐々町沖田免～同県佐世保市矢岳町

諸元：L＝9.0km、W＝10.5m（暫定2車線）

平成23年度　完成

完成予定

平成23年度
（全線供用・暫定2車線）



▲施工状況（口石免地区）【佐々IC方面望む】

2. 平成23年度の整備内容

・改良工事、舗装工事等を推進します。

・佐々IC～相浦中里IC間については、平成23年度の全線供用を目指します。

3. 整備効果

・佐世保市域の交通混雑の緩和や交通安全性の向上が見込まれます。

・周辺観光施設との連携が深まり、観光産業発展に寄与します。

・周辺地域と高速インターとのアクセス性が向上し、定時性が確保されることで、地域の産業活動を支援します。

国道251号　島原中央道路

～ 離島・半島、中山間地域等における基礎生活圏との交通アクセスの確保 ～

1. 概要

地域高規格道路「島原道路」は、長崎県南島原市を起点とし、「九州横断自動車道」と接続する同県諫早市に至る延長約50kmの道路です。

国道251号島原中央道路は、島原道路の一部を構成しており、島原市中心部の渋滞解消や災害時の代替道路の役割を担い、さらには県内2時間交通圏の拡大、長崎地域と島原地域の時間短縮による産業の振興及び救急医療の支援を目的とした道路です。

場所：長崎県島原市秩父が浦町～同県島原市下折橋町

諸元：L＝4．5km　、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度
（全線供用・暫定2車線）



2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良・橋梁・トンネル附帯設備工事等を推進します。
・平成24年度の全線供用を目指します。

3. 整備効果

・ 地域間の交流・連携に寄与します。
・ 現道の利用交通が減少し、交通混雑緩和や交通安全の向上が見込まれます。

国道251号　愛野森山（あいのもりやま）バイパス

～ 地域高規格道路の整備 ～

1. 概要

地域高規格道路「島原道路」は、長崎県南島原市を起点とし、「九州横断自動車道」と接続する同県諫早市に至る延長約50kmの道路です。

国道251号愛野森山バイパスは、島原道路の一部を構成しており、主要渋滞ポイントの「愛野交差点」の交通渋滞の解消及び交通事故の低減、さらには県内2時間交通圏の拡大、長崎地域と島原地域の時間短縮による産業の振興及び救急医療の支援を目的とした道路です。

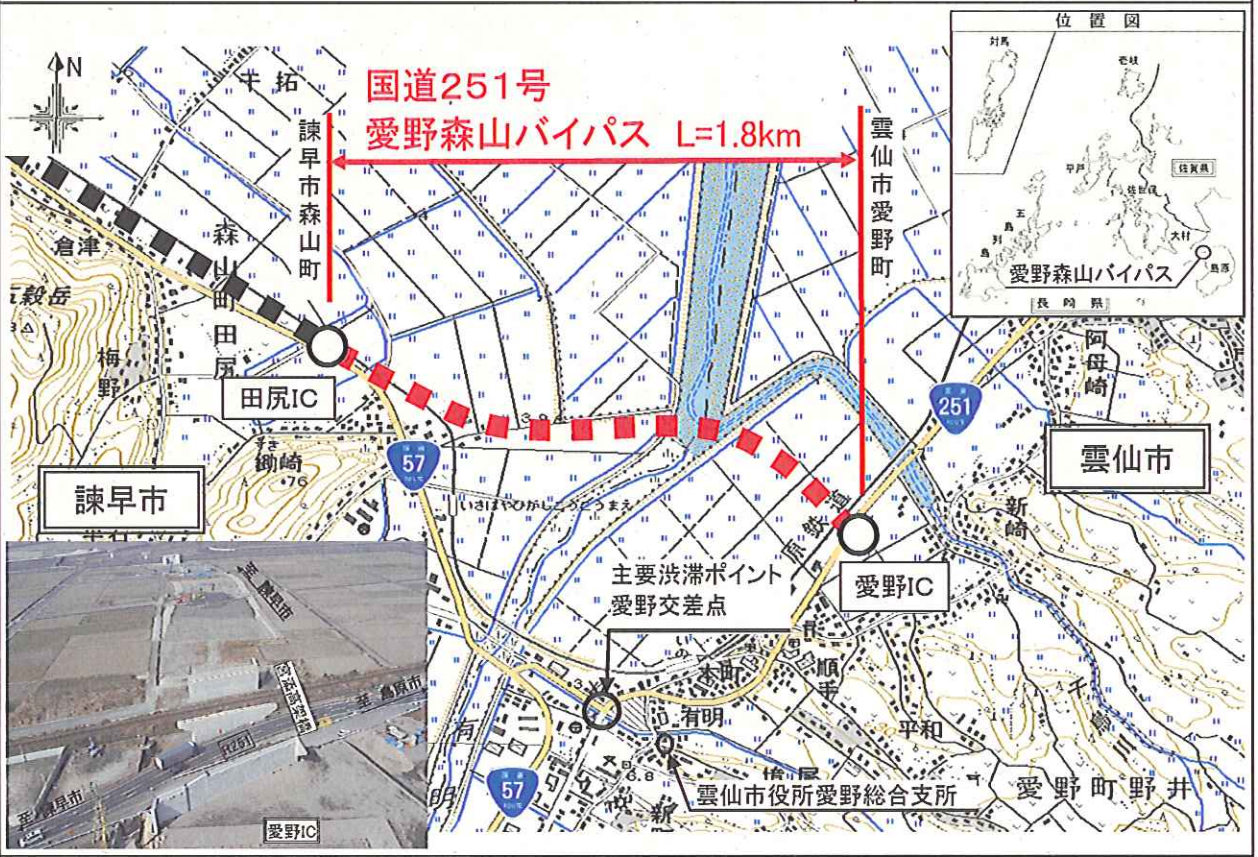
場所：長崎県雲仙市愛野町（うんぜんしあいのまち）～同県諫早市森山町（いさはやしもりやまちょう）

諸元：L＝1．8km、W＝12．0m（完成2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度



2. 平成23年度の整備内容

用地買収・改良・橋梁工事を実施する予定です。

3. 整備効果

本道路の完成により、主要渋滞ポイントの「愛野交差点」の緩和が図られ、長崎地域と島原地域の所要時間が短縮されます。これにより広域交流の促進が期待され、また、産業の振興及び救急医療の支援が図られます。

一般県道　諫早外環状線　鷲崎～栗面工区

～ 地域高規格道路の整備 ～

1. 概要

「島原道路」は、九州横断自動車道と島原半島地域を連絡する延長約50kmの地域高規格道路です。

諫早外環状線（鷲崎～栗面工区）は、島原道路の一部を構成する諫早市の環状道路区間であり、現在事業中の諫早外環状線諫早インター工区等と一体となって広域ネットワークを形成し、渋滞緩和および地域の活性化に大きく寄与する自動車専用道路です。

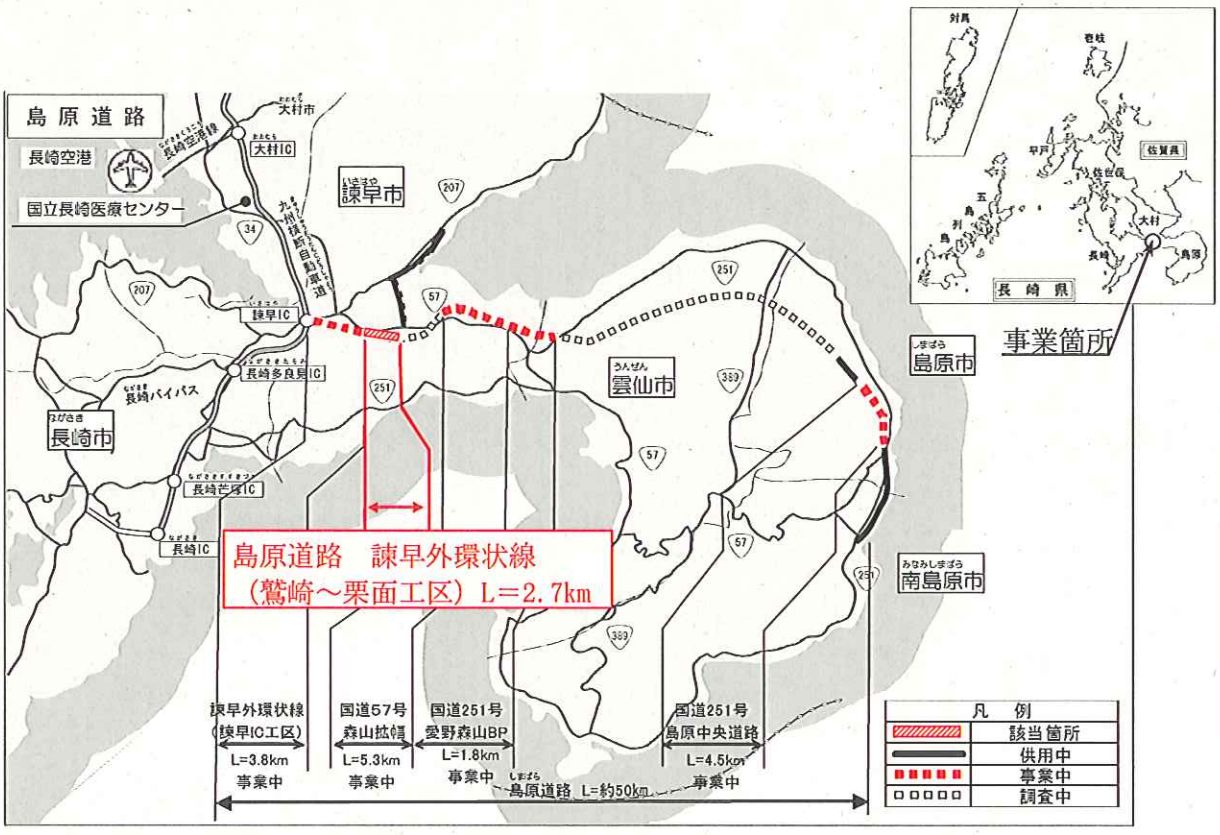
場所：長崎県諫早市鷲崎町 ～ 同県諫早市栗面町

諸元：L＝2．7km、W＝12．0m（完成2車線）

平成23年度　新規

完成予定

－



2. 平成23年度の整備内容

測量・設計及び用地買収を推進します。

3. 整備効果

本道路の完成により、諫早市街地における通過交通の排除や流入交通の分散により、市街地部の渋滞の緩和、交通事故の減少が見込まれます。また、長崎空港、九州横断自動車道、国立長崎医療センターへのアクセスが向上し、地域経済や医療活動の支援が図られます。

九州横断自動車道 延岡線（嘉島JCT～矢部）

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

九州横断自動車道延岡線は、熊本市の南に位置する御船町を起点とし、宮崎県延岡市に至る全延長約95kmの高速自動車国道で、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を結ぶ循環型高速交通ネットワークの形成に大きく貢献する道路です。

このうち嘉島JCT～矢部間L＝23kmは、直轄の高速道路として整備を進めています。

場所：熊本県上益城郡御船町～同県上益城郡山都町

諸元：L＝23km、W＝12m（暫定2車線）

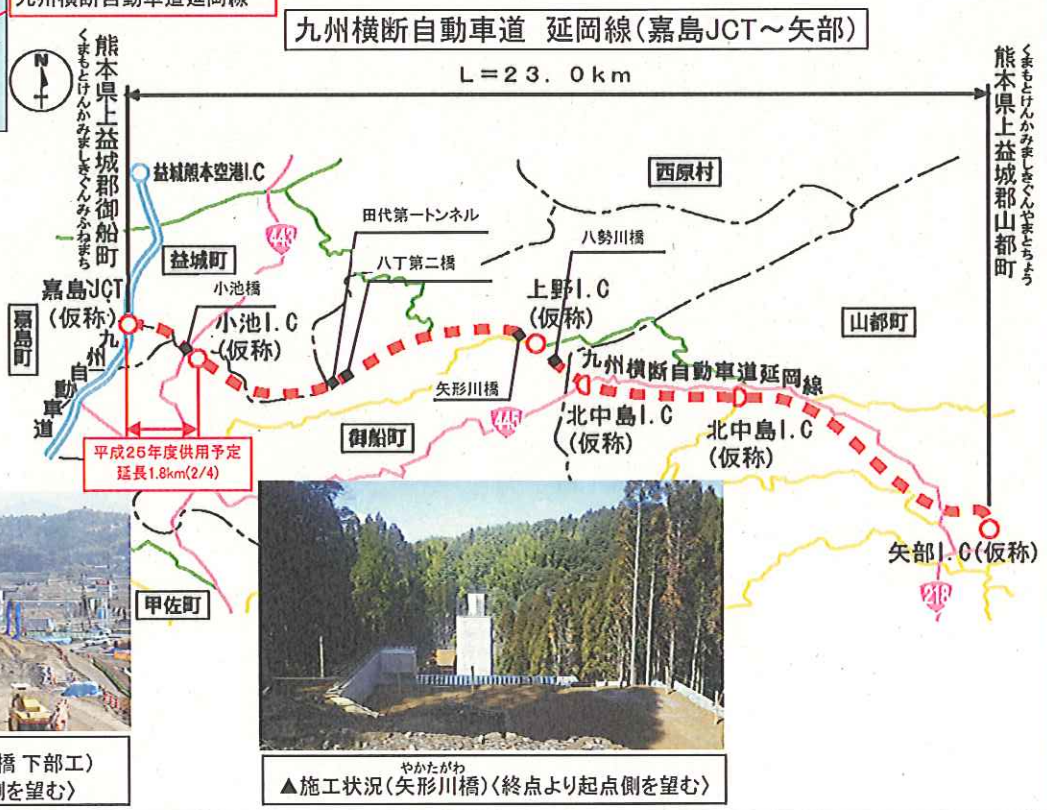
平成23年度　継続

完成予定

平成25年度
（部分供用・暫定2車線）



九州横断自動車道延岡線





▲施工状況（小池橋 下部工）
〈起点より終点側を望む〉

▲施工状況（矢形川橋）〈終点より起点側を望む〉

2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良、橋梁、トンネル工事を推進します。

・嘉島JCT～小池IC間については、平成25年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・熊本市と山都町間の所要時間が大幅に短縮されることにより、地域住民の生活圏の拡大や地域間の交流・連携に寄与します。

国道3号　芦北出水道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

南九州西回り自動車道は、八代市を起点として、水俣市、薩摩川内市などを経由して鹿児島市に至る延長約140kmの高規格幹線道路で、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時制の確保に大きく寄与する道路です。

国道3号 芦北出水道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、芦北町花岡から出水市下知識に至る延長29．6kmの自動車専用道路です。

場所：熊本県葦北郡芦北町花岡～鹿児島県出水市下知識

諸元：L=29．6km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

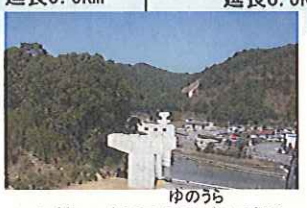
完成予定

平成27年度
（部分供用・暫定2車線）





▲施工状況（湯浦TN起点側坑口）



▲施工状況（湯浦川橋）



▲施工状況（内野地区）

2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良、橋梁、トンネル工事等を推進します。

・芦北IC～津奈木IC間については、平成27年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・熊本県南地域の高速ネットワークを構築し、高速定時性の確保、地域経済の活性化に寄与します。

国道3号　松橋バイパス

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

国道3号 松橋バイパスは、宇土市と宇城市間の交通混雑の緩和と交通安全の確保及び沿道環境の改善を図る4車線化整備事業で、高規格幹線道路とのアクセス性向上による地域産業の活性化を支援する延長5．5kmの道路です。

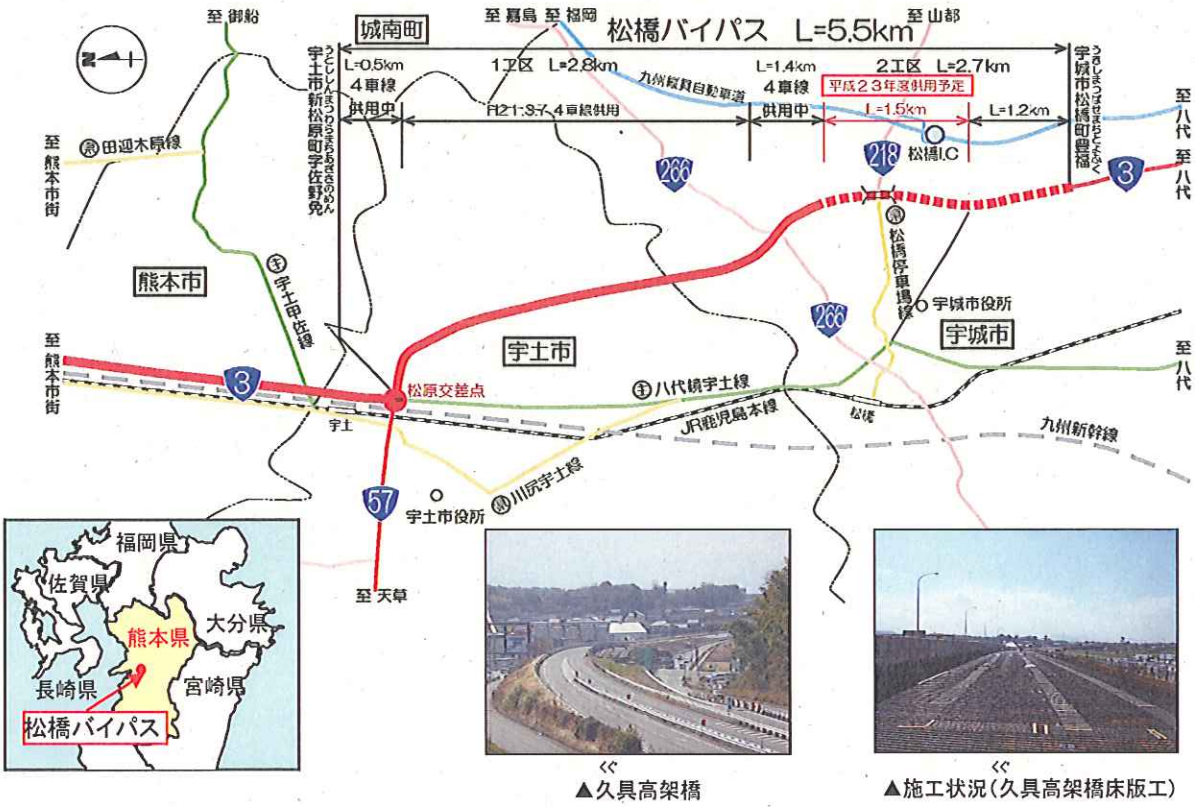
場所：　熊本県宇土市新松原町～同県宇城市松橋町豊福

諸元：　L＝5．5km，W＝25．0m（完成4車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成23年度
（部分供用・完成4車線）



≪
▲久具高架橋

≪
▲施工状況（久具高架橋床版工）

2. 平成23年度の整備内容

・改良及び舗装工事を推進します。
・宇城市松橋町曲野～宇城市松橋町豊福間については、平成23年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・宇土市と宇城市間の所要時間が短縮され、地域間交流が活発になります。
・高規格幹線道路とのアクセス性が向上し、地域経済の活性化に寄与します。

国道208号　菰屋(こもや)歩道整備

～ 安全な歩行空間の確保 ～

1. 概要

当該箇所は、近傍に八幡小学校・荒尾第4中学校が立地し、法指定の通学路として利用されているが、狭隘な歩道及び歩道未整備区間があるため、児童や歩行者等の安全が確保されていない状況です。

このため、歩道を整備することにより、児童や歩行者等の安全・安心な歩行空間の確保を行うものです。

場所：熊本県荒尾(あらお)市菰屋(こもや)

諸元：延長L=670m、幅員W=2.5m（片側）

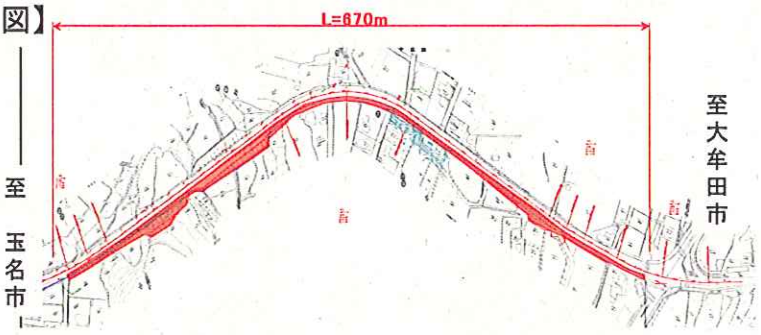
平成23年度　完成

完成予定
平成23年度

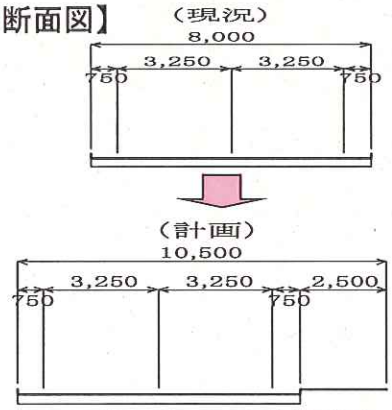
【位置図】



【平面図】



【断面図】



【現況写真】



2. 平成23年度の整備内容

工事を行い、歩道の完成を図ります。

3. 整備効果

通学路の歩道を整備することにより、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

東九州自動車道（佐伯～蒲江、蒲江～北川）

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

東九州自動車道は、北九州市を起点に、福岡、大分、宮崎、鹿児島の各県を結び、鹿児島市に至る全延長436kmの高速自動車国道で、東九州地域の産業、経済、文化の活性化に重要な役割を果たすとともに、九州の循環型高速交通ネットワークの形成に大きく貢献する道路です。

このうち、佐伯～蒲江間（20．4km）、蒲江～北川間（26．2km）は、直轄の高速道路として整備を進めています。

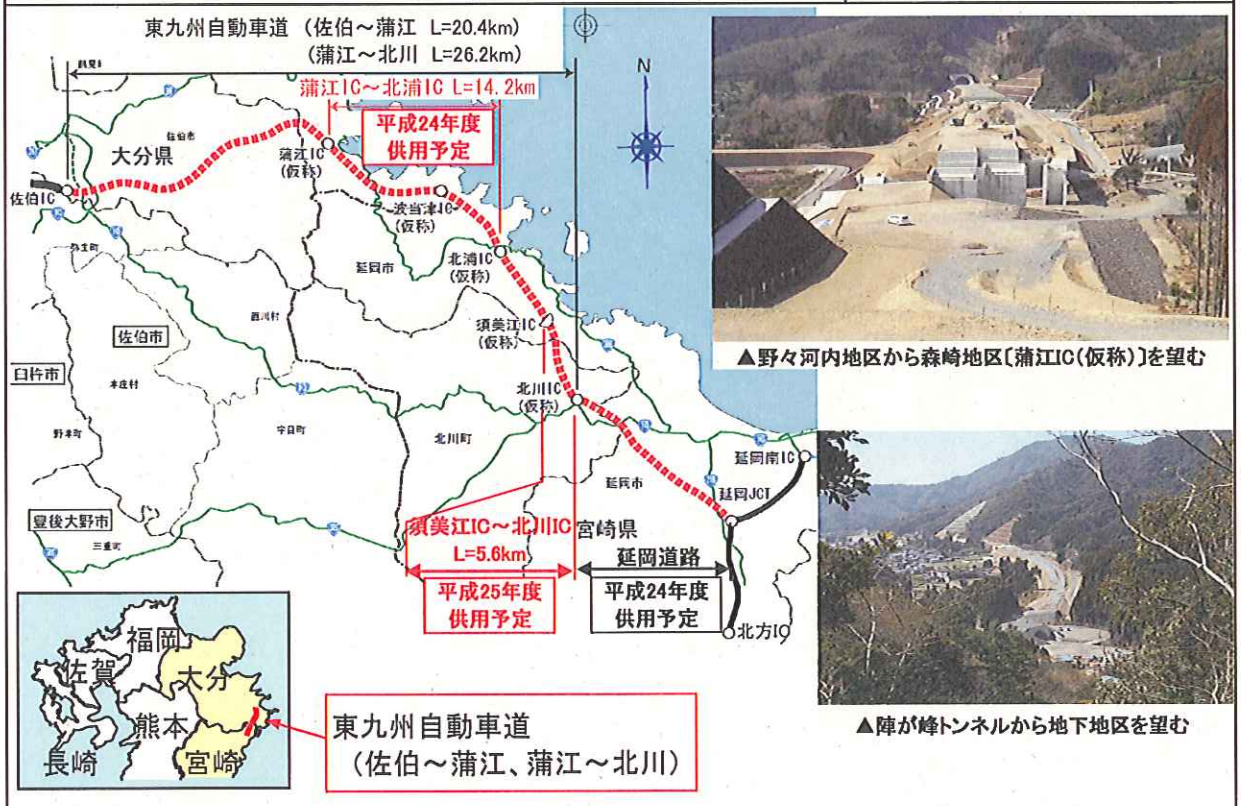
場所：大分県佐伯市大字上岡～宮崎県延岡市北川町

諸元：〔佐伯～蒲江〕L＝20．4km、W＝12m（暫定2車線）
〔蒲江～北川〕L＝26．2km、W＝12m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度
（部分供用・暫定2車線）
平成25年度
（部分供用・暫定2車線）



▲野々河内地区から森崎地区〔蒲江IC（仮称）〕を望む

▲陣が峰トンネルから地下地区を望む

2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良、トンネル、橋梁工事等を推進します。
・蒲江IC～北浦ICについては、平成24年度の供用を目指します。
・須美江IC～北川ICについては、平成25年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・国道388号の代替路線として、災害や緊急時の広域交通の安全性を確保します。
・大分県～宮崎県の地域間の交流、連携に寄与します。
・広域観光ネットワークを形成し、周遊性の向上に寄与します。

国道57号 大野竹田道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

地域高規格道路「中九州横断道路」は、大分市から熊本市を結ぶ延長約120kmの道路です。

国道57号 大野竹田道路は、中九州横断道路の一部を構成し、地域間の連携・交流の促進、及び沿道地域の産業発展、地域活性化に寄与するとともに、高次医療施設への時間短縮を目的とした、大分県豊後大野市から同県竹田市に至る延長約12．3kmの道路です。

場所：大分県豊後大野市大野町田中～同県竹田市大字会々

諸元：L＝12．3km　W＝10．5m（暫定2車線）

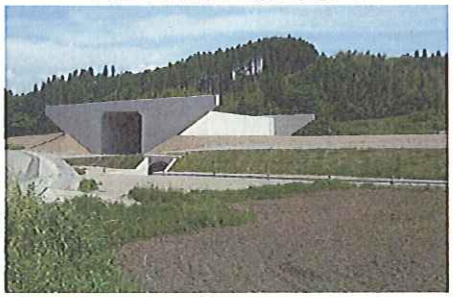
平成23年度　継続

完成予定

平成26年度
（部分供用・暫定2車線）



▼施工状況（二反田地区）





2. 平成23年度の整備内容

・用地買収、埋蔵文化財調査、改良及び橋梁工事等を推進します。

・大野IC～朝地IC間については、平成26年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・主要観光地間のネットワークを強化し、観光産業の振興に寄与します。

・農産品等の搬送の効率化により、地域産業の発展に寄与します。

・高次医療施設への所要時間短縮により、地域医療サービスの向上に寄与します。

国道10号　別大拡幅

～ 大分・別府間の交通混雑の緩和と交通安全の確保 ～

1. 概要

国道10号別大拡幅は、交通が集中する別府市～大分市の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、大分県速見郡日出町大字藤原から大分県大分市大字生石に至る延長22．6kmの現道拡幅事業です。

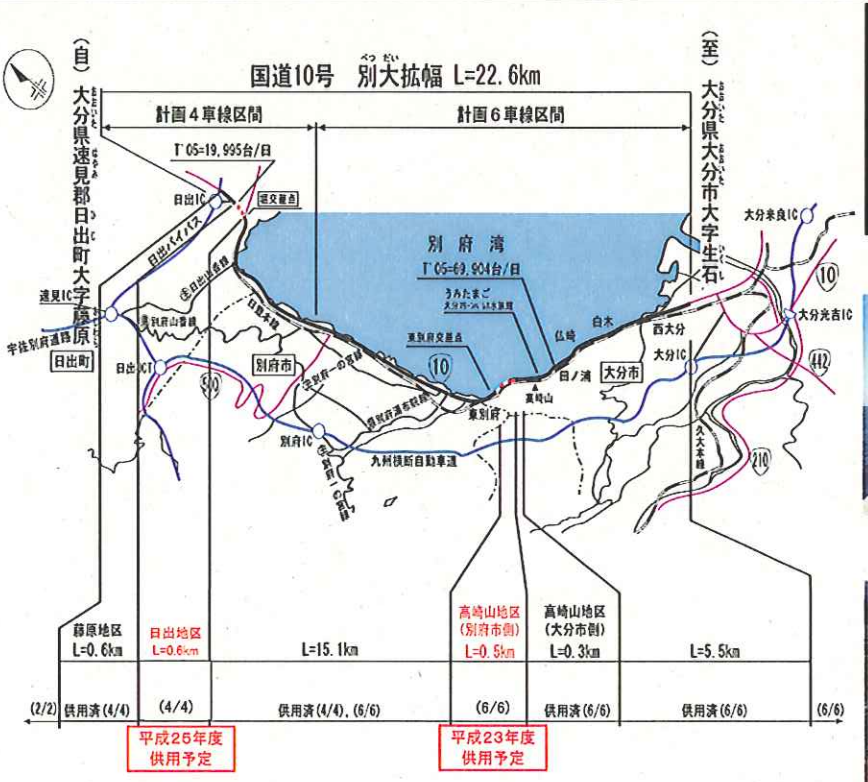
場所：大分県速見郡日出町大字藤原～大分市大字生石

諸元：L＝22．6km　W＝25．0～40．0m（完成4，6車線）

平成23年度　継続

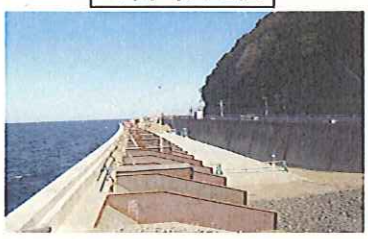
完成予定

平成23年度
（部分供用・完成6車線）
平成25年度
（全線供用・完成4車線）

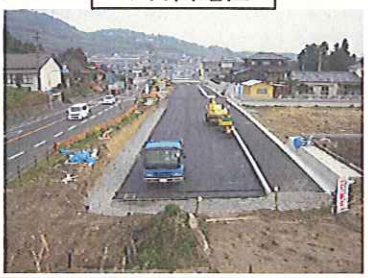




▼高崎山地区



▼日出地区



2. 平成23年度の整備内容

・埋蔵文化財調査、用地買収、改良及び舗装工事を推進します。
・高崎山地区については、平成23年度の供用を目指します。
・日出地区については、平成25年度の全線供用を目指します。

3. 整備効果

・別府～大分間の交通混雑が緩和され、所要時間が短縮されます。
・歩道、自転車歩行者道の整備により歩行者、自転車の安全が確保されます。
・広域ネットワークの形成を支援します。

国道212号　本耶馬渓～耶馬渓道路

～ 地域高規格道路の整備 ～

1. 概要

地域高規格道路「中津日田道路」は、周防灘地方生活圏と日田玖珠地方生活圏の連携強化及び、大分自動車道、東九州自動車道及び重要港湾中津港との連絡性の強化を目的とした大分県中津市を起点とし、同県日田市に至る延長約50kmの道路です。

本耶馬渓～耶馬渓道路は、H8道路防災総点検要対策箇所の解消と災害時の救援活動・緊急物資輸送路を確保し、東九州自動車道及び重要港湾中津港へのアクセス強化、産業の活性化を目的とした道路です。

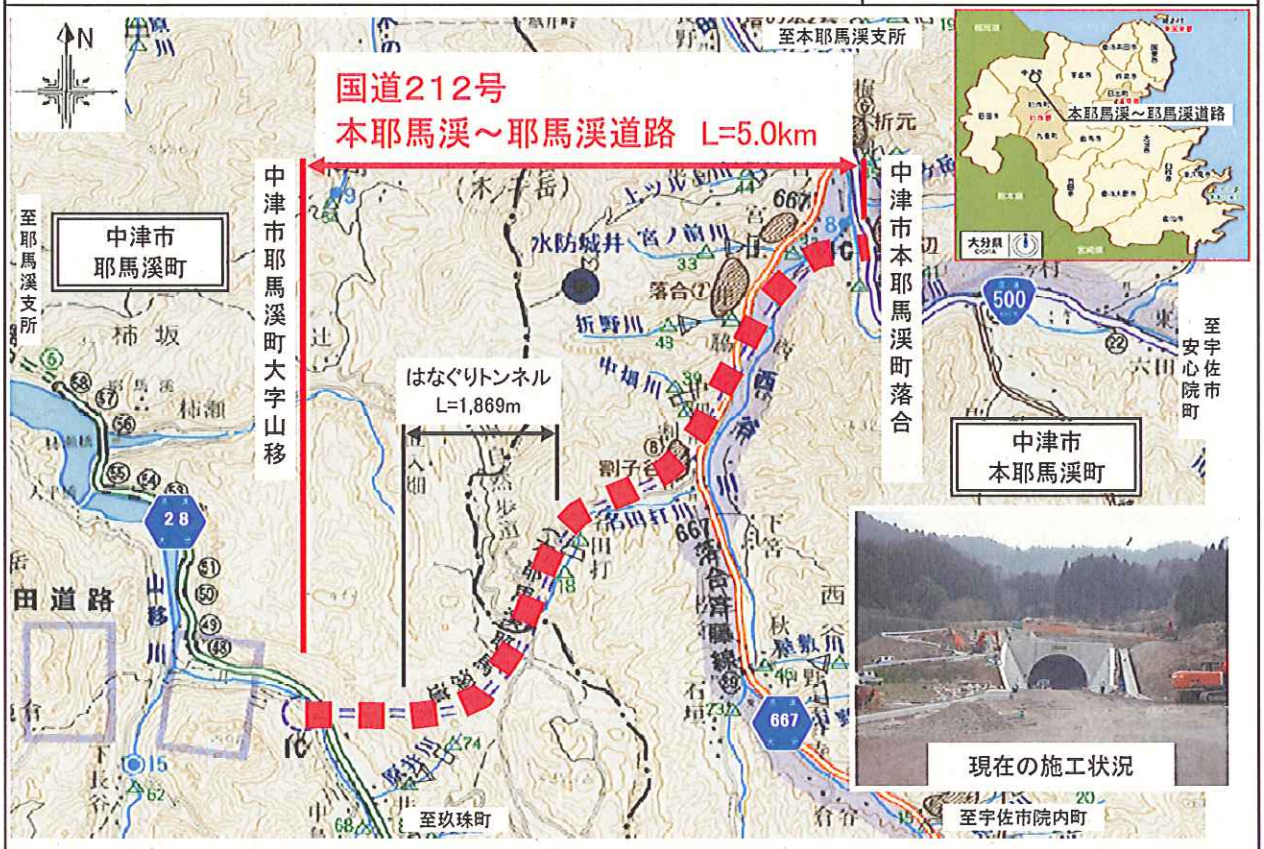
場所：大分県中津市本耶馬渓町落合～同市耶馬渓町大字山移

諸元：L＝5．0km、W＝12．0m（完成2車線）

平成23年度　完成

完成予定

平成23年度
全線供用



2. 平成23年度の整備内容

舗装工事、トンネル設備工事、交通安全施設工事等を実施する予定です。

3. 整備効果

本道路の完成により、H8道路防災総点検要対策箇所が解消され、災害時の救援活動・緊急物資輸送路が確保されます。また、東九州自動車道及び重要港湾中津港へのアクセス強化が期待され、広域交流の促進が図られます。

国道220号　日南防災（北区間）

～ 異常気象時通行規制区間の解消等を図り、安全安心な通行の確保 ～

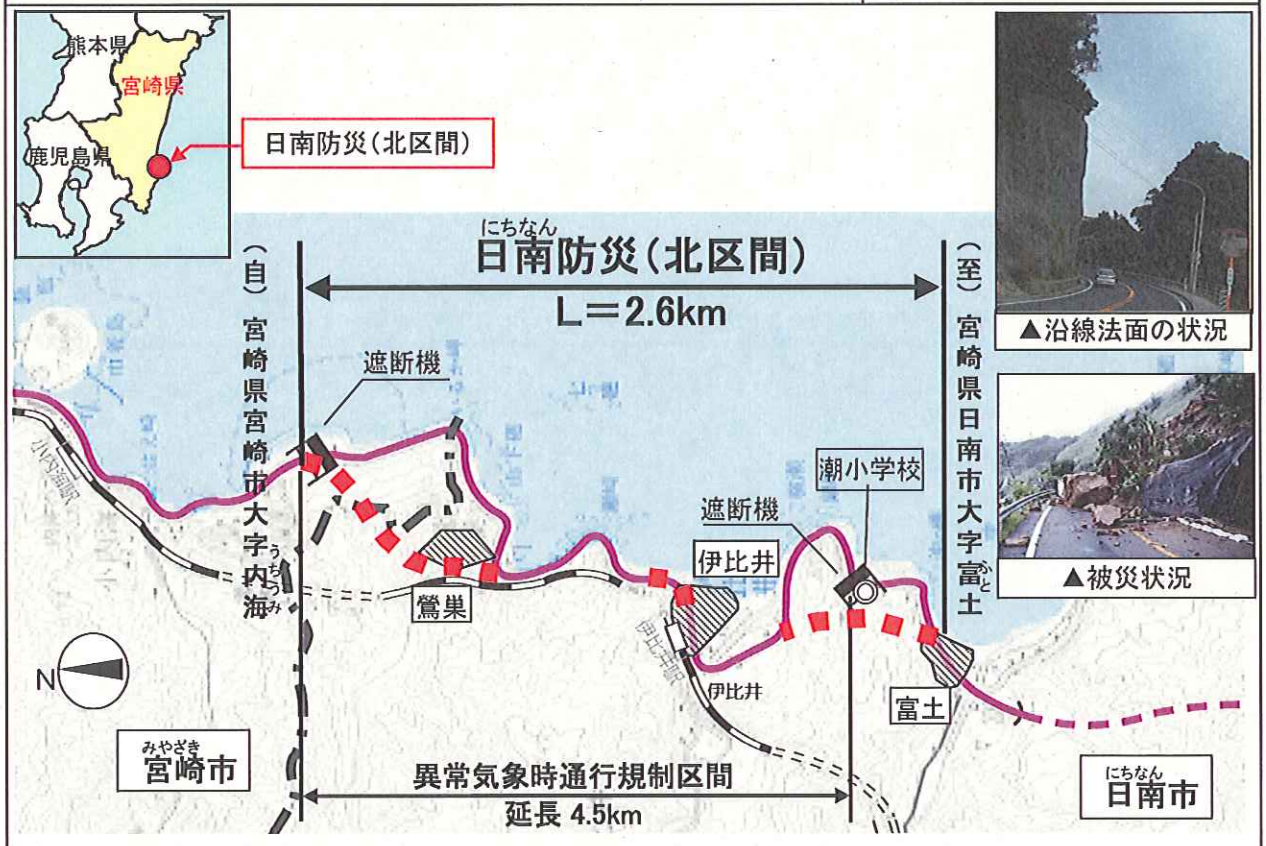
1. 概要

国道220号日南防災（北区間）は、脆弱な地質を通過することから発生している、異常気象時の通行規制や災害による通行止めに対し、災害の危険性が高い箇所を回避することで、宮崎市と宮崎県南を連絡する唯一の幹線道路である国道220号において安全で安心な通行の確保を図る道路です。

場所：宮崎県宮崎市大字内海～日南市大字富土

諸元：L＝2．6km、W＝10．5m（完成2車線）

平成23年度　新規



▲沿線法面の状況

▲被災状況

2. 平成23年度の整備内容

・ 路線測量及び地質調査に着手します。

3. 整備効果

・ 異常気象時通行規制や災害による全面通行止めの解消が図られます。
・ 通勤及び通学等の生活経路の安全を確保し、孤立集落の解消が図られます。

東九州自動車道（清武JCT～北郷、北郷～日南）

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1．概要

東九州自動車道は北九州市を起点とし、福岡・大分・宮崎・鹿児島の各県を結び、鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道で、東九州地域の産業・経済・文化の活性化に重要な役割を果たすとともに、九州の循環型高速交通ネットワーク形成に大きく貢献する道路です。

このうち、清武～北郷間（19．0km）、北郷～日南間（9．0km）は、直轄の高速道路として整備を進めています。

場所：宮崎県宮崎市清武町今泉～同県日南市大字東弁分

諸元：〔清武～北郷〕L=19.0km、W=12.0m（暫定2車線）
〔北郷～日南〕L= 9.0km、W=12.0m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度
（部分供用・暫定2車線）



▲施工状況（猪八重トンネル）

▲施工状況（内之野地区）

2．平成23年度の整備内容

- 用地買収及び改良、橋梁、トンネル工事等を推進します。
- 清武JCT～清武南IC間については、平成24年度の供用を目指します。

3．整備効果

- 宮崎市から日南市間の所要時間が大幅に短縮されます。
- 異常気象時の通行規制区間の回避が可能になります。
- 3次救急医療施設（県立宮崎病院、宮崎大学医学部付属病院）への時間が大幅に短縮されます。

国道10号　都城道路

～ 東アジア1日交流圏の形成と貨物の準国内物流化 ～

1. 概要

地域高規格道路「都城志布志道路」は、宮崎県都城市から鹿児島県志布志市に至る延長約40kmの道路であり、都城・北諸県地方生活圏と志布志港を連結し、効率的な交通体系の形成と多様な輸送手段を確保することにより、地域の活性化を支援する道路です。

国道10号 都城道路は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線（都城IC）との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善を目的とした道路です。

場所：宮崎県都城市乙房町～同県都城市五十町

諸元：L＝7．7km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成23年度
（部分供用・暫定2車線）



▲施工状況（中原地区）

2. 平成23年度の整備内容

- 用地買収及び改良、舗装工事等を推進します。
- 平塚IC～五十町IC間については、平成23年度の供用を目指します。

3. 整備効果

- 市街地の交通混雑解消や沿道環境が改善されます。
- 所要時間の短縮や定時性が確保され、安全で快適な走行が可能となります。
- 畜産の搬送の効率化により、地域産業発展に寄与します。

国道10号　延岡道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

国道10号 延岡道路は、国道10号の交通混雑を解消し、災害時の代替路線となるなど、バイパス機能を持つ規格の高い自動車専用道路です。

また、産業や経済の発展、文化交流等地域開発の促進など地域の活性化の支援に寄与する、延岡市北川町長井から延岡市天下町を経由して延岡市伊形町に至る延長20．6kmの道路です。

場所：宮崎県延岡市北川町長井～同県延岡市伊形町

諸元：L＝20．6km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度
（全線供用・暫定2車線）







▲延岡JCT・IC側から北川IC側を望む
（行縢川橋L＝379m）

2. 平成23年度の整備内容

・改良及び橋梁、トンネル工事等を推進します。

・北川IC～延岡JCT・IC間については、平成24年度の全線供用を目指します。

3. 整備効果

・所要時間の短縮や定時性が確保され、安全で快適な走行が可能となります。

・国道10号の代替路線として、災害や緊急時の広域交通の安全性を確保します。

・企業立地や地域の発展に大きく寄与します。

東九州自動車道（志布志～末吉財部）

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

東九州自動車道は北九州市を起点とし、福岡・大分・宮崎・鹿児島の各県を結び、鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道で、東九州地域の産業・経済・観光・文化の活性化に重要な役割を果たすとともに、九州の循環型高速交通ネットワーク形成に大きく貢献する道路です。

このうち志布志～末吉財部間L＝48．0kmは、直轄の高速道路として整備を進めています。

場所：鹿児島県志布志市志布志町～同県曽於市末吉町

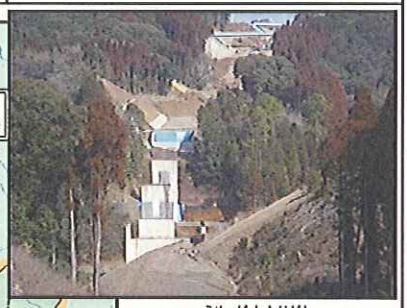
諸元：L＝48．0km　W＝12．0m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成26年度
（部分供用・暫定2車線）





▲施工状況（梅ヶ渡川橋）



▲施工状況（串良川橋）

2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良・橋梁工事等を推進します。

・鹿屋串良IC～曽於弥五郎IC間については、平成26年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・鹿児島県大隅地域と鹿児島市との交流促進に寄与します。

・鹿児島県大隅地域の物流効率化、観光振興、産業発展に寄与します。

国道3号　出水阿久根道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

南九州西回り自動車道は、八代市を起点として、水俣市、薩摩川内市などを経由して鹿児島市に至る延長約140kmの高規格幹線道路で、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時制の確保に大きく寄与する道路です。

国道3号出水阿久根道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、鹿児島県出水市下知識から同県阿久根市鶴川内に至る延長14．9kmの自動車専用道路です。

場所：鹿児島県出水市下知識～同県阿久根市鶴川内

諸元：L＝14．9km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成26年度
（部分供用・暫定2車線）
平成27年度
（部分供用・暫定2車線）





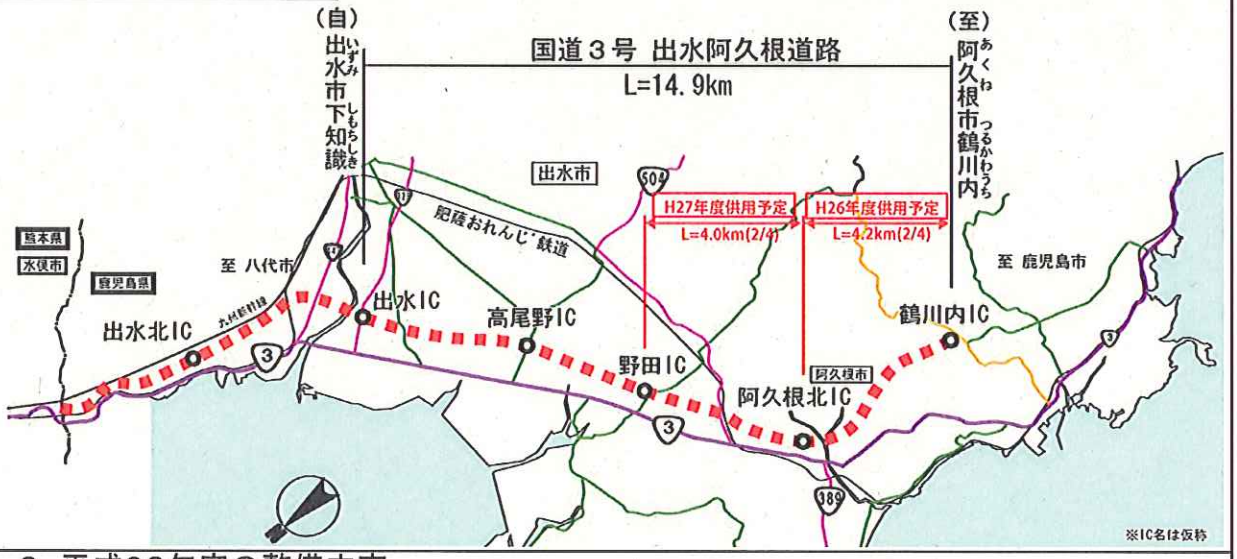
▲野田IC付近施工状況



▲阿久根北IC付近施工状況



▲鶴川内IC付近施工状況



2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良、橋梁工事等を推進します。
・阿久根北IC～鶴川内IC間については、平成26年度の供用を目指します。
・野田IC～阿久根北IC間については、平成27年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・北薩地域と熊本方面・鹿児島方面への物流の効率化や都市部・観光施設間の交流促進につながり、地域活性化に寄与します。

国道3号　川内隈之城道路

～ 産業経済・地域を支える循環型高速交通体系の構築等による広域交流ネットワークの形成 ～

1. 概要

南九州西回り自動車道は、八代市を起点として、水俣市、薩摩川内市などを経由して鹿児島市に至る延長約140kmの高規格幹線道路で、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時制の確保に大きく寄与する道路です。

国道3号 川内隈之城道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、鹿児島県薩摩川内市水引から同県同市都町に至る延長10．2kmの自動車専用道路です。

場所：鹿児島県薩摩川内市水引～同県同市都町

諸元：L＝10．2km、W＝10．5m（暫定2車線）

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度
（部分供用・暫定2車線）
平成26年度
（全線供用・暫定2車線）





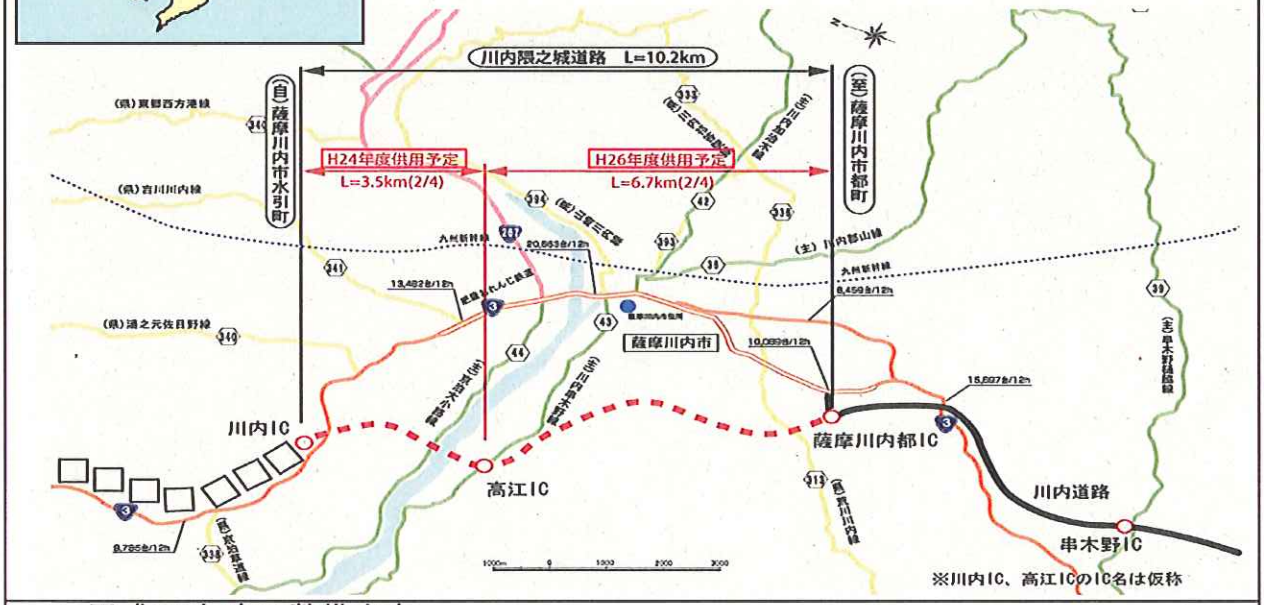
▲小倉地区施工状況（川内IC～高江IC）



▲川内川橋施工状況（川内IC～高江IC）



▲高江IC付近施工状況（川内IC～高江IC）



2. 平成23年度の整備内容

・用地買収及び改良、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。
・川内IC～高江IC間については、平成24年度の供用を目指します。
・高江IC～薩摩川内都IC間については、平成26年度の供用を目指します。

3. 整備効果

・北薩地域と熊本方面・鹿児島方面への物流の効率化や都市部・観光施設間の交流促進につながり、地域活性化に寄与します。

国道225号 川辺改良

～ 道路交通環境の改善による安全・安心な生活環境の形成 ～

1. 概要

国道225号川辺改良は、地形が急峻で、線形が悪く、異常気象時における通行規制区間（連続雨量：200mm以上）となっている川辺峠付近の交通安全の確保を目的とした、鹿児島県南九州市川辺町市之瀬～鹿児島市下福元町影原に至る延長8．3kmの道路です。

場所：鹿児島県南九州市川辺町市之瀬～鹿児島市下福元町影原

諸元：L＝8．3km、W＝12．0～15．0m（完成2車線）

平成23年度　完成

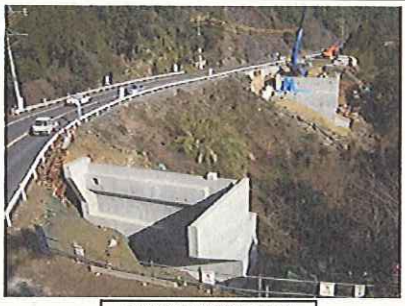
完成予定

平成23年度
（全線供用・完成2車線）

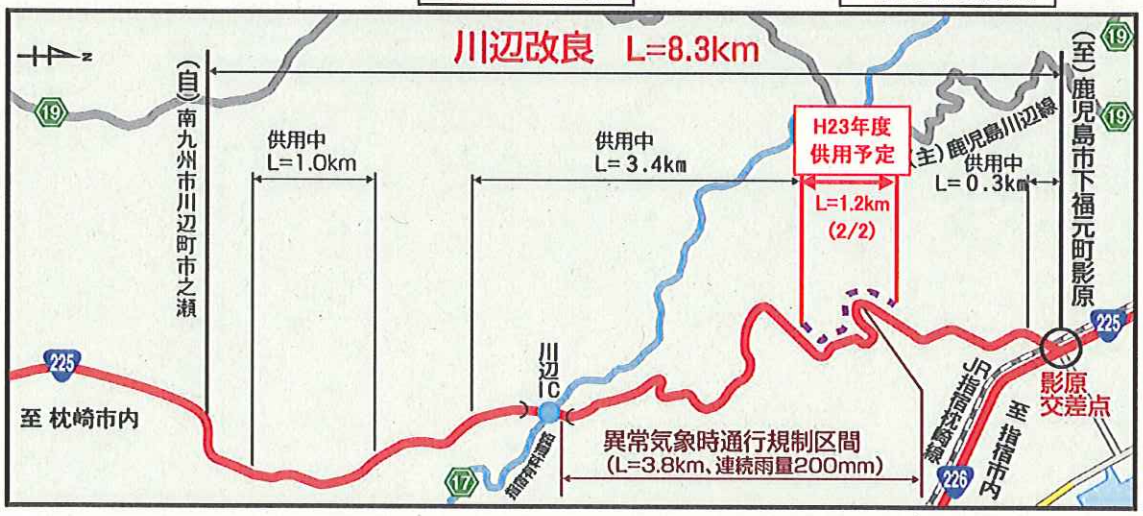




▲小川地区付近施工状況



▲小川地区付近施工状況



2. 平成23年度の整備内容

・改良、橋梁、舗装工事等を推進します。

・鹿児島市平川町小川地区については、平成23年度の全線供用を目指します。

3. 整備効果

・異常気象時の事前通行規制区間の解除と山岳道路の急勾配、急カーブの線形改良を行い、平常時の安全で快適な通行はもとより、救急救命のルートを確保し、地域経済や文化の発展に寄与します。

国道225号 鴨池(かもいけ)地区電線共同溝

～ 無電柱化事業の推進 ～

1. 概要

当該地区は鹿児島市の中心市街地に位置し、周辺には県庁や市立図書館、県立公園等の公共施設や学校、大型ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰが立地するとともに鴨池港等の市の交通拠点を有しており、歩行者や自転車交通が多い地区となっています。

更に、既に整備されている電線共同溝とのﾗｲﾌﾗｲﾝﾈｯﾄﾜｰｸ形成を図ることにより安全で快適な歩行空間を確保し、都市景観及び都市防災機能の向上を図るものです。

場所：鹿児島県鹿児島市郡元(こおりもと)3丁目～同市下荒田(しもあらた)4丁目

諸元：整備延長L＝1．9km（道路延長L＝0．95km）

平成23年度　完成

完成予定

平成23年度

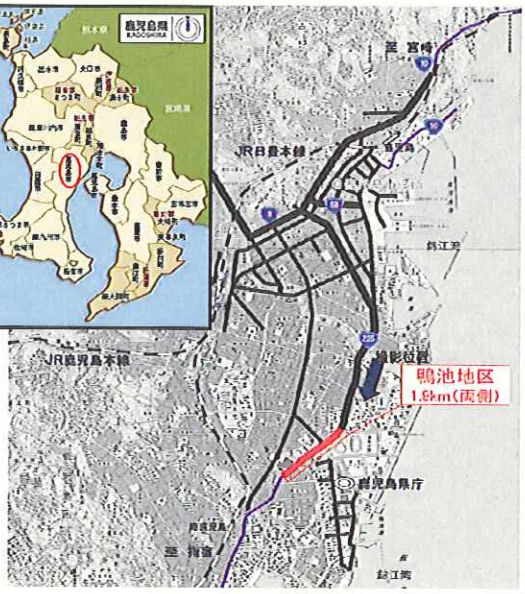
【現況写真】



【位置図】



【平面図】



2. 平成23年度の整備内容

電線共同溝設置に伴う路面復旧工事の推進を図り、平成23年度の完成を目指します。

3. 整備効果

地上に張り巡らされた電線や電柱がなくなり、都市景観が向上します。

更に、災害時において電柱や電線による被害を防止するとともに、ライフラインの強化が図られます。

港湾・空港事業関係個表

Ⅲ. 港湾・空港関係事業

■ 港 湾 ・ 海 岸 関 係 事 業

○ 急速な経済成長を続けるアジア諸国に近い九州の優位性を活かし、博多港の国際海上コンテナターミナルや国際幹線航路である関門航路の整備を進めます。

○ 我が国の産業競争力の向上と雇用の確保に貢献する苅田港、伊万里港、中津港、細島港等の整備を進めます。

○ 大規模地震や高潮等による自然災害への対応や海洋環境の保全、離島等地域の生活・経済活動の支援など、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指すため、郷ノ浦港、鹿児島港等で耐震強化岸壁の整備を進めるとともに、別府港海岸、下関港海岸で高潮対策等の整備を進めます。

【直轄】　（単位：百万円）

	平成23年度(当初) (A)	平成22年度(当初) (B)	対前年比 (A)／(B)
海　岸	2,367	1,372	1.73
港　湾	34,439	48,073	0.72
合　計	36,806	49,445	0.74

【補助】　（単位：百万円）

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	山口県	合計
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
港 湾	601	50	1,143	205	244	200	2,059	20	4,522
合 計	601	50	1,143	205	244	200	2,059	20	4,522

補助事業費	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	山口県	合計
一括配分	0	0	255	0	0	0	930	0	1,185

注）本表は端数処理の結果、合計と一致しないことがある。

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

■ 空 港 関 係 事 業

○ 空港施設を健全な状態に保持するための滑走路・エプロン等の更新・改良を福岡空港、長崎空港、熊本空港などで進めます。

○ 地震・台風等の災害時における空港機能確保のための耐震対策や波浪対策などを北九州空港、大分空港、宮崎空港、鹿児島空港などで進めます。

【直轄】

（単位：百万円）

	平成23年度（当初）(A)	平成22年度（当初）(B)	対前年比 (A)／(B)
空港整備事業費	(6,210) 1,584	(10,980) 2,516	(0.57) 0.63

※注1　上段（ ）書：大阪航空局を含む管内全体事業費
　　下段　　：うち九州地方整備局事業費

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

博多港（アイランドシティ地区）国際海上コンテナターミナル

～ 我が国の経済成長を支える大水深国際海上コンテナターミナルの整備 ～

1. 概要

博多港の背後圏域は、九州はもとより西日本地方まで及び、我が国でも有数の海上物流拠点港として重要な役割を果たしています。このような役割のもと、世界的な外貿コンテナ貨物量の増加と輸送船舶の大型化傾向へ対応するターミナル整備が必要となっています。

このため、ｱｲﾗﾝﾄﾞｼﾃｨ地区の水深15m岸壁の効果を発現するために必要な航路ならびに泊地の増深（14m→15m）を行い、輸送コストの削減による我が国の経済成長を支援します。

場所：　福岡県福岡市

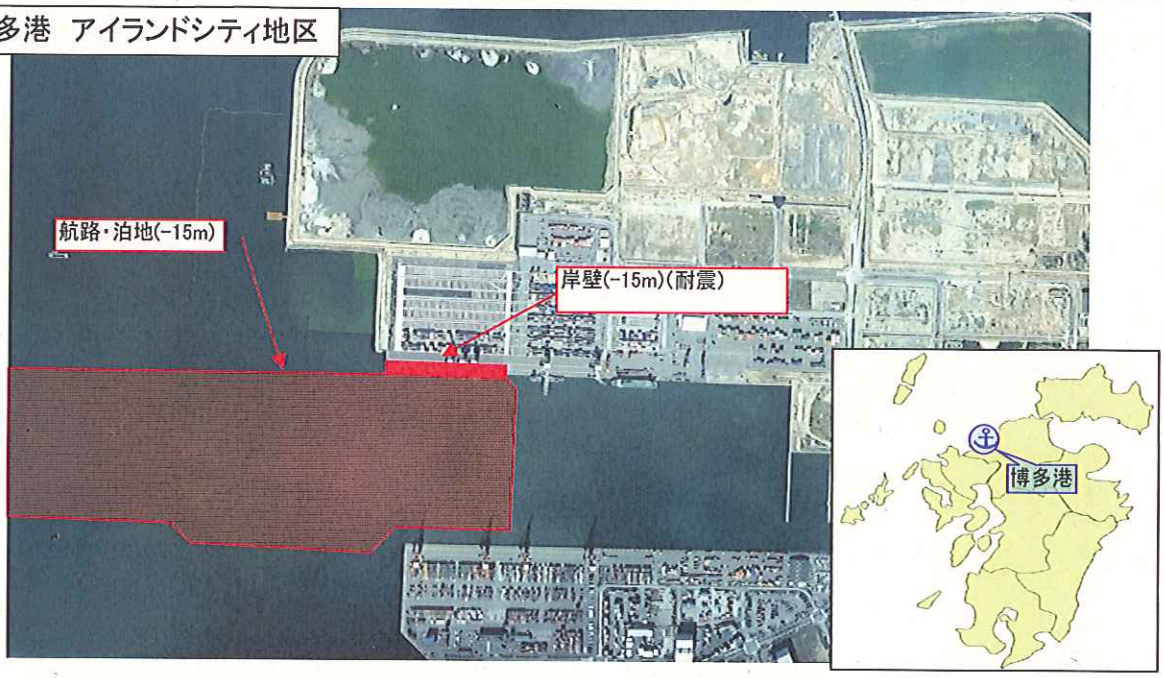
諸元：　岸壁（-15m）（耐震）、航路・泊地（-15m）

平成23年度　継続

完成予定

平成28年度以降

博多港　アイランドシティ地区



2. 平成23年度の整備内容

・ 航路・泊地（-15m）の整備を推進します。

3. 整備効果

・ 国際コンテナ貨物の海上輸送費用を削減することにより、我が国の国際競争力強化を支援します。

苅田港（新松山地区）国際物流ターミナル

～ 産業競争力を強化する国際物流ターミナルの整備 ～

1. 概要

苅田港は福岡県北東部に位置し、その背後圏域には電力会社や自動車関連企業、セメント系企業などが立地し、海上物流拠点としての重要な役割を果たしています。

しかしながら、企業の発電に利用するための石炭の輸入や生産された自動車の国内外への搬出などを主とした貨物の取り扱いに対して、不足する施設整備が必要となっています。

このため、水深13mの国際物流ターミナルを整備し、物流の効率化による産業競争力の向上を目指します。

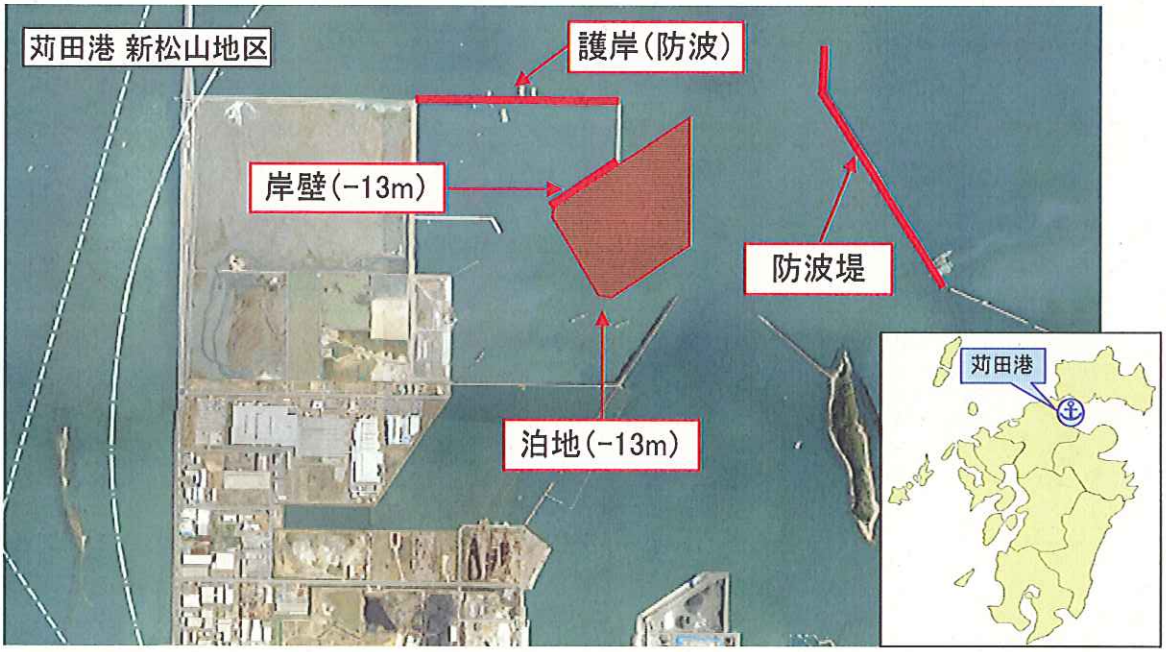
場所：福岡県苅田町

諸元：岸壁（-13m）、泊地（-13m）、防波堤、護岸（防波）

平成23年度　継続

完成予定

平成28年度以降



2. 平成23年度の整備内容

・ 岸壁（-13m）、護岸（防波）および防波堤の整備を推進します。

3. 整備効果

・ 大型船による大量一括輸送が可能となり、海上輸送コストの削減による産業競争力の強化を支援します。

関門航路整備事業

～ 国際幹線航路における航路水深の増深 ～

1. 概要

関門航路は、我が国と海外主要港を結ぶ国際幹線航路として、重要な役割を果たしています。

しかしながら、航路延長が約45kmと長いうえ、地形的に狭隘で屈曲した箇所が多い等の課題から海難事故の発生や航行船舶の大型化に対応した整備が強く求められています。

このため、航路の増深・拡幅を行い、安全で安定的な海上輸送ネットワークを構築し、物流コストの低減による我が国経済の国際競争力強化を支援します。

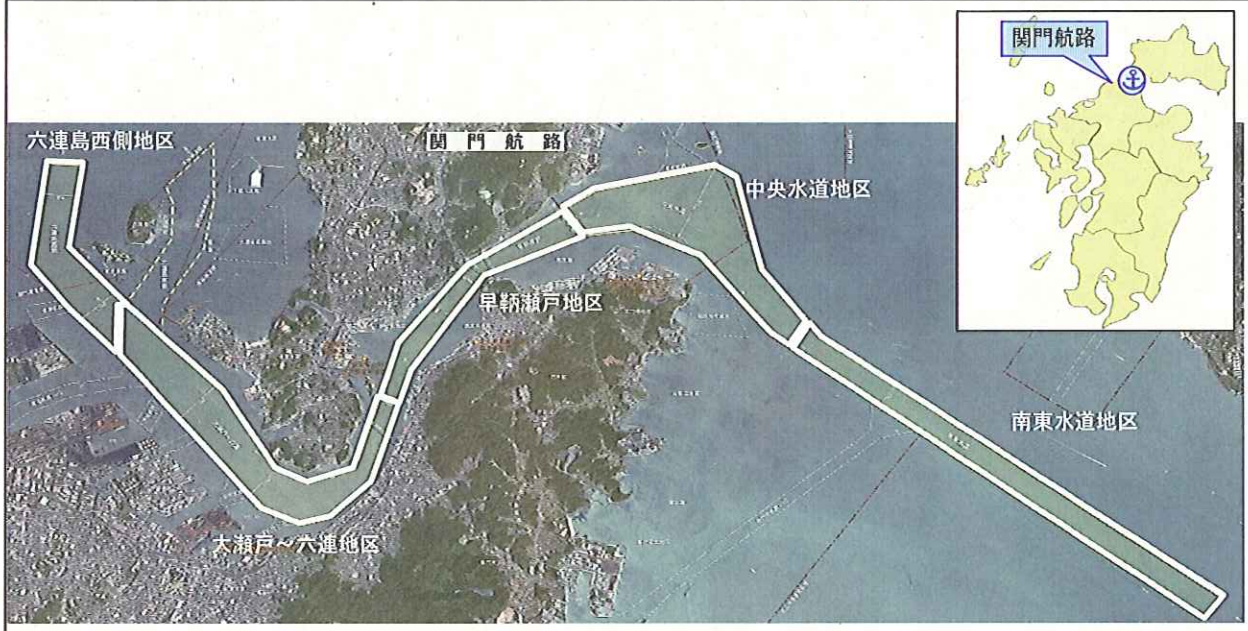
場所：福岡県、山口県

諸元：航路（－14m）、航路（－15m）

平成23年度　継続

完成予定

平成28年度以降



2. 平成23年度の整備内容

- 航路の増深・拡幅を実施します。
- 航路保全のため、測量などの業務を実施します。

3. 整備効果

- 安全で安定的な海上輸送ネットワークの構築により物流コストの低減を実現し、我が国経済の国際競争力強化を支援します。

伊万里港（七ツ島地区）国際物流ターミナル

～ 産業競争力を強化する国際物流ターミナルの整備 ～

1．概要

伊万里港は、佐賀県北西部に位置し、コンテナ貨物や原木の取り扱いなどを通じて様々な企業活動を支える重要な役割を果たしています。

しかしながら、輸送船舶の大型化傾向に加え、荷さばき地が不足するなどの課題に対応する施設整備が必要となっています。

このため、水深13mの国際物流ターミナルの整備を行い物流の効率化による地域経済の活性化を目指します。

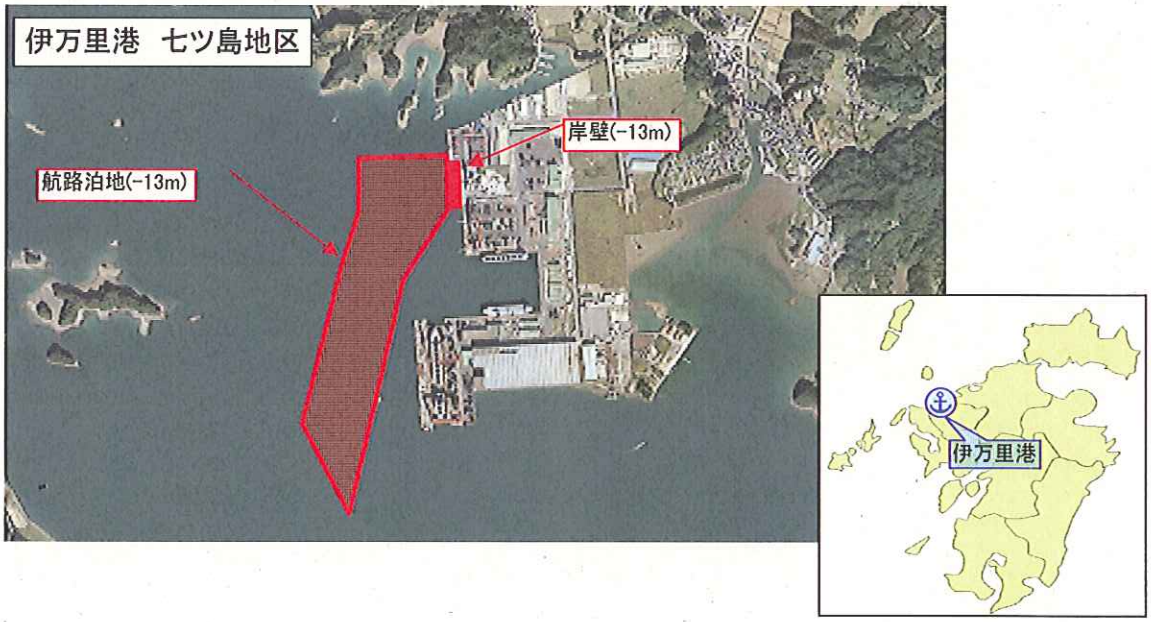
場所：　佐賀県伊万里市

諸元：　岸壁（-13m）、航路泊地（-13m）

平成23年度　継続

完成予定

平成27年度



2．平成23年度の整備内容

・ 岸壁（-13m）の整備を推進します。

3．整備効果

・ 大型船による大量一括輸送が可能となることにより、輸送コストの削減により産業の国際競争力を強化するとともに、地域経済の活性化を支援します。

郷ノ浦港（郷ノ浦地区）国内物流ターミナル（耐震改良）

～ 安心・安全な地域づくり ～

1. 概要

郷ノ浦港は長崎県の北東部、約3万人の国民が生活する孤立大型離島「壱岐島」の生活や経済活動を支える海上拠点として重要な役割を果たしていますが、壱岐島には大規模地震が発生した場合に、海上輸送を維持するための耐震強化岸壁が整備されていません。

このため、大規模地震が発生した場合にも生活や経済活動を支援する「耐震強化岸壁」を整備完了するものです。

場所：　長崎県壱岐市

諸元：　岸壁（-7.5m）（改良）（耐震）

平成23年度　完成

完成予定

平成23年度



2. 平成23年度の整備内容

・ 港内に現有する岸壁（-7.5m）を耐震強化岸壁へ改良する工事を完了します。

3. 整備効果

・ 大規模地震発生時にも利用可能な耐震強化岸壁の整備によって壱岐島のライフラインを確保します。

有明・八代海海域　海洋環境整備事業

～ 豊穣な海の再生へ：環境整備船の運航 ～

1. 概要

閉鎖性水域である有明・八代海の海域環境を保全・再生するために、環境整備船により、短波海洋レーダー等を活用した効率的な浮遊ゴミの迅速な回収及び海洋環境調査を実施するなど、海洋環境整備に取り組みます。

場所：　有明海・八代海海域

諸元：　浮遊ゴミ回収

平成23年度　継続

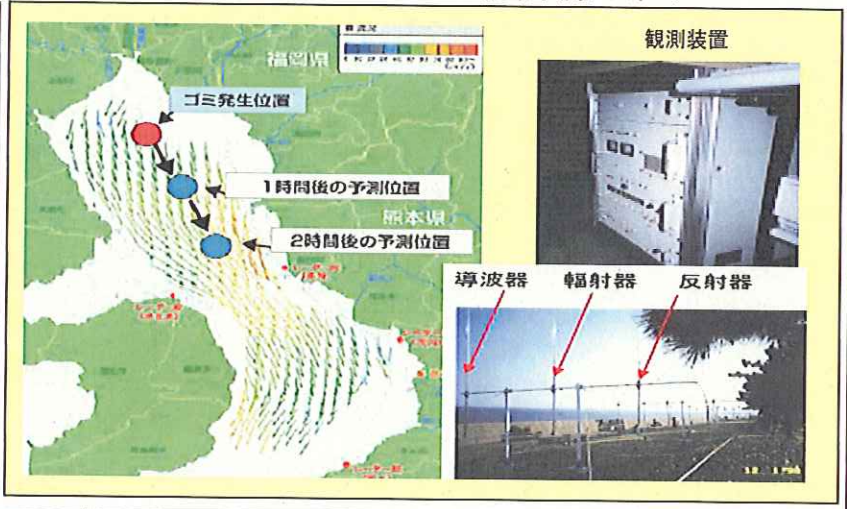
完成予定

－

担務海域図



短波海洋レーダーによるゴミ移動予測システム









2. 平成23年度の整備内容

- 環境整備船による浮遊ゴミの回収及び海洋環境調査を実施します。

3. 整備効果

- 浮遊ゴミ回収により海洋汚染を防除し、航行船舶の安全を確保します。
- 有明海・八代海の環境監視を行い、海洋環境の保全・再生を目指します。

中津港（田尻地区）臨港道路整備

～ 産業競争力を強化する国際物流ターミナルの整備 ～

1. 概要

中津港は大分県北部に位置し、自動車関連産業が立地するなど地域経済や産業活動を支える重要な役割を果たしています。しかしながら、背後圏の幹線道路と直結する臨港道路が整備されていないことから、港湾関連車輌による渋滞の発生や事故発生などの危険性が指摘されています。

このため、効率的で安全な輸送ルートを確保し、広域な背後圏との交通網を確保するために臨港道路の整備を行います。

場所：大分県中津市

諸元：道路

平成23年度　継続

完成予定

平成24年度



2. 平成23年度の整備内容

・ 道路の整備を推進します。

3. 整備効果

・ 安全で効率的な物流輸送網を確保することにより、輸送時間の短縮による物流輸送コストの縮減を図り、地域経済の活性化を支援します。

別府港海岸（べっぷこうかいがん） 直轄海岸保全施設整備事業

～ 災害対策等の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現 ～

1. 概要

別府港海岸は、大正期からの埋め立てにより整備されており、亀裂や風化等の老朽化が広範囲にみられるほか、台風等による越波や高潮による被害が発生しています。

整備に当たっては、波浪・高潮及び地震に対する防護機能に加え、背後のまちづくりと一体となった重要な役割を担うことから、平成22年度供用した餅ヶ浜地区に引き続き、整備計画策定段階より地域の皆様に参画いただく「住民参加型(PI)」により施設整備を進めていきます。

場所： 大分県別府市

諸元： 護岸（改良）

平成23年度 継続

完成予定

平成25年度



別府港海岸平面図





被災状況(H5.9)





2. 平成23年度の整備内容

・ 海岸保全施設の整備を推進します。

3. 整備効果

・ 高潮、波浪による再度災害を未然に防止し、海岸背後の住民の生命、財産等を守ります。

細島港（白浜地区）国際物流ターミナル

～ 産業競争力を強化する国際物流ターミナルの整備 ～

1. 概要

細島港の背後圏には加工製品を産出する我が国有数の大型企業が立地することに加え、ﾘﾁｳﾑ電池部品の生産や太陽電池ﾊﾟﾈﾙを製造する企業の立地が相次いでいます。

このような状況のもと、細島港で取り扱う貨物が急増することに加え、船舶の大型化傾向に対応する施設整備が求められています。

このため、水深13mの国際物流ターミナルの整備を行い、物流の効率化による産業競争力の向上を目指します。

場所：宮崎県日向市

諸元：岸壁(-13m)、泊地(-13m)、臨港道路等

平成23年度　新規

完成予定

平成26年度



2. 平成23年度の整備内容

- 岸壁(-13m)の整備に着手します。

3. 整備効果

- 不足する大型岸壁の整備により海上輸送コストを削減し、我が国の先端産業の国際競争力を強化し、地域の経済と雇用を支援します。

鹿児島港（新港区）複合一貫輸送ターミナル

～ 安全・安心な地域経済を支える複合一貫輸送ターミナルの整備 ～

1. 概要

鹿児島港新港区は、鹿児島県の離島と沖縄を結ぶ海上拠点として重要な役割を果たしていますが、施設の老朽化が著しく、荷さばき地などが狭いため、非効率な荷役作業や事故発生の危険性が指摘されています。また、大規模地震が発生した場合において、唯一の海上輸送基地として役割を発揮する耐震強化岸壁が整備されていません。

本事業は、このような課題解消を図り、離島生活を支える海上拠点として相応しいターミナルを構築するための再編を行います。

場所：鹿児島県鹿児島市

諸元：岸壁(-9m)(改良)(耐震)、岸壁(-7.5m)(改良)、航路・泊地(-9m)等

平成23年度　新規

完成予定

平成27年度



2. 平成23年度の整備内容

・岸壁(-9m)(改良)(耐震)の整備に着手します。

3. 整備効果

・奄美、沖縄との海上輸送を安定的に確保します。
・大規模地震発生時にも離島のライフラインを確保し、地域の経済活動を維持します。

西之表港（中央地区）複合一貫輸送ターミナル

～ 安全で効率的な物流機能確保による地域支援 ～

1. 概要

種子島の海上拠点である西之表港は、生活物資の取扱いのみならず、観光旅客船の寄港効果による島内振興など、重要な役割を果たしています。

しかしながら、港内の水域や荷捌地が狭隘なため船舶の安全性や非効率な荷役作業とともに、大型旅客船が接岸する際に施設延長が不足しているなどの課題が生じています。また、過去に被災した防波堤の安定性確保も急務です。これらの課題を解消するために水深9m岸壁の延伸ならびに防波堤の改良を促進します。

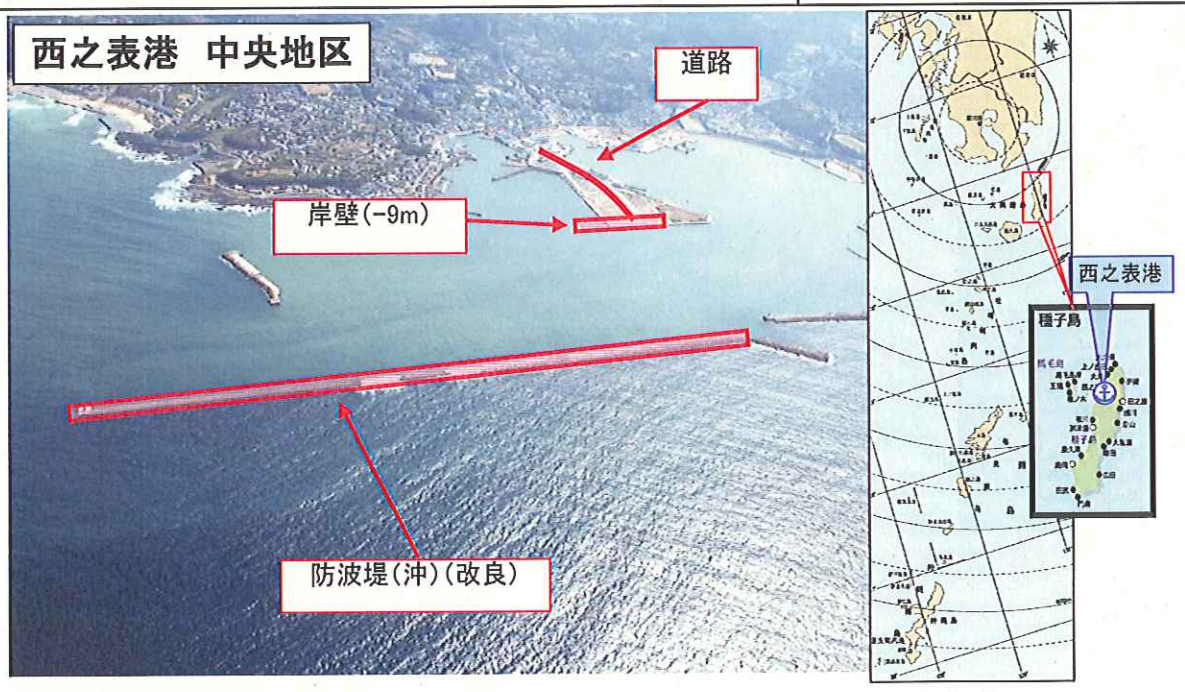
場所：鹿児島県西之表市

諸元：岸壁（-9m）、防波堤（沖）（改良）、道路

平成23年度　継続

完成予定

平成25年度



2. 平成23年度の整備内容

・岸壁（-9m）および防波堤（沖）（改良）の整備を推進します。

3. 整備効果

・台風等による被災を防止するとともに、荷役作業の効率化を支援します。
・大型旅客船の安全な接岸を可能とし、島内振興を支援します。

指宿港海岸　直轄海岸事業化検証調査

1. 概要

指宿港海岸は、数多くの旅館・ホテルが立地する国内有数の温泉観光都市に位置し、砂浜を活用した砂むし温泉が著名な観光資源となっています。

しかしながら、同海岸は高波・高潮による砂浜の侵食が著しく、広い範囲で砂浜が流失しているのみならず、護岸の老朽化と海浜侵食による護岸基礎の洗掘で一部の護岸が倒壊する恐れ等もあります。このため、海岸侵食の原因となっている漂砂の発生機構を解明し、効率的・効果的な侵食対策を検討するため、事業化検証調査を実施します。

場所：　鹿児島県指宿市

諸元：　潜堤（改良）、護岸（改良）、養浜等

平成23年度
事業化検証調査

完成予定

ー









2. 平成23年度の整備内容

- 海岸侵食の原因となっている漂砂の発生機構を解明し、効率的・効果的な侵食対策を検討するため、事業化検証調査を実施します。

3. 整備効果

- 効率的で効果的な侵食対策方法を検討するとともに、その効果について検証します。

下関港海岸（しものせきこうかいがん）　直轄海岸保全施設整備事業

～ 災害対策等の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現 ～

1. 概要

下関港海岸は、平成11年台風18号の高潮発生による浸水・越波で市民生活、企業活動等に甚大な影響が生じており、その後も同様なコースの台風が来襲する度に被害が生じています。

このような状況から、早急な高潮対策が必要である長府・壇ノ浦地区、山陽地区において、平成20年度より直轄事業として施設整備を実施しています。

なお、国道9号線の安全対策とも連携して事業を進めています。

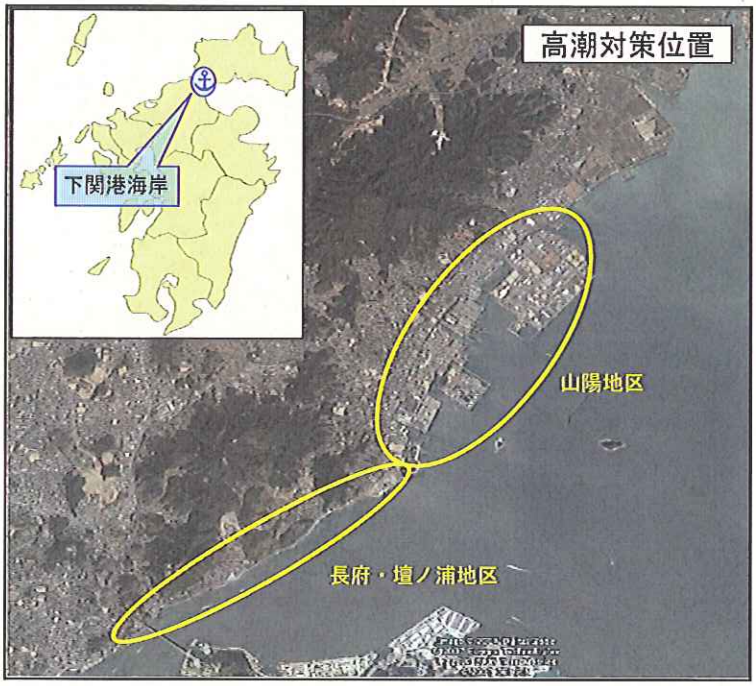
場所：山口県下関市

諸元：護岸（改良）、護岸、胸壁、陸閘等

平成23年度　継続

完成予定

平成29年度





1999年　台風18号

下関市長府東侍町付近の浸水



2004年　台風18号

下関市前田付近
国道9号の越波

2. 平成23年度の整備内容

・ 海岸保全施設の整備を推進します。

3. 整備効果

・ 高潮、波浪による再度災害を未然に防止し、海岸背後の住民の生命、財産等を守ります。

福岡空港整備事業

～ 九州の国際交流の玄関口としての整備推進 ～

1. 概要

福岡空港の旅客数は、全国4位であり国内・国際航空ネットワークの拠点として重要な役割を担っています。

福岡空港では、航空機の安全かつ安定した運航を保持するため、滑走路等の改良を行います。

また、福岡空港の過密化対策については、抜本的な空港能力の向上のための調査を実施します。

場所： 福岡県福岡市

諸元： 滑走路 2，800m×60m

平成23年度 継続

完成予定

－





2. 平成23年度の整備内容

・ 滑走路等の改良を実施します。

3. 整備効果

・ 安全かつ安定した運航を確保します。

都市・住宅事業関係個表

Ⅳ. 都市・住宅関係事業

豊かな自然環境や歴史的資産を保全・再生するとともに、中心市街地活性化や建築物の安全性の確保を図る等、地域の創意工夫による安全で賑わいと魅力あるまちづくり・すまいづくりを図るため、以下のような施策を重点的に推進・支援します。

○放射・環状道路や安全で円滑な都市内交通体系の推進
○地域の創意工夫を活かした個性ある中心市街地の活性化の推進
○国営公園の整備等による地域の活性化
○密集市街地の改善、防災公園等の整備の推進による都市の安全性の向上
○公共施設、住宅等のバリアフリー化

Ⅰ. 予算

【直轄事業:国営公園事業】 (単位:百万円)

費目別	海の中道海浜公園	国営吉野ヶ里歴史公園	合計
国営公園整備費	952	849	1,801
国営公園維持管理費	902	438	1,340
合計	1,854	1,287	3,141

【補助事業】 (単位:百万円)

区分	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	合計
都市公園	540	0	0	0	0	0	0	540
市街地・道路環境整備	1,154	941	0	0	0	0	134	2,229
街路	630	0	0	0	500	0	0	1,130
住宅対策	492	0	0	0	0	0	0	492
合計	2,816	941	0	0	500	0	134	4,391

補助事業費	2,816	941	0	0	500	0	134	4,391
一括配分	1,032	0	0	0	0	0	0	1,032

※上記のほか社会資本整備交付金、地域自主戦略交付金(仮称)、調査費等がある。

※４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則５％程度の予算執行が留保されることとなる。

都市公園事業（海の中道海浜公園）

～ 北部九州の広域的レクリエーション需要に対応した整備 ～

1. 概要

本公園は、北部九州の広域的レクリエーション需要に対応するため、福岡市東区の博多湾と玄界灘を隔てる半島にて整備を進めている国営公園で、現在まで約265haが供用しています。

本事業の実施により、子どもの広場の整備等を行うことで、広域レクリエーション需要への対応の充実や、自然環境の保全、環境学習の場の提供の確保を図ります。

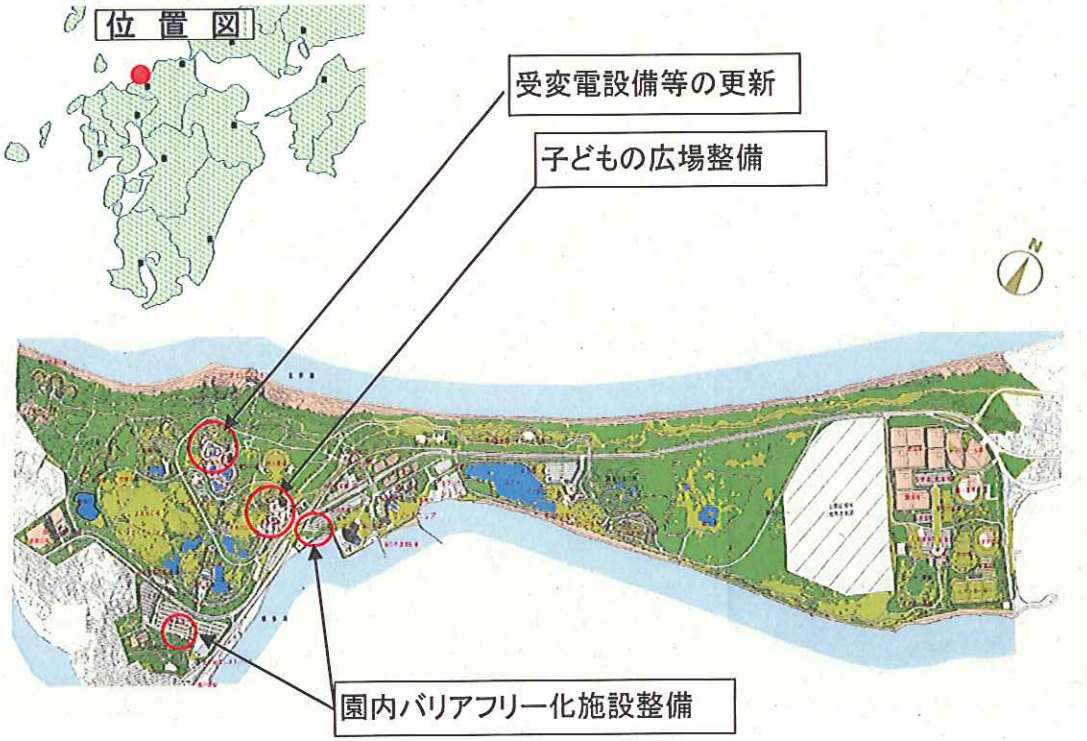
場所： 福岡県福岡市東区西戸崎～奈多

諸元： 全体面積：約540ha

平成23年度　継続

完成予定

ー



2. 平成23年度の整備内容

子どもの広場整備、受変電設備等の更新、園内バリアフリー化施設整備

3. 整備効果

広域レクリエーション需要への対応

自然環境の保全、環境学習の場の提供

都市公園事業（国営吉野ヶ里歴史公園）

～ 我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用 ～

1. 概要

本公園は、我が国固有の優れた文化的資産である吉野ヶ里遺跡の保存及び活用を図るため、佐賀県に設置された国営公園です。周囲には、国営公園と一体となって歴史公園としての機能の充実を図るため県立公園の整備が進められており、現在まで国営公園が約38ha、県立公園が約31ha、全体で約69haが供用しています。

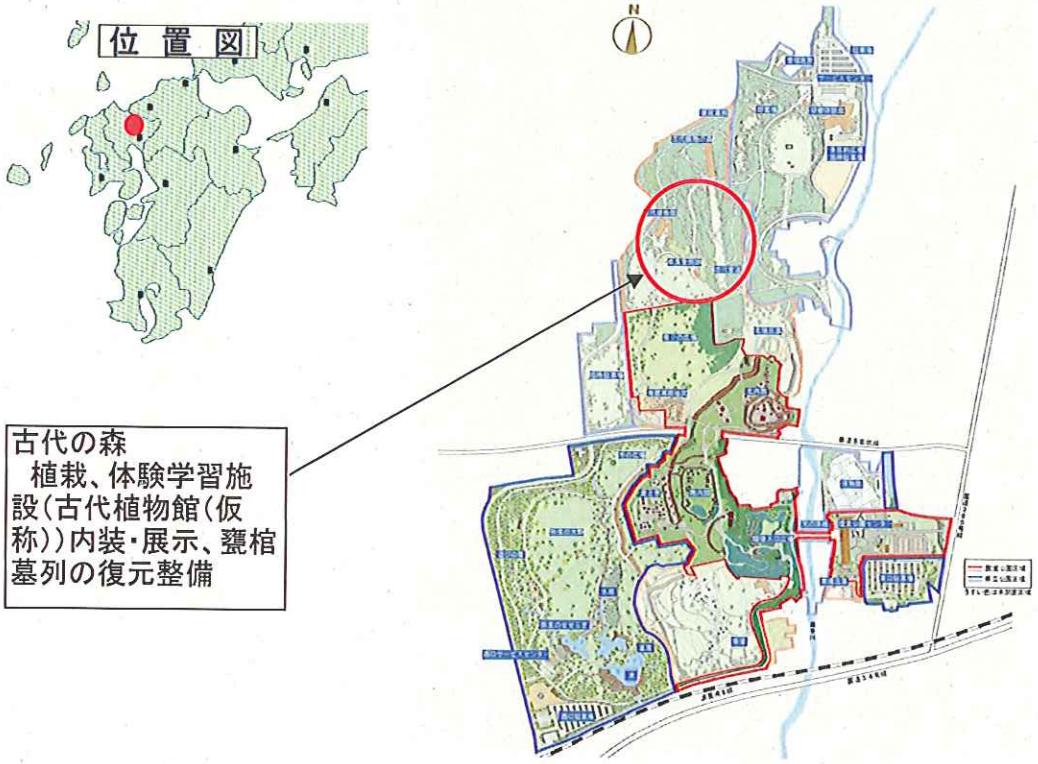
本事業の実施により、古代の森の整備を行うことで、弥生時代の雰囲気や生活感を実感できる場の提供の確保を図ります。

場所：佐賀県神埼市、神埼郡吉野ヶ里町

諸元：全体面積：約117ha
（国営公園：約54ha、県立公園：約63ha）

平成23年度　継続

完成予定
－



2. 平成23年度の整備内容

古代の森の植栽、体験学習施設（古代植物館（仮称））内装・展示、甕棺墓列の復元整備

3. 整備効果

弥生時代の雰囲気や生活感を実感できる場の提供

街路事業（戸畑枝光線（牧山ランプ～枝光ランプ）：地域高規格道路）

～ 賑わいあふれる集約型都市構造への転換と、都市機能の充実・強化 ～

1. 概要

本路線は、北九州高速2号線（戸畑）と北九州高速5号線（枝光）を連絡し、北九州市の環状放射型の自動車専用道路ネットワークを形成する地域高規格道路です。

本路線の整備により、広域物流ネットワークが構築され、物流拠点の機能強化や、周辺の交通混雑緩和を図ります。

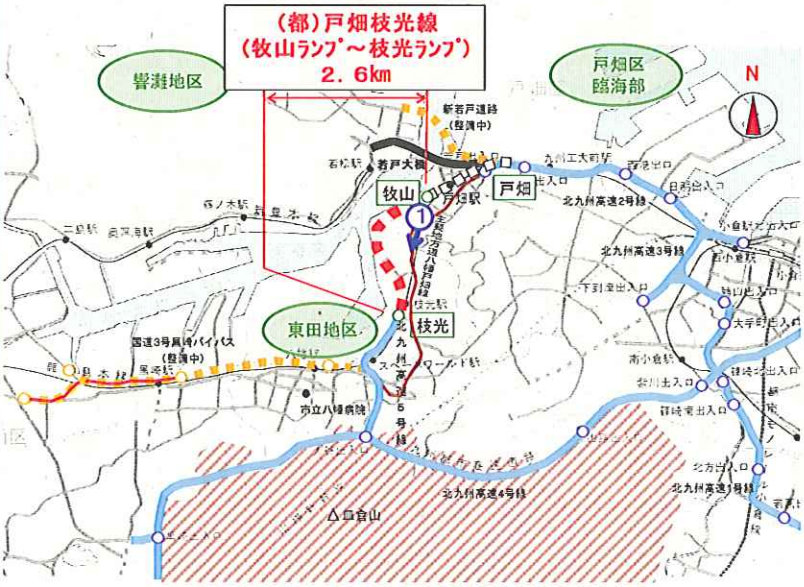
場所：福岡県北九州市戸畑区牧山海岸～八幡東区東田

諸元：延長：約2．6km　幅員：18m

平成23年度　新規

完成予定

－





① 渋滞状況写真



2. 平成23年度の整備内容

・測量、設計、用地買収を実施する予定です。

3. 整備効果

・広域物流ネットワークの構築による物流拠点の機能強化や広域連携の促進が図られます。

・市街地の交通混雑が緩和されます。

・自動車専用道路ネットワークにおける代替ルートの確保が図られます。

街路事業（庄の原佐野線（元町・下郡工区）：地域高規格道路）

～ 賑わいあふれる集約型都市構造への転換と、都市機能の充実・強化 ～

1. 概要

本路線は、延長約6kmの地域高規格道路「大分中央幹線道路」であり、東九州自動車道等と一体的に機能し、地域間連携と都市内構造の強化を目的とする市内の東西骨格道路です。現在、市内中心部に流入する幹線道路では交通容量不足により、慢性的な渋滞が発生しています。

本事業の実施により、不足する大分川断面の交通容量を拡大するとともに、市内中心部に流入する交通を分散し、渋滞緩和を図ります。

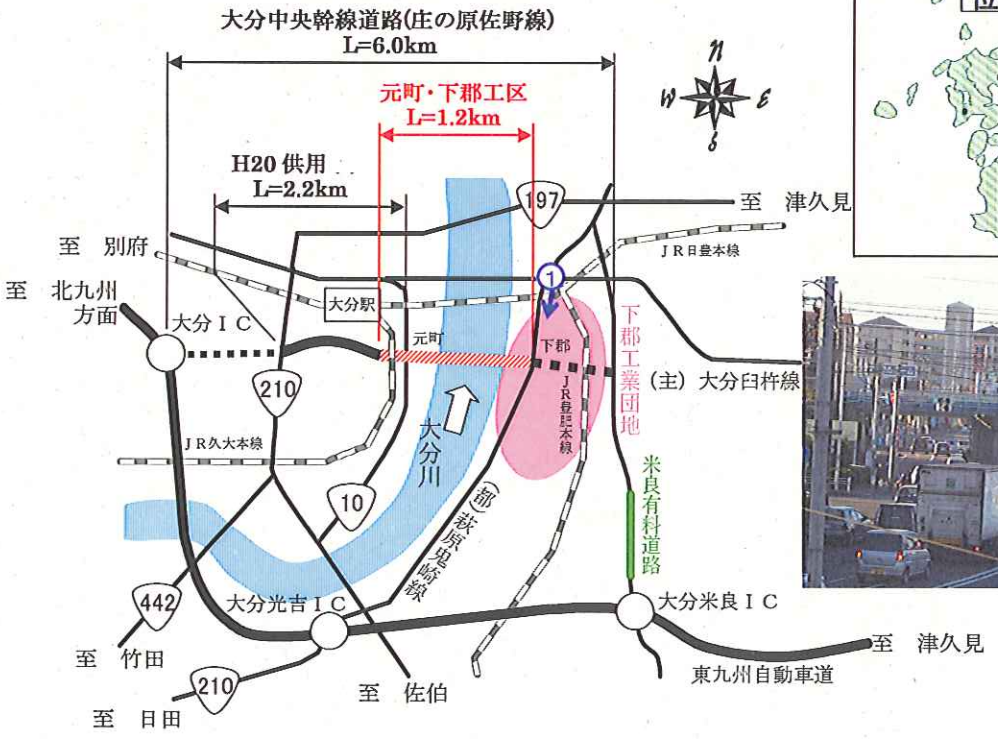
場所：大分県大分市六坊南町～大分市下郡

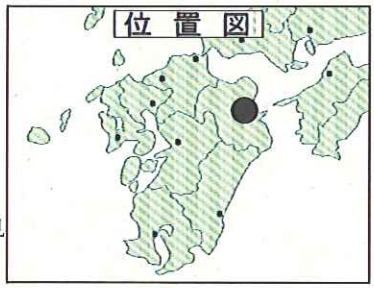
諸元：延長：約1．2km　幅員：52m

平成23年度　継続

完成予定

－







2. 平成23年度の整備内容

・元町・下郡工区（延長1．2km）について、調査、設計、用地買収を進めます。

3. 整備効果

・東九州自動車道等と一体となった体系的なネットワークの形成を図ります。

・市内中心部の慢性的な交通渋滞の緩和が見込まれます。

官庁営繕事業関係個表

Ⅴ. 営繕関係事業

老朽化した官庁施設が今後増大していく中、既存官庁施設の有効活用を図りつつ、災害に対する安全・安心の確保等に的確に対応するための事業に重点化する。

○災害に対する安全・安心の確保等を推進するため、

①災害応急対策活動の拠点施設となる官庁施設等の耐震性の確保

②外壁の落下等人身事故の恐れがあるものや老朽が著しい受変電設備等の機能停止等、執務環境維持に支障が生じるものなど既存官庁施設の危険箇所解消に重点をおいて整備を進めます。

予　算

（単位：百万円）

	平成23年度（当初） (A)	平成22年度（当初） (B)	対前年比 (A)／(B)
所管予算			
本省配分	0	0	－ %
一括配分	954	1,011	94 %
計	954	1,011	94 %
支出委任	1,875 ※1	3,895	48 %
合計	2,829	4,906	58 %

※1　支出委任は、現時点での判明分を計上している。

※4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

PFIによる熊本地方合同庁舎(B棟)整備

～ 安全・安心の確保に資する官庁施設の整備 ～

1. 概要

熊本地方合同庁舎は、大規模地震発生時にも官庁施設がその機能を十分に発揮できるよう防災拠点施設として整備します。また、熊本県及び熊本市が行っているJR熊本駅周辺整備事業と連携し、まちづくりに寄与し、駅周辺の良好な市街地環境の形成に先導的な役割を果たす核施設としての整備を行います。なお、手法については、民間の資金やノウハウ等を活用した低廉・良質なサービスの提供と民間の事業機会の創出を図るPFI方式を採用します。

場所： 熊本県熊本市春日2丁目551番外

諸元： 庁舎(B棟) S－9－2階建 23,918㎡

平成23年度 継続

完成予定

平成26年度





＜入居官署＞

- 熊本行政評価事務所
- 長崎税関八代税関支署熊本出張所
- 熊本国税局
- 熊本国税不服審判所
- 熊本西税務署
- 九州地方環境事務所
- 自衛隊熊本地方協力本部

2. 概算要求の整備内容

平成21年度から一時中止していた熊本地方合同庁舎(B棟)の整備を再開します。

3. 整備効果

防災拠点としての整備を行うと共に、JR熊本駅周辺のまちづくりや景観形成に寄与する施設整備を行います。

佐賀地方検察庁耐震改修事業

～ 安全・安心の確保に資する官庁施設の整備 ～

1. 概要

安全・安心の確保に資するため実施する官庁施設の耐震改修事業です。

事業実施にあたっては、来訪者の安全確保に必要な耐震安全性を確保するため、構造体のみならず設備、非構造部材も含めた建築物全体としての総合的な耐震安全性の確保を図ります。

場所： 佐賀県佐賀市中の小路

諸元： 庁舎 RC－4階建 2，950㎡

平成23年度 完成

完成予定
平成23年度



佐賀地方検察庁外観



＜入居官署＞
・佐賀地方検察庁
・佐賀区検察庁

2. 概算要求の整備内容

佐賀地方検察庁の耐震改修

3. 整備効果

来訪者の安全確保に必要な耐震安全性を確保します。

長崎地方検察庁耐震改修事業

～ 安全・安心の確保に資する官庁施設の整備 ～

1. 概要

安全・安心の確保に資するため実施する官庁施設の耐震改修事業です。
事業実施にあたっては、来訪者の安全確保に必要な耐震安全性を確保するため、構造体のみならず設備、非構造部材も含めた建築物全体としての総合的な耐震安全性の確保を図ります。

場所：長崎県長崎市万才町

諸元：庁舎　RC－6階建　3，942㎡

平成23年度　完成

完成予定
平成23年度



長崎地方検察庁外観



＜入居官署＞
・長崎地方検察庁
・長崎区検察庁

2. 概算要求の整備内容

長崎地方検察庁の耐震改修

3. 整備効果

来訪者の安全確保に必要な耐震安全性を確保します。